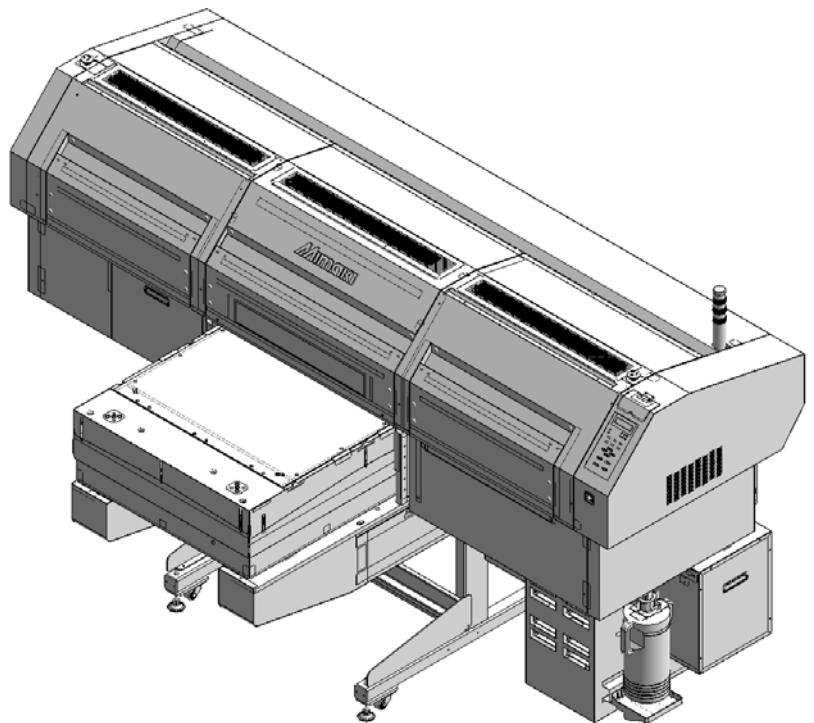


OPERATION MANUAL

UV PRINTER UJF-706

取扱説明書



ご注意	vi
ご注意	vi
おねがい	vi
電波障害自主規制	vi
テレビ/ラジオの受信障害について	vi
はじめに	vii
取扱説明書について	vii
安全にお使いいただくために	viii
マーク表示について	viii
本書の読み方	xv

第1章 ご使用の前に

本機を設置する	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-3
本機の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面 / 側面	1-4
装置背面 / 主電源スイッチ側	1-5
操作パネル	1-6
キャリッジと UV 照射器具	1-7
ワイパ	1-7
フラッシング BOX	1-7
非常停止スイッチ	1-8
UV 電源	1-8
ケーブルを接続する	1-9
USB2.0 インターフェースケーブルを 接続する	1-9
電源ケーブル接続について	1-9
UV 照射器具と表示灯について	1-10
UV 照射器具	1-10
表示灯の働きについて	1-10
インクカートリッジについて	1-11
使用可能なインク	1-11
インクの取り扱いについて	1-11
ハードクリーニング用 洗浄カートリッジについて	1-15
メディアについて	1-16
使用可能メディアサイズ	1-16
メディア取り扱い上の注意	1-16
< ローカル > < リモート > について	1-17

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる / 切る	2-4
電源を入れる	2-4
起動時のメンテナンス動作	2-6
電源を切る	2-8
電源オフ時のノズル抜けを防止する	2-9
メディアをセットする	2-11
テーブルの高さを変更する場合	2-12
テスト作図をする	2-13
ヘッドクリーニングをする	2-15
“ノーマル”でクリーニングするとき	2-15
“ハード”でクリーニングするとき	2-16
“ワイピング”でクリーニングするとき	2-17
“ハード2”でクリーニングするとき	2-18
データを作図する	2-19
作図を開始する	2-19
作図を中止する	2-20
作図が中断したとき	2-21
コピー機能を使用する	2-21
サブタンクメンテナンスをする	2-22
カバーについて	2-23

第3章 便利な使い方

原点を変更する	3-2
ジョグキーを使用する	3-2
ファンクションメニューを使用する	3-3
ヘッドギャップを調整する	3-4
ヘッドギャップのチェック方法を選択する	3-4
ヘッドギャップをチェックする	3-5
ノズル抜けが直らないとき	3-6
ノズル抜けが直らないとき、 かわりのノズルで作図する	3-6
設定値をクリアする	3-8
作図条件をまとめて登録する	3-9
作図条件を設定する	3-10
メディア補正を設定する	3-12
作図方式を設定する	3-14
ヘッドギャップ値を登録する	3-15
ヘッドのスキャン幅を設定する	3-16
UV 光量を変更する	3-18

印刷開始・終了時の UV 照射を設定する	3-19
優先順位の設定をする	3-20
スキャンごとの冷却時間を設定する	3-21
設定を初期状態に戻す	3-22
UV ランプを消灯する	3-23
UV ランプの消灯時間を設定する	3-24
UV 光量を変更する	3-25
マシン設定	3-26
ミストファンの強さを設定をする	3-27
ジコクの設定をする	3-28
マシンメイショウの設定をする	3-29
印刷品質を変更する	3-30
装置情報を確認する	3-31
その他の便利な機能	3-33
表示する言語を切り替える	3-33
データクリア	3-33
本機の情報を表示する	3-34

第 4 章 お手入れのしかた

日常のお手入れ	4-2
長期間使用しない場合は	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
テーブル、外装のお手入れ	4-3
インクカートリッジについて	4-4
新しいインクカートリッジに交換する	4-4
カートリッジ異常が発生したら	4-5
洗浄液カートリッジについて	4-6
フラッシング BOX のクリーニング	4-7
作図中のインク滴の垂れを防ぐ	4-10
廃インクが溜まったら	4-13
廃インクタンクのインクを処分する	4-13
ワイパタンクのインクを処分する	4-15
ノズル面の清掃頻度を設定する	4-17
電源を入れたときに自動でクリーニングを行う	4-19
電源オフ中のノズル抜けを防止する	4-20
スリープ中のリフレッシュ間隔を設定する	4-20
スリープ中のクリーニング間隔を設定する	4-22
白インク (ホワイト) の定期メンテナンス	4-23
かすれや抜けが改善しない場合は	4-26
インクの充填を行う	4-26
サブタンクメンテナンス	4-27

ワイパのクリーニング	4-29
不凍液を補充する	4-32
不凍液混合水を補充する	4-33
UV ランプフィルタの清掃	4-34
UV 電源フィルタの清掃	4-36
オプションバキュームユニットフィルタの清掃	4-38
ミストファンフィルタの交換	4-40
UV ランプを交換する	4-42
UV ランプの照射時間を確認する	4-42
UV ランプの交換について	4-42
UV ランプの照射時間をリセットする	4-43
UV ランプの照度を確認する	4-44
UV 照度を確認する	4-45
イオナイザの清掃	4-50
特色インクのノズル詰まりを防止する	4-52

第 5 章 困ったときは

故障？と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図ができない	5-2
ディスプレイにメッセージが表示される	5-2
作図結果に問題があるときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-7

第 6 章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
警告ラベルについて	6-4
お問い合わせシート	6-6
機能フローチャート	6-8

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万が一不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ／ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われる場合は、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

この度は、UV プリンタ UJF-706 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「UV プリンタ UJF-706」は、紫外線硬化インク (UV インク) を使用しております。
本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

取扱説明書について

- 本書は、「UV プリンタ UJF-706」(以後本装置と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。









© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved. Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警 告



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

排気口施工時について

本装置の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。

- (1) 排気口の形状は、お客様の建物環境によりますが、開口部の面積はダクトの 50%以上を確保してください。
- (2) 排気口に閉鎖弁等を設置する場合、本装置使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



- 本装置で使用するインクは、危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本装置を使用する場所は、火気厳禁としてください。














- インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。



- 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

絶対にしないでください

 警 告	
分解・改造はしない  <ul style="list-style-type: none"> 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。 	インクカートリッジの取り扱い  <ul style="list-style-type: none"> 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。 インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
湿気の多い場所では使用しない  <ul style="list-style-type: none"> 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 	
異常事態の発生  <ul style="list-style-type: none"> 万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 	接地工事  <ul style="list-style-type: none"> 本装置は、感電事故防止のため接地工事が必要です。 接地工事は、C 種接地工事（特別第 3 種接地工事）を行ってください。
保護具着用  <ul style="list-style-type: none"> 吸引ノズルのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。 	
電源、電圧について  <ul style="list-style-type: none"> 本装置には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。  <ul style="list-style-type: none"> メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサの電荷放電時間に 1 分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず 3 分後に作業するようにしてください。 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。 表示された電源仕様で使用してください。セットアップガイド「配電盤の接続」を参照してください。  <ul style="list-style-type: none"> 本装置の主電源スイッチの投入作業も、本装置の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。 	
レーザーセンサーについて  <ul style="list-style-type: none"> 本装置には、レーザーセンサー（クラス 1）が使用されています。絶対にレーザー光を直接のぞき込まないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。 	

⚠ 警 告

不凍液の取り扱い



- ・不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水装置が故障する恐れがあります。
- ・不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。
- ・万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。
- ・また高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。
- ・不凍液をご使用の前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。
- ・誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- ・不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。
 - おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する
 - 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する
- ・静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- ・不凍液を取り扱う場合は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してください。



電源ケーブルの取り扱い



- ・付属の電源ケーブルを使用してください。
- ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

扉、蓋の開閉について













- ・本装置には開閉扉、蓋があります。扉、蓋開閉時には指、腕および胴体部の一部が挟まれる恐れがあります。万一、挟まれると、打ち身や最悪の場合、圧死もあります。扉、蓋の開閉作業には、必ず人体の一部が挟まれることのないように行ってください。









UV 照射器具の取り扱い



- ・引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布を UV 照射器具に近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。
- ・ガラス製品のため、落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。破損の原因となります。
- ・使用済みの UV ランプは、割らずに必ず容器に入れて一般の蛍光灯と同様に地域条例に従い廃棄してください。UV ランプをそのまま割るとガラス破片が飛散します。
- ・点灯中の UV ランプは絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。
- ・紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。
- ・点灯中や消灯直後は熱いので、UV 照射器具には手を触れないでください。ヤケドの原因となります。UV ランプを交換する時は、十分温度が下がってから行ってください。
- ・UV ランプがまれに破損することがあります。定格寿命もしくは、それ以前の UV ランプの交換をお勧めします。
- ・点灯中や消灯直後は熱いので、UV 照射器具には手を触れないでください。ヤケドの原因となります。UV ランプを交換する時は、十分温度が下がってから行ってください。

使用上のご注意

 注 意	
ホコリから守る	定期交換部品があります
 <ul style="list-style-type: none"> できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。 メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。 ホコリが原因で、作図中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる場合があります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。 ( P.2-15) 	 <ul style="list-style-type: none"> 本装置には、別途に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めいたします。
	装置を水平に保つ
	 <ul style="list-style-type: none"> 必ず、レベルフットを調整し、本装置を水平に保つようにしてください。
	メンテナンス用洗浄液について
	 <ul style="list-style-type: none"> メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。
警告ラベルについて	不凍液について
 <ul style="list-style-type: none"> 本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。 	 <ul style="list-style-type: none"> 不凍液は冷暗所で保存してください。 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
インクカートリッジについて	
 <ul style="list-style-type: none"> カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。 カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。 カートリッジは、冷暗所で保存してください。 カートリッジを開封後は、お早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。 	 <ul style="list-style-type: none"> 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。 カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。 インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。

 注 意	
紫外線について	高温について
 <ul style="list-style-type: none"> UV 照射器具周辺から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。  <ul style="list-style-type: none"> 紫外線の目への障害として、急性障害；異物等、とう痛および涙が流れる等がある。慢性障害；白内障等がある。本装置を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。 	 <ul style="list-style-type: none"> UV 照射器具は、非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、UV ランプ消灯後十分温度が下がってから行ってください。 装置外装部で高温になっている部分があります。この高温部には、高温注意銘板が貼り付けてあります。高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、触ると火傷の恐れがあります。触らないでください。  <ul style="list-style-type: none"> 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。
UV 照射器具の注意	
 <ul style="list-style-type: none"> UV 照射器具下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。） ランプは、ソケットに確実に取り付けてください。落下や過熱の原因になります。 	
 <ul style="list-style-type: none"> UV ランプの性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。 	
清掃について	
 <ul style="list-style-type: none"> 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでは無く、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。 	

⚠ 注 意

発火、発煙について



- UV 照射器具等の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。また、UV ランプの下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。



- 長年の使用で、安定器やその他使用部品についてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性がある。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。
- 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。
- 本装置は防爆タイプではありません。危険物雰囲気での使用は爆発等の危険があります。危険物雰囲気での使用を禁止します。
- 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。

設置上のご注意

⚠ 注 意

直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		<ul style="list-style-type: none"> • 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 15 ~ 30 °C 35 ~ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所

本書の読み方

本取扱説明書では、操作手順と合わせて操作パネルの「表示パネル」に表示する文字や、使用するキーを説明しています。
使用中に確認しながら、操作を進めてください。

事前に知っておいて
いただきたい内容です

機能の概要を
説明しています

テスト作図をする

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良（カスレや抜け）がないか確認します。

テスト作図を行う



- 次のようなメッセージが表示されている場合は、作図ができません。しばらくして、メッセージが消えてから作図してください。
- “オンスイ ジュンビチュウ”：温水装置の温水が一定温度に達していない

テスト作図の前に
確認してください

- メディアをセットしているか (P.2-5)
- 原点位置をセットしているか (P.3-2)
- ヘッドギャップ値を登録しているか (P.3-6)

操作手順の
番号です

1 ローカルモードで、**(TEST)** キーを押す

テスト サクス
ノズルチェック <ent>

2 **(▲▼)** を押し “ノズルチェック” を選ぶ

- “コウカチェック” を選ぶと、UV インクが固まっているか（硬化）を確認できます。(P.4-30)

3 **(ENTER)** キーを押す

- テスト作図を開始します。

** テスト サクス **

4 テスト作図が終了する

- ローカルモードになります。
- Yバーをテーブルから退避させたいときは、P.2-12 の操作をしてください。

5 作図結果を確認する

- 正常な場合は、データを作図してください。(P.2-10)
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.2-12)

基本
の
使
い
方

表示パネルを表示します

正常なパターン	異常なパターン		
	ドカ抜け	ノズル抜け	飛行曲がり
	たくさんの線が抜けている	線が抜けそうに欠けている	線の間隔が詰まったり二重になっている

文章中のボタンを
○ 囲みで表しています

2-7

ページ番号です
(2章の-7ページ)

第 1 章

ご使用の前に



この章では ...

各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機を設置する	1-2	UV 照射器具と表示灯について	1-10
設置場所について	1-2	UV 照射器具	1-10
使用環境温度について	1-3	表示灯の働きについて	1-10
本機の移動	1-3	インクカートリッジについて	1-11
各部の名称とはたらきについて	1-4	使用可能なインク	1-11
装置前面 / 側面	1-4	インクの取り扱いについて	1-11
装置背面 / 主電源スイッチ側	1-5	ハードクリーニング用	
操作パネル	1-6	洗浄カートリッジについて	1-15
キャリッジと UV 照射器具	1-7	メディアについて	1-16
ワイパ	1-7	使用可能メディアサイズ	1-16
フラッシング BOX	1-7	メディア取り扱い上の注意	1-16
非常停止スイッチ	1-8	< ローカル > < リモート > について	1-17
UV 電源	1-8		
ケーブルを接続する	1-9		
USB2.0 インターフェースケーブルを			
接続する	1-9		
電源ケーブル接続について	1-9		

本機を設置する

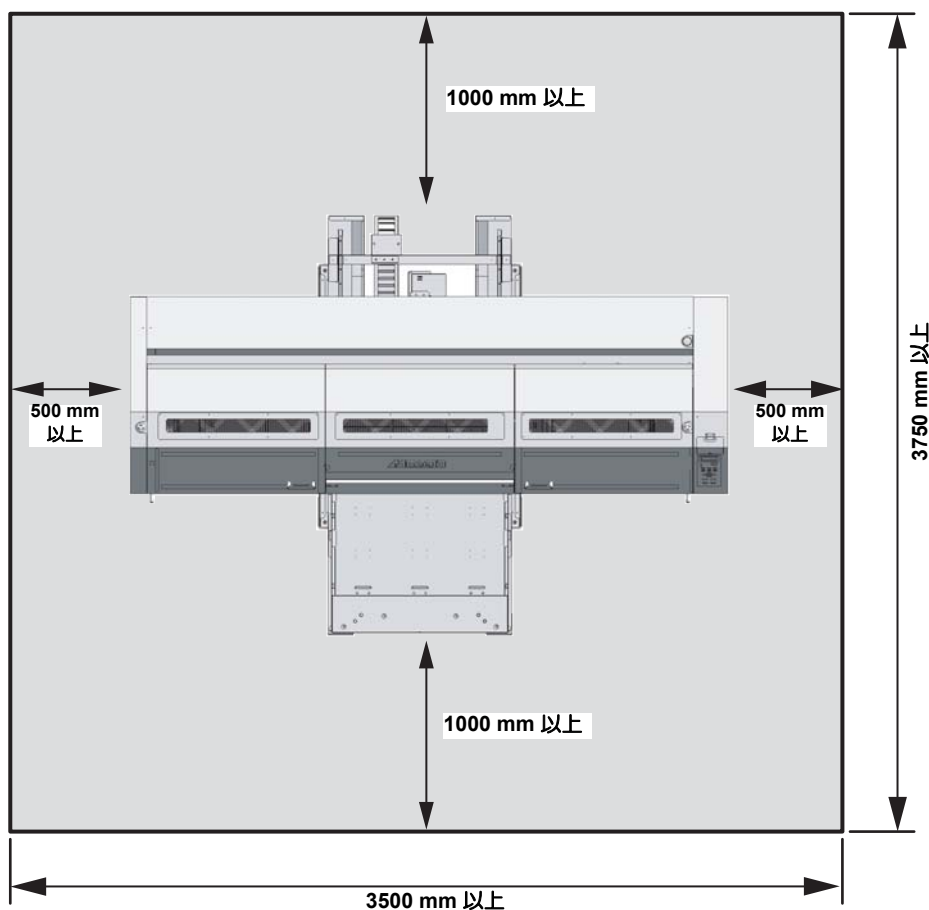
設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

幅	奥行き	高 さ	全体重量
2500 mm	1750 mm	1550mm	約 500 kg



- 窓ぎわ付近など装置に強い光が当たる環境の場合、カーテンを設置して装置に強い光が当たらないようにしてください。



使用環境温度について

本機は安定した作図を行うために、15 ～ 30 ℃の環境でご使用ください。

本機の移動

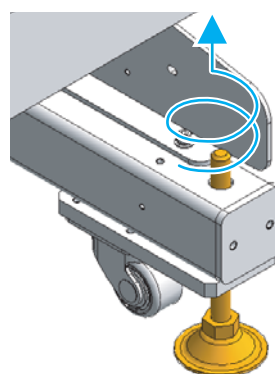
本機をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずアジャスターフットを下げてください。

1

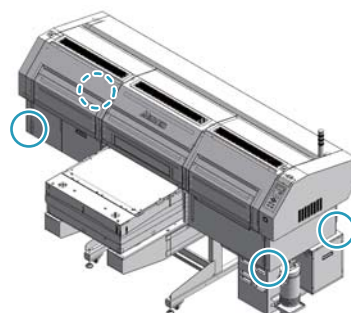
アジャスターフットを上げる



2

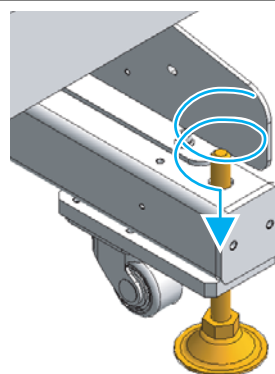
図の丸印の箇所を押して、移動する

- 本機を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが変形する可能性があります。



3

アジャスターフットを下げる

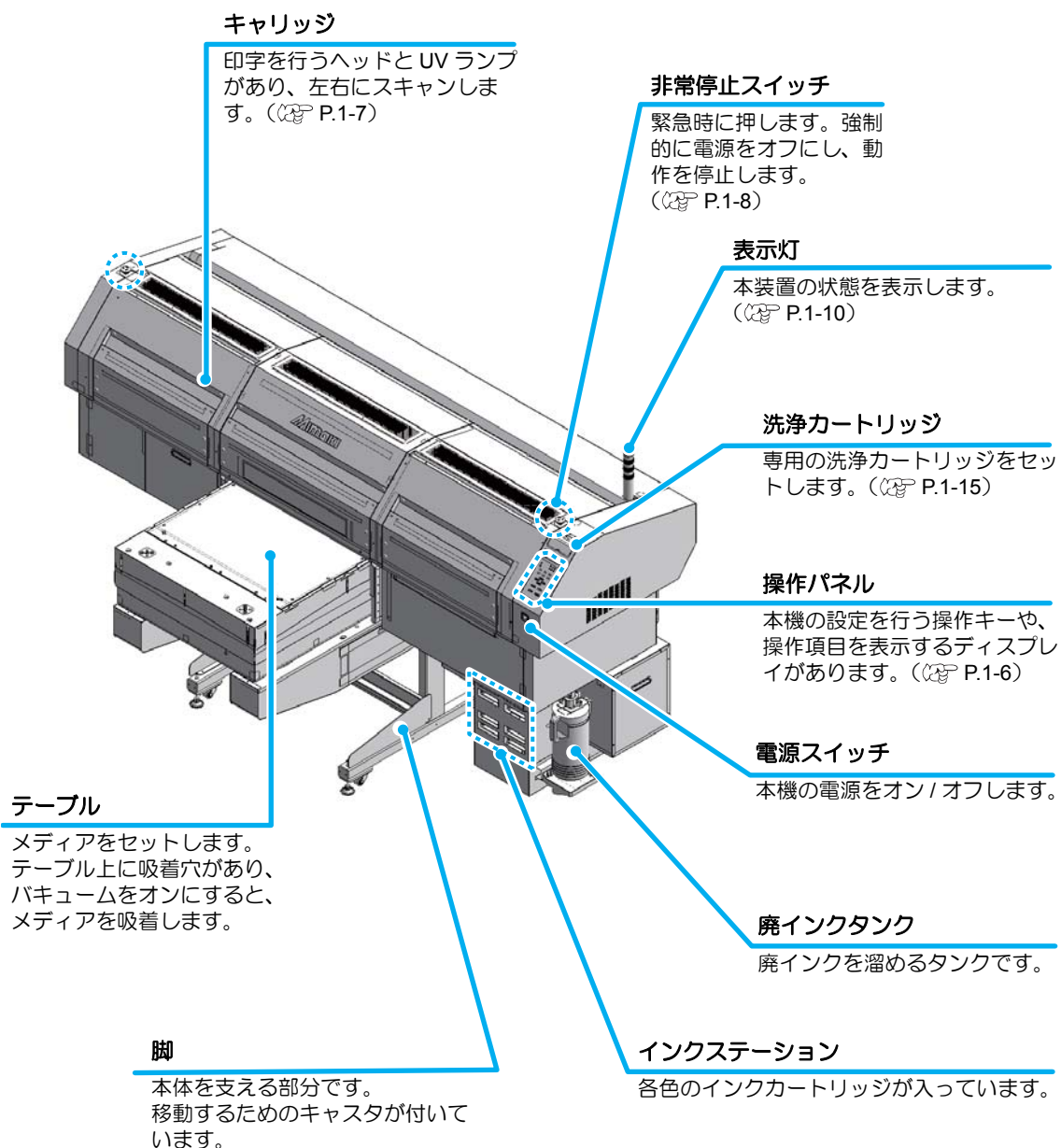


1

1 使用前の

各部の名称とはたらきについて

装置前面 / 側面



装置背面 / 主電源スイッチ側

1

1 使用の前に

USB コネクタ

USB2.0 に準拠したインターフェイスコネクタです。

AC インレット

添付の電装 BOX AC 入力ケーブルを接続します。


主電源スイッチ

本体等 (UV ランプ以外) の電源をオン / オフします。

温水ユニット

インクを適温に保つために稼働します。

UV 電源

UV ランプ点灯用の電源です。
( P.1-8)

操作パネル

操作パネルは、各種操作に使用します。

ディスプレイ

本機の状態や設定項目、エラーなどを表示します。

ACTIVE ランプ

データ受信中や作図中に点滅します。

TABLE キー

テーブルを上下に移動させる際、

TABLE キーを押してからジョグキーを押します。

CLEANING キー

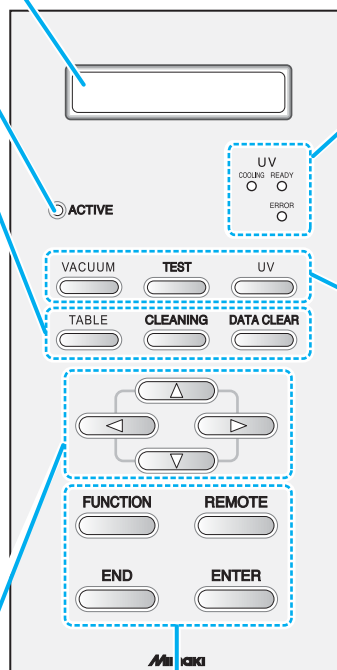
インク詰まりを起こしている場合にヘッドのクリーニングを実行します。

DATA CLEAR キー

本機が受信したデータを消去します。

ジョグキー

<ローカル>でのヘッドやメディアの移動、テーブルの上下、作図条件の項目選択に使用します。



COOLING ランプ

UV ランプの冷却中に点灯します。冷却が完了すると消灯します。

UV READY ランプ

UV ランプの状態を表示します。UV ランプ予熱中は点滅します。予熱完了時、照射時に緑色に点灯します。

UV ERROR ランプ

UV ランプエラー状態を表示します。UV エラー発生時に赤色に点灯します。

VACUUM キー

バキュームの ON/OFF を切り替えます。

TEST キー

インク詰まりなどの作図不良がないか確認するためにテストパターンを作図します。

UV キー

UV メニューに入ります。

FUNCTION キー

各種機能設定メニューに入ります。

END キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー

<ローカル>と<リモート>を切り替えます。

ENTER キー

1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

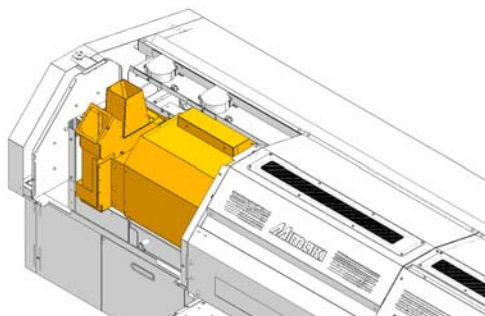
ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	作図原点、範囲設定時	機能の選択時	設定の選択時
◀	キャリッジを左へ移動		
▶	キャリッジを右へ移動		
▲	メディアを奥側へ移動	1 つ前の機能に戻る	1 つ前の機能を選択する
▼	メディアを手前へ移動	次の機能に移る	次の値を選択する

キャリッジと UV 照射器具

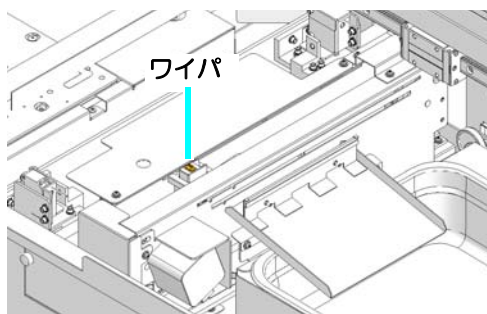
キャリッジには、作図用のプリントヘッドと UV 照射器具を搭載しています。キャリッジの待機位置は、装置の状態によって異なります。



- ・点灯中の UV ランプから出る光を直接肉眼で見ないでください。

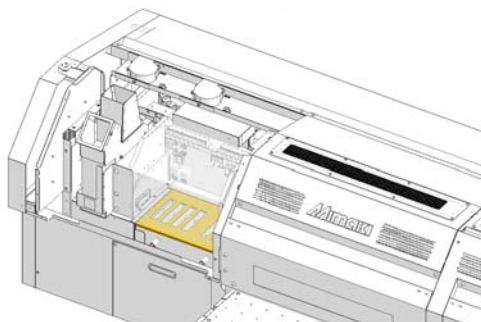
ワイパ

本機の正面右側にあるワイパは、インク充填やクリーニング時にヘッド面に付着したインクを除去します。



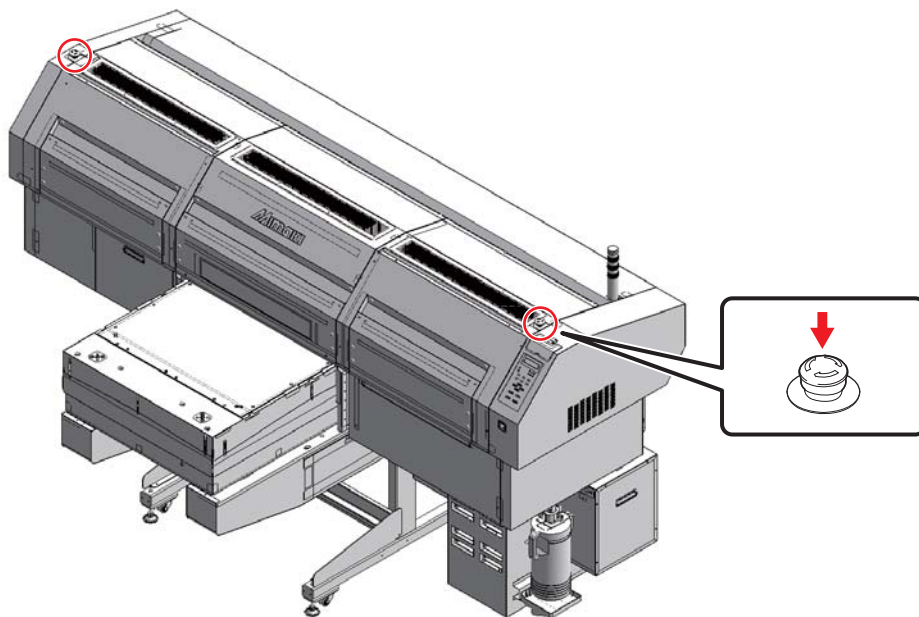
フラッシング BOX

フラッシング BOX は、本機の左側にあります。プリントヘッドがフラッシングした際に、フラッシング BOX 内部のフラッシングフィルタに廃インクが吸収されます。フラッシングフィルタはこまめに交換してください。(P.4-7)



非常停止スイッチ

安全上の理由で、本装置を緊急停止したいときに押します。
非常停止スイッチは、装置上部に 2 箇所あります。



UV 電源

本装置の左下に設置されてある UV 電源は、UV 照射器具と連動しています。



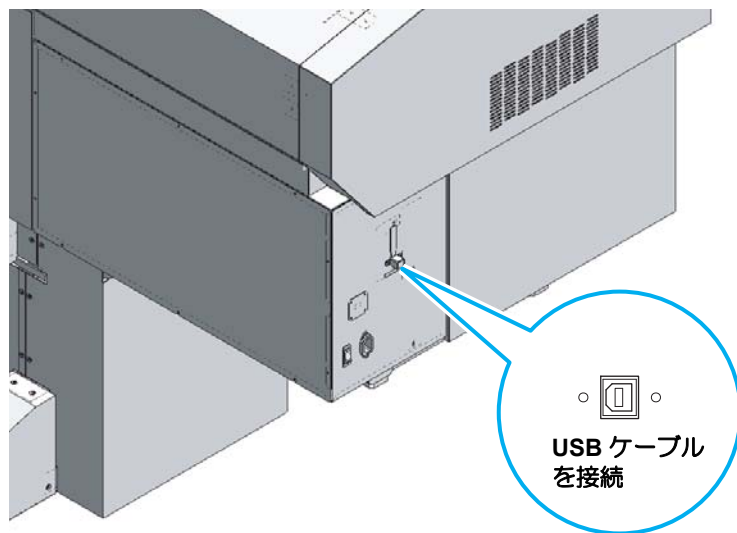
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本機を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータにない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



1

1 使用の前に

● USB ハイスピードモードの周辺機器について

本機と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに本機を接続した場合、本機へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

電源ケーブル接続について



- 付属品の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災・感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

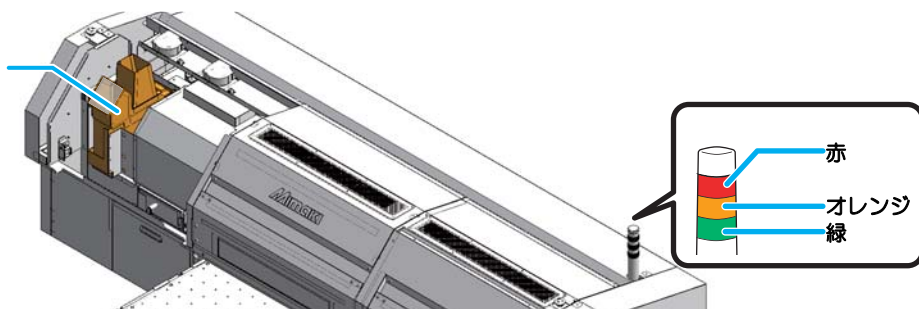
UV 照射器具と表示灯について

UV 照射器具



- 点灯中の UV ランプから出る光を直接肉眼で見ないでください。
- 点灯中や消灯直後は UV 照射器具に触らないでください。熱くなっているため大変危険です。

UV 照射器具



表示灯の動きについて

本体左上にある表示灯の動作について説明します。

表示灯には 3 つのモードがあります。本装置の表示灯にて、各モードの状態を表します。

モード	本装置の状態	概 要
レディモード		
点灯 (グリーン)	リモートモード	
点滅 (グリーン)	リモートモード (作図中)	
消灯	ローカルモード	
アフタークーリングモード		
点灯 (オレンジ)	[作図不可能状態] UV ランプを冷却中 (5 分間)	以下の場合に、UV ランプを消灯します。 <ul style="list-style-type: none">消灯するオペレーションをした時作図後 30 分以上が経過した時本装置にエラーが起きた時
点滅 (オレンジ)	[作図不可能状態] UV ランプを点灯準備中	UV ランプ消灯後、ランプ部を冷却しています。UV ランプは再点灯できず、本装置も作図動作は行えません。一旦、消灯するまでお待ちください。
消灯	UV ランプ点灯完了または、 消灯完了	
エラーモード		
点灯 (レッド)	[作図不可能状態] エラーが発生 (UV ランプは消灯する)	(1) UV 電源の異常 (2) UV ランプのオーバーヒート UV ランプを消灯します。 本装置の作図動作はストップします。 (3) UV 照射器具が正常に動作しない場合 (4) 本装置にエラーが発生したとき。
消灯	正常	

インクカートリッジについて

インクカートリッジをインクステーションに差し込んでお使いください。

使用可能なインク

インクの種類	色
SPC-0371 インク	マゼンタ
	シアン
	イエロー (SPC-0404HY 含む)
	ブラック
	ホワイト
	ライトマゼンタ
	ライトシアン
	クリア
SPC-0516 インク (F-200)	マゼンタ
	シアン
	イエロー
	ブラック
	ホワイト
	ライトマゼンタ
	ライトシアン
洗浄カートリッジ *1	

*1: ヘッドおよびインク経路洗浄時に使用します。

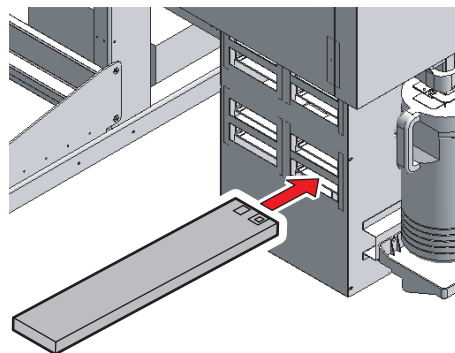
ディスプレイには、次のように色を表示します。

ディスプレイ	色	ディスプレイ	色
M	マゼンタ (M)	Y	イエロー (Y)
C	シアン (C)	K	ブラック (K)
W	ホワイト (W)	S	クリア (CL)
m	ライトマゼンタ (Lm)	c	ライトシアン (Lc)

インクの取り扱いについて

SPC-0371、SPC-0516 インクの白 (ホワイト) および SPC-0516 のカラーインクは、他のインクに比べ、長期使用しない場合カートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。インクの状態を良好に保つため、次のページの手順でインクをかくはんしてください。

白インク (ホワイト) インクについては、4 章をご覧になり必ず定期メンテナンス作業を行ってください。(P.4-23)



1

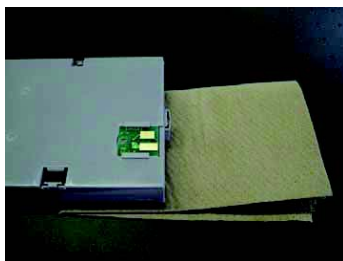
1 使用前に

インクカートリッジの振り方

一日一回は、カートリッジ内のインクをかくはんするようにしてください。

1

インクカートリッジの先端を紙タオルなどで押さえる



先端に紙タオルを巻き付ける



紙タオルの両端をテープで固定する

2

インクカートリッジを 20 回程度ゆっくりと左右に振る

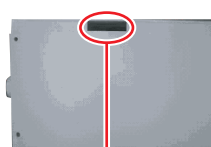
- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



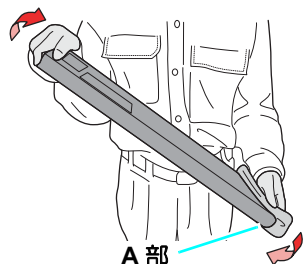
- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。



A 部（針の差し口）



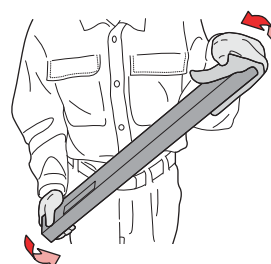
B 部（底面の隙間）



A 部



繰り返す



紙タオルでしっかりと押さえて
ゆっくり振る

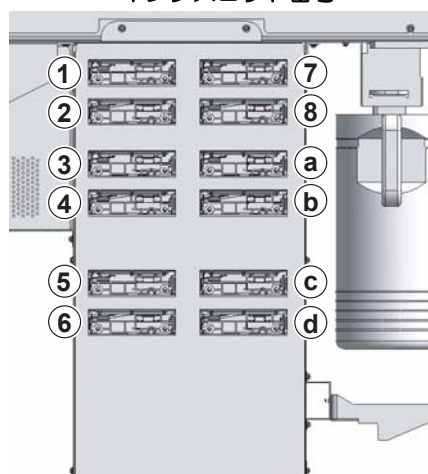
インクカートリッジをセットするときのご注意

インクカートリッジをセットするときは、次の事項にご注意ください。



- インクセットを確認し、正しい色のインクカートリッジを差し込んでください。
- インクカートリッジは、スロットの奥まで確実に差し込んでください。また、乱暴に抜き差ししないでください。
- IC チップがある面を上に向けて差し込んでください。
- S スロットには、ホワイトを挿入することもできます。
- インクカートリッジの交換方法は、以下のページをご覧ください。
(P.4-4「新しいインクカートリッジに交換する」)

インクスロット番号



1

1 使用の前に

- インクスロット番号を確認し、正しい色のインクカートリッジを差し込んでください。

4 色インクセット + ホワイト (W) + クリア (S) の場合

スロット番号	1	2	3	4	5	6	7	8	a	b	c	d
インク色	M	M	C	C	Y	Y	K	K	W	W	S	S

4 色インクセット + ホワイト (W) の場合

スロット番号	1	2	3	4	5	6	7	8	a	b	c	d
インク色	M	M	C	C	Y	Y	K	K	W	W	-	-

6 色インクセット + ホワイト (W) の場合

スロット番号	1	2	3	4	5	6	7	8	a	b	c	d
インク色	K	C	M	Y	Lc	Lm	-	-	W	-	-	-

6 色インクセット + ホワイト (W) + クリア (S) の場合

スロット番号	1	2	3	4	5	6	7	8	a	b	c	d
インク色*1	K	C	M	Y	Lc	Lm	-	-	W	S	-	-

*1: M= マゼンタ、C= シアン、Y= イエロー、K= ブラック、W= ホワイト、S= クリア、Lc= ライトシアン、Lm= ライトマゼンタ、- = 未使用

インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- ・インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。
- ・インクには直接触れないようにしてください。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ・インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に 3 時間以上放置してから使用してください。
- ・インクカートリッジは開封してから 6 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- ・インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・未使用のインクカートリッジは、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ・一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- ・インクカートリッジに記載している有効期限を過ぎた場合は、そのインクカートリッジを使用しないでください。
- ・インクカートリッジをご使用の前に、必ず安全データシート（MSDS）をお読みください。



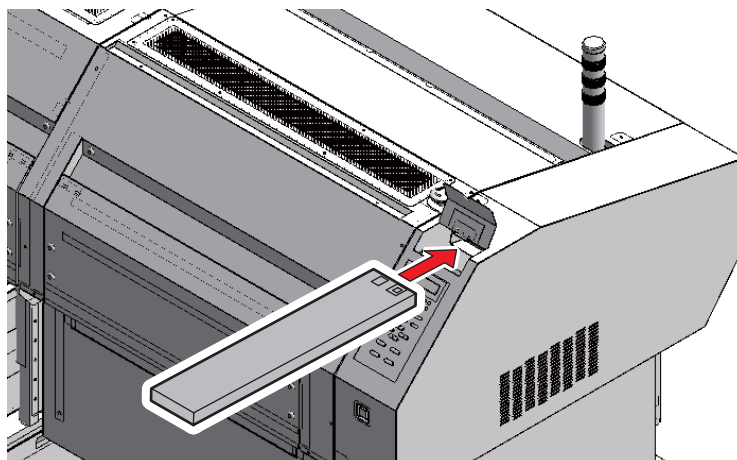
- ・インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- ・インクカートリッジは分解しないでください。
- ・インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- ・インクカートリッジは分解しないでください。

ハードクリーニング用洗浄カートリッジについて

専用の洗浄カートリッジを取り付け口へセットしてください。



- 純正の洗浄カートリッジをご使用ください。
- ヘッドメンテナンスの方法と併せて、正しい方法でご使用ください。



1

ご使用の前に

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

最 大 幅		710 mm
最 小 幅		210mm
最大作図幅		700mm
厚 さ		0.2mm 以上 150 mm 以下
ロールメディア ^{*1} (オプション ^{*2})	ロール外径	φ250mm 以下
	ロール重量	25kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ
	作図面	ロール外側面
	巻き終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

*1: ロールメディアの厚さは 0.025mm から (ただし延伸処理品)

*2: 本装置は、オプションでロール型メディアを使用できるユニット (ロールメディア繰出 / 巻取装置) を準備しております。

詳細は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

メディア取り扱い上の注意

装置破損や作図不良を防ぐため、次の点にご注意ください。



- **メディアの伸縮**

シート状のメディアは、開封直後には使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、使用する場所の外気に 30 分以上さらす必要があります。

- **メディアの吸着**

メディアをしっかりと固定するために、メディアが覆えない所にあるテーブル上の吸着穴は、使用するメディアよりも薄いメディアで塞いでください。

- **その他の注意点**

- a コートメディアの表面に物を置かないでください。コートメディアによっては変色する場合があります。
- b 吸着しきれないカールしたメディアは使用できません。テープなどでメディアを固定してからご使用ください。

< ローカル > < リモート > について

本機のディスプレイに表示される< ローカル > < リモート > について説明します。

< ローカル . 1 >

* リモート . 1 *

ローカル

この表示のときは、以下の各種設定ができます。

全てのキーが有効です。

コンピュータからデータを受信できます。ただし、作図は行いません。

- ジョグキーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
- **TEST** キーを押して、「テスト作図」を行います。
- **CLEANING** キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- **FUNCTION** キーを押して、各種機能を設定します。
- **UV** キーを押して、UV ランプの各種機能を設定します。
- **ENTER** キーを押して、インク残量、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- **REMOTE** キーを押して、< ローカル > と < リモート > を切り替えます。
- **DATA CLEAR** キーを押して、受信した作図データを消去します。
- **VACUUM** キーを押して、バキュームの ON/OFF を切り替えます。
- **TABLE** キーを押してからジョグキーを押すと、テーブルを上下します。

リモート

この表示のときは、受信したデータを作図します。

作図中に **REMOTE** キーを押すと、一時停止して < ローカル > に戻ります。

REMOTE キーを押すと < リモート > になります。

1

1 使用の前に

第2章 基本的な使い方



この章では ...

メディアの準備から作図までの手順について説明します。

作業の流れ	2-2	データを作図する	2-19
電源を入れる / 切る	2-4	作図を開始する	2-19
電源を入れる	2-4	作図を中止する	2-20
起動時のメンテナンス動作	2-6	作図が中断したとき	2-21
電源を切る	2-8	コピー機能を使用する	2-21
電源オフ時のノズル抜けを防止する	2-9	サブタンクメンテナンスをする	2-22
メディアをセットする	2-11	カバーについて	2-23
テーブルの高さを変更する場合	2-12		
テスト作図をする	2-13		
ヘッドクリーニングをする	2-15		
“ノーマル”で			
クリーニングするとき	2-15		
“ハード”で			
クリーニングするとき	2-16		
“ワイピング”で			
クリーニングするとき	2-17		
“ハード2”で			
クリーニングするとき	2-18		

作業の流れ

1

電源を入れる

「電源を入れる」(☞ P.2-4)を参照してください。

2

メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-11)を参照してください。

3

テスト作図をする

「テスト作図をする」(☞ P.2-13)を参照してください。

4

ヘッドクリーニングをする

「ヘッドクリーニングをする」(P.2-15)を参照してください。

5

データを作図する

「データを作図する」(P.2-19)を参照してください。

6

電源を切る

「電源を切る」(P.2-8)を参照してください。

2

基本的な使い方

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機には、以下の電源スイッチがあります。

UV 電源スイッチ: 本機の左側にあります。

主電源スイッチ: 本機の左側にあります。

電源スイッチ: 本機前面の右側にあります。通常、電源のオン / オフをするときはこのスイッチを使用します。

電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると消灯します。

1

本機側面の UV 電源スイッチを入れる

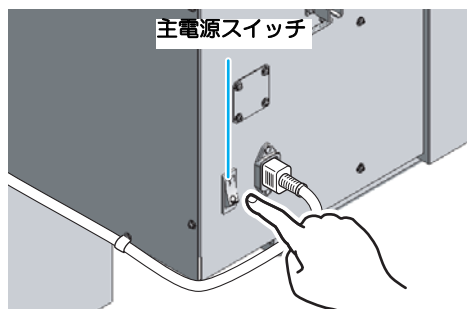
- 「I」側に倒します。



2

本機側面の主電源スイッチを入れる

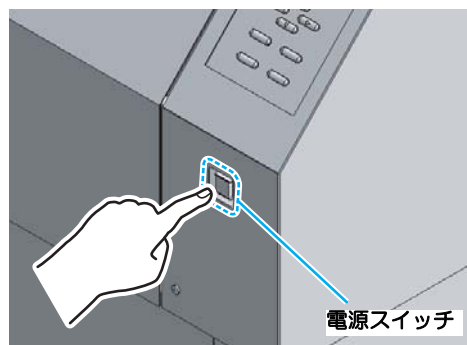
- 「I」側に倒します。



3

電源スイッチを入れる

- 装置前面の電源スイッチを押します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。
- 初期動作を実行します。

UJF-706 start-up
ver. *.**

ゲンテン ケンシュツ チュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

4

< ローカル > が表示される

< ローカル . 1 >

5

接続しているコンピュータの電源をオンにする

2

基本的な使い方

起動時のメンテナンス動作

パワーオンメンテナンスが有効の場合、本機の起動時の状態によって次の動作を行います。パワーオンメンテナンスの設定は、P.4-19「電源を入れたときに自動でクリーニングを行う」を参照してください。

温水が冷めていた場合

1

温水の準備を開始する

- ・クリーニングをキャンセルする場合、**END** キーを押します。
ENTER キーを押すとクリーニングをキャンセルして<ローカル>表示になります。

パ ワーオン メンテナンス
オンスイ ジ ユンビ チュウ

パ ワーオン メンテナンス
キャンセル :ent

2

温水が温まると、自動でクリーニングを開始する

- ・クリーニングが終了すると、<ローカル>表示になります。

クリーニング チュウ
*****-----

前回の起動時に「ERROR149」が発生していた場合

前回の起動時に「ERROR149 INK UPSTREAM GRD」が発生していた場合、次の動作を行います。

1

ノズル面のインク滴を除去するため、ワイピングを行う

- ・ワイピングが終了すると、<ローカル>表示になります。

ワイピ ング チュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

サブタンク内のインクが不足していた場合

1

サブタンクにインクを補充する

インクホジ ユウ チュウ

- 補充が終了すると、＜ローカル＞表示になります。

温水装置の温水の温度が上がりにくい場合

寒い日や温水装置の不凍液量が減ってきた場合、通常より温水の温度が上がりにくい場合があります。

一定時間を経過しても温水温度が一定温度に達しない場合、ディスプレイにメッセージを表示します。

「ケイソク」を選択すると、再度温水温度が一定温度に達するまで待機します。

「シュウリョウ」を選択すると、作図可能な状態になります。

オンスイ ジ ユンビ

ケイソク< >シュウリョウ

重要!

- 温水装置の温水が一定温度に達していない状態で作図を行うと、画質が低下する場合があります。
- 上記のメッセージを表示する場合、不凍液量が少なくなっている可能性があります。不凍液を補充してください。(P.4-32)

2

基本的な使い方

電源を切る

本機の使用を終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドは本機左側の待機位置に戻っているか。
- エラーは発生していないか。（参照 P.5-7 「エラーメッセージ」）

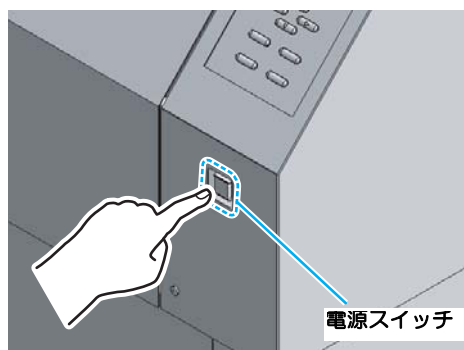
1

接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2

電源スイッチを押して、電源を切る

- 側面にある主電源スイッチは切らないでください。
- 次に本機をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプが点灯してからお使いください。
- UV ランプ点灯中に電源スイッチを押した場合、UV ランプ消灯アフタークーリング後、自動的に電源 OFF します。



電源オフ時のノズル抜けを防止する

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、ノズル抜けを防止するための各種動作を行います。(ファームウェア Ver.1.70 以降に対応)

重要!

- スリープからの起動時は、電源をオフにしないでください。スリープ動作完了後は、自動で電源をオフにします。
- 電源をオフにしてから 2 時間までは、10 分ごとに起動します。
電源をオフにしてから 2 時間以降は、1 時間ごとに起動します。
- 設定によって、クリーニング・リフレッシュ動作を行います。(P.4-20)

1

スリープから起動するとスリープ動作を行い、自動で電源をオフにします

- スリープ動作は 30 秒程度で終了します。
- 「POWER OFF シバラクオマチクダサイ」の表示の後、自動で電源をオフにします。

UJF-706 start-up
ver. *.**



シバラク オマチクダ サイ



POWER OFF
シバラク オマチクダ サイ

2

スリープメンテナンス (P.4-20) 有効の場合、クリーニングおよびフラッシングを実行します

- メンテナンス終了後、自動で電源をオフにします。

UJF-706 start-up
ver. *.**



スリープ メンテナンス
シバラク オマチクダ サイ



POWER OFF
シバラク オマチクダ サイ

2

基本的な使い方

電源を切るときのご注意

- **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル抜け防止機能が働きます。
主電源スイッチを切っていると、スリープ機能が働かず、ノズル抜けの原因となります。
- **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
非常停止スイッチを押した場合や主電源スイッチを切った場合、ヘッドが待機位置以外で止まる事があります。
ヘッドが待機位置（左側）に戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度電源を入れ、ヘッドが待機位置（左側）に戻ったことを確認してから電源を切ってください。
- **作図中は電源を切らないでください。**
ヘッドが待機位置（左側）に戻らないことがあります。
- **主電源スイッチを切る場合、まず前面の電源スイッチを切っておいてください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、電源がオフになっていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、150mm 厚までのメディアをご使用になれます。

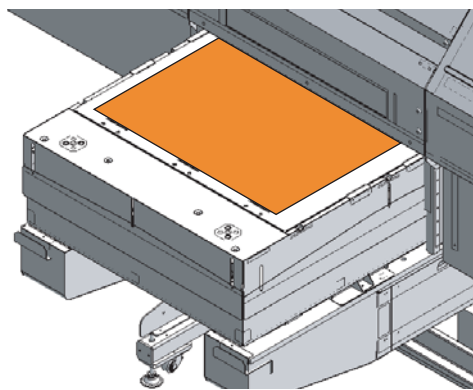
使用できるメディアについては、1-16 ページ「メディアについて」を参照してください。

重要!

- ・インクジェットプリンタはメディア（ワーク）とのギャップが2mm 以上広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化する傾向があります。ギャップが広がるとその傾向は強くなります。発生したインクミストは、ヘッドのインク吐出面や冷却用ファンのフィルターに付着します。
同時にギャップが広い場合、UV 硬化ランプからの反射光も増えます。インク吐出面に付着したインクミストが UV 反射光で硬化したり粘度が増したりすると、吐出インクの着弾ずれやノズル詰まりの原因となります。ヘッドの交換が必要な故障となる場合もあります。
- ・吸着エリア内に、メディアで塞がれない吸着穴があるときは、紙やフィルム、テープなどの薄いシート状のものを敷いて吸着穴を塞いでください。
- ・メディア外周部は、熱により反り返ることがあります。補助的に粘着テープなどを使って固定してください。

1

メディアをセットする



2

VACUUM キーを押して、メディアをテーブルに吸着させる



メディアセット後は、以下の設定をしてください。

- ・ヘッドギャップ値を登録する (☞ P.3-15)
- ・ヘッドギャップをチェックする (☞ P.3-5)

2

基本的な使い方

テーブルの高さを変更する場合


メディアをセットする際、テーブルを昇降できます。

1



<ローカル> 表示のとき、
TABLE を押す

<ローカル. 1>

2

  を押して、テーブルを
昇降する

テーブ ル タカサ セッテイ
H = 150.0mm

- : テーブル上昇
- : テーブル下降
- **TABLE** を押すと、原点設定画面に切り替わります。

3

ENTER キーを押す

- **ENTER** を押すと、原点設定画面での位置が原点設定されます。

テスト作図をする

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどによるかすれや抜けがないか確認します。



- 次のようなメッセージが表示されている場合は、作図ができません。しばらくして、メッセージが消えてから作図してください。

“オンスイ ジュンビチュウ”: 温水ユニットの温水が一定温度に達していない

テスト作図の前に確認してください	• メディアをセットしているか P.2-11	• 原点位置をセットしているか P.3-2
	• ヘッドギャップ値を登録しているか P.3-15	
	• ギャップ調整のチェック方法を設定しているか P.3-4	
	• ギャップチェックを行っているか P.3-5	

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す

<ローカル, 1>

2

を押して [ノズル
チェック] を選び、 キー
を押す

テスト サクス
ノズルチェック

<ENT>

3

テスト作図が開始される

** テスト サクス **

4

テスト作図が終了する

- <ローカル> 表示になります。

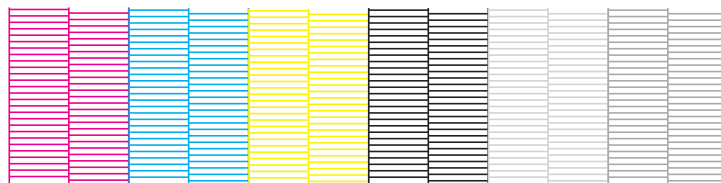
2

基本的な使い方

5

作図結果を確認する





- 正常な場合は、データを作図できます。(図 P.2-19)
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングをしてください。(図 P.2-15)
- 必要に応じて、原点位置を調整してください。(図 P.3-2)



正常なパターン	異常なパターン		
	たくさんの線が抜けている	線が歯抜けしたように欠けている	線の間隔が詰まったり二重になっている


ヘッドクリーニングをする

テスト作図の結果が正常でない場合は、ヘッドクリーニングをしてください。ヘッドクリーニングには、次の4種類があります。

ノーマル	テストパターンを作図したとき、線の抜けが10数本のときに使用します。	 P.2-15
ワイピング	テストパターンを作図したとき、線の抜けが数本のときに使用します。ワイパによるワイピングのみ行います。	 P.2-17
ハード	一日使用の後、ノズル面に付着したミストが硬化する前に洗浄液でヘッドを洗浄してからクリーニングを実行します。一日の作業終了後、電源をOFFする前の使用を推奨します。	 P.2-16
ハード2	ハードクリーニングでインクを排出するときに、フラッシングも同時に行います。ノズル抜けが解消しないときに使用します。	 P.2-18




“ノーマル”でクリーニングするとき

1

<ローカル>表示のとき、
 キーを押す

<ローカル, 1>

2





  で“ノーマル”を選択し、
 キーを押す

クリーニング
タイプ : ノーマル

3

ヘッドを選び、クリーニングする/しないを設定する

クリーニング
カラー : MM  CYYKKWWSS

- (1)   でヘッドを選ぶ
(2)   でクリーニングする/しないを選ぶ

クリーニング
カラー : MM  *CYYKKWWSS

- 全てのヘッドに対して、クリーニングする/しないを選択してください。
クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
クリーニングしない : “*”を表示

4

 キーを押す

- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、<ローカル>表示になります。

5

テスト作図を行い、作図結果を確認する ( P.2-13)

- 作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。

2

基本的な使い方

“ハード”でクリーニングするとき

1

<ローカル> 表示のとき、
CLEANING キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲ ▼ で“ハード”を選択し、
ENTER キーを押す

クリーニング
 タイプ : ハード

3

ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定する

クリーニング
 カラー : MM **C**YYKKWWSS

- (1) **◀ ▶** でヘッドを選ぶ
- (2) **▲ ▼** でクリーニングする / しないを選ぶ

クリーニング
 カラー : MM *****CYYKKWWSS

- ・全てのヘッドに対して、クリーニングする / しないを選択してください。
- クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
- クリーニングしない : “*” を表示

4

ENTER キーを押す

- ・クリーニングを開始します。
- ・クリーニングが終了すると、<ローカル> 表示になります。

5

テスト作図を行い、作図結果を確認する (🔍 P.2-13)

- ・作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。



- ・クリーニング“ハード”を一日の作業終了後に実施すると、ノズル詰まりの防止になります。
- ・洗浄液カートリッジ1本は、クリーニング“ハード”または“ハード2”を一日一回の実施で約1ヶ月ご使用になれます。
- ・「カートリッジナシ」「センジョウカートリッジイジョウ」が発生して洗浄液カートリッジが使用できない場合、クリーニング“ハード”は実行できません。

“ワイピング”でクリーニングするとき

1

<ローカル> 表示のとき、
[CLEANING] キーを押す

<ローカル, 1>

2

[▲] [▼] で“ワイピング”を選択し、
[ENTER] キーを押す

クリーニング
タイプ

: ワイピ ング

3

ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定する

クリーニング
カラー

: MM  CYYKKWWSS

- (1) [◀] [▶] でヘッドを選ぶ
(2) [▲] [▼] でクリーニングする / しないを選ぶ

クリーニング
カラー

: MM  *CYYKKWWSS

- 全てのヘッドに対して、クリーニングする / しないを選択してください。
クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
クリーニングしない : “*” を表示

4

[ENTER] キーを押す

5

[▲] [▼] でワイピングの回数
(1 ~ 9 回) を選択する

クリーニング
ワイプ カイスウ

: 1 カイ

6

[ENTER] キーを押す

- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、<ローカル> 表示になります。

7

テスト作図を行い、作図結果を確認する (☞ P.2-13)

- 作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。



- ヘッドクリーニングを繰り返しても作図結果が改善されない場合は、ワイパのクリーニングをする必要があります。P.4-29「ワイパのクリーニング」を参照してください。
- ワイパのクリーニングをしてからヘッドクリーニングを繰り返しても作図結果が改善されない場合は、サブタンクメンテナンスを行ってください。☞ P.4-26

2

基本的な使い方

“ハード2”でクリーニングするとき

1

<ローカル> 表示のとき、
CLEANING キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼ で“ハード2”を選択し、
ENTER キーを押す

クリーニングタイプ : ハード 2

3

ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定する

クリーニングカラー : MM  CYYKKWWSS

- (1) **◀▶** でヘッドを選ぶ
- (2) **▲▼** でクリーニングする / しないを選ぶ

クリーニングカラー : MM  CYYKKWWSS

- ・全てのヘッドに対して、クリーニングする / しないを選択してください。
- クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
- クリーニングしない : “*” を表示

4

ENTER キーを押す

- ・クリーニングを開始します。
- ・クリーニングが終了すると、<ローカル> 表示になります。

5

テスト作図を行い、作図結果を確認する ( P.2-13)

- ・作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。



- ・洗浄液カートリッジ1本は、クリーニング“ハード”または“ハード2”を一日一回の実施で約1ヶ月ご使用になれます。
- ・「カートリッジナシ」「センジョウカートリッジイショウ」が発生して洗浄液カートリッジが使用できない場合、クリーニング“ハード2”は実行できません。

データを作図する



- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

作図を開始する



- ・次のようなメッセージが表示されている場合は、作図ができません。しばらくして、メッセージが消えてから作図してください。

“オンスイ ジュンビチュウ”：温水装置の温水が一定温度に達していない

“UV ジュンビチュウ”：UV 照射器具の準備が完了していない



- ・上記のメッセージが表示されていても、データは送信できます。エラー表示が消えてから、作図が始まります。

1

メディアをセットする (🔗 P.2-11)

2

<ローカル> 表示のとき、

(REMOTE) キーを押す

*リモート、1 *

- ・リモートが表示され、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3

コンピュータから作図するデータを送信する

- ・作図条件を表示します。
- ・データの送信方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

解像度：1200dpi

*リモート、1 *	1200X1200		
HOST	16	U	H

スキャン速度

N: 標準速

H: 倍速

スキャン方向

U: 単方向

B: 双方向

パス数

優先順位を“ホスト”に設定：“HOST”と表示
優先順位を“パネル”に設定：
プリント品質 (STD/FINE/FAST) を表示

重要!

- ・温水装置の温水が一定温度に達していない状態で作図を行うと、ディスプレイにメッセージを表示します。**(ENTER)** キーを押すと作図を開始しますが、画質が低下する場合があります。

! オンスイ オンド ミトウタツ
インサツカイシ : ent

2

基本的な使い方

4

作図が開始される

- 作図原点は、作図が終了しても変更されません。
-

5

作図終了後、メディアを取り外す

作図を中止する

途中で作図を中止する場合、作図動作を止め、すでに受信したデータを本機から消去します。

1

作図中に **REMOTE** キーを押す

*リモート . 1 *

- 作図動作を中止します。
 - コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
-

2

DATA CLEAR キーを押す

<ローカル . 1 >

3

ENTER キーを押す

デ ー タ クリア

<ENT>

- 受信データを消去し、<ローカル>表示に戻ります。
-

作図が中断したとき

作図中に次のエラー、ワーニングが発生した場合、作図を中断してローカルモードに戻ります。ローカルモードの時、**REMOTE**キーを押すと、作図が再開します。

メッセージ	原因	対処方法
ERROR 54 メディア シェアム	• キャリッジが障害物を検出しました。	• テーブルの上の障害物を取り除いてください。*
ERROR 36 ヘッド ギャップ	• エリアセンサーが障害物を検出しました。	• 障害物を検出した際、障害物回避のため、自動でテーブルを降下します。 ヘッドギャップが変わるため、障害物を取り除いた後、再度ギャップチェックを実施してください。(P.3-5)
! ショウメンカバー OPEN	• 正面カバーが開いています。	• 正面カバーを閉じてください。

*. 検出状態によっては、作図を終了し、初期動作を実行します。

コピー機能を使用する

本装置でコピー機能を使用する場合、RasterLinkPro5 が必要になります。RasterLinkPro5 の設定によって、作図終了後「メディアコウカンシテクダサイ」とメッセージを表示し、作図を一時停止します。


一時停止中にメディアを交換して**REMOTE**キーを押すと、連続した印刷ができます。
(ファームウェア ver.1.40 以降に対応)

<ローカル, 1>
メディア コウカン シテクダ サイ

重要!

- 本機能を使用する場合、RasterLinkPro5 Ver.2.30 以降が必要です。
Ver.2.30 より前の RasterLinkPro5 をお使いの場合、本機能は使用できません。

サブタンクメンテナンスをする

サブタンク関連のエラー（ P.5-7 エラー 148）が発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す



<ローカル, 1>

2

  を押して [メンテナンス]
] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

  を押して [サブタンク
メンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す



メンテナンス
サブ タンク メンテナンス <ent>

4

サブタンクメンテナンスする / し
ないを設定して、**ENTER** キー
を押す

サブ タンク メンテナンス
カラー : **C**Y*****

(1)   でヘッドを選ぶ

(2)   でサブタンクメンテナンスする / し
ないを選ぶ

- ・エラー 148 が発生した場合には、該当するヘッドが選択されていますので、その
まま **ENTER** キーを押してください。

5

ENTER キーを押す

サブ タンク メンテナンス
ジ ッコウ : ent

- ・サブタンクメンテナンスを開始しま
す。

カバーについて



- 作図中に、左右カバーを開けないでください。作図中にカバーを開けると、作図が中断され継続できなくなります。
- カバーは取っ手を持って開閉してください。

作図中に左右カバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置の作図動作が止まります。この場合、次の手順で本装置およびコンピュータを再起動してください。

1

作図中に左右カバーを開けると、メッセージを表示する

カバ - ヲ シメテクダ サイ

- 作図を停止します。

2

コンピュータからのデータ送信を停止する

3

カバーを閉める

4

ENTER キーを押す

(COVER OPEN)
<ENT>ヲ オシテクダ サイ



シバ ラク オマチクダ サイ

5

キャリッジが動き始める

- 電源をオンにしたときと同じ初期動作をします。

2

基本的な使い方

第3章

便利な使い方



この章では ...

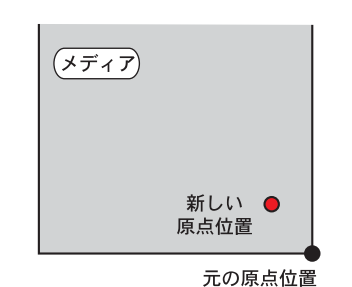
本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

原点を変更する	3-2	印刷開始・終了時の UV 照射を	
ジョグキーを使用する	3-2	設定する	3-19
ファンクションメニューを使用する	3-3	優先順位の設定をする	3-20
ヘッドギャップを調整する	3-4	スキャンごとの冷却時間を設定する	3-21
ヘッドギャップのチェック方法を		設定を初期状態に戻す	3-22
選択する	3-4	UV ランプを消灯する	3-23
ヘッドギャップをチェックする	3-5	UV ランプの消灯時間を設定する	3-24
ノズル抜けが直らないとき	3-6	UV 光量を変更する	3-25
ノズル抜けが直らないとき、		マシン設定	3-26
かわりのノズルで作図する	3-6	ミストファンの強さを設定をする	3-27
設定値をクリアする	3-8	シコクの設定をする	3-28
作図条件をまとめて登録する	3-9	マシンメイショウの設定をする	3-29
作図条件を設定する	3-10	印刷品質を変更する	3-30
メディア補正を設定する	3-12	装置情報を確認する	3-31
作図方式を設定する	3-14	その他の便利な機能	3-33
ヘッドギャップ値を登録する	3-15	表示する言語を切り替える	3-33
ヘッドのスキャン幅を設定する	3-16	データクリア	3-33
UV 光量を変更する	3-18	本機の情報を表示する	3-34

原点を変更する

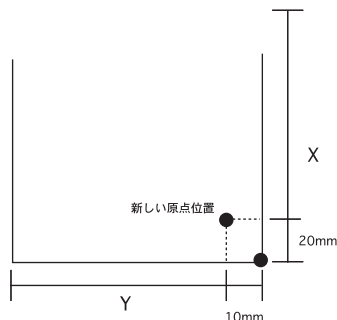
お買い上げ時に設定されている原点の位置を変更することができます。
変更方法には次の2つがあります。

ジョグキー  で変更する



ジョグキーによる原点位置

ファンクションメニューの
“ゲンテン”で変更する



ジョグキーを使用する

1

ローカルモードで、
 を押す

＜ローカル. 1＞

- 原点設定画面になります。

2

 を押して、
ヘッドおよびテーブルを移動する

ゲンテン セッテイ
600.0 700.0

原点位置
(前後)

原点位置
(左右)

- 設定したい位置にヘッドを移動して、原点を設定します。
- **TABLE** を押すと、テーブル上下画面に切り替わります。



- 本体にある ORIGIN マークを目印にして、原点を設定してください。

3

作図原点を決定したら、
ENTER キーを押す

ゲンテン セッテイ
** ゲンテン **

- 原点が変更されます。



- ここで設定した原点の設定は、電源を切るとクリアされます。

ファンクションメニューを使用する

原点位置を正確に設定する場合、ファンクションメニューから X,Y 原点の設定をします。この設定で原点を設定した場合、設定した値が原点位置（0.0）となります。

1

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル. 1>

2

▲▼を押して [ゲンテン] を選び、**ENTER** キーを 2 回押す

FUNCTION
ゲ ンテン

<ENT>

- X 軸のオフセット値設定画面になります。

3

▲▼を押して数値を入力し、**ENTER** キーを押す

ゲ ンテン (590mm)
Xオフセット : 10mm

- X 軸の原点位置を設定します。
- 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。

4

▲▼を押して [Y オフセット] を選び、**ENTER** キーを押す

ゲ ンテン
Yオフセット

<ent>

5

▲▼を押して数値を入力し、**ENTER** キーを押す

ゲ ンテン (550mm)
Yオフセット : 150mm

- Y 軸の原点位置を設定します。
- 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。

6

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- 設定した原点は、電源を切ってもクリアされません。

3

便利な使い方

ヘッドギャップを調整する

ヘッドギャップのチェック方法を選択する

ヘッドギャップ値で入力した値を元にして、作図時ギャップ調整のためのチェック方法を選択します。チェックには、2種類の方法があります。使用するメディアに従って、チェック方法を選択します。

センスモード : メディアの厚みが作図ごとに異なる場合、センスモードを選択します。データ作図時にヘッドギャップ調整を行います。

レンゾクモード : 同じ厚さのメディアを使用して印刷する場合は、連続モードにします。ここでヘッドギャップ調整を一度行くと、作図時にヘッドギャップ調整を行いません。必ずギャップチェックを行ってください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼を押して [ギャップ
チェック] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
ギ ャ ッ プ チェック <ENT>

3

▲▼を押して [チェック
ホウホウ] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
チェックホウホウ <ent>

4

▲▼を押してチェック方法
を選び、**ENTER** キーを押す

チェックホウホウ
: レンゾ ク モード*

・ チェック方法 : レンゾクモード、センスモード

5

END キーを押して終了する

ヘッドギャップをチェックする

レンゾクモードを選択している場合、必ずギャップチェックを行います。使用するメディアの厚みに応じて、プリントヘッドとテーブルの高さを調整する必要があります。メディアの厚みに対して適正なテーブル高さでない場合、作図も適正に行われません。作図品質の低下、またはメディアや本装置、プリントヘッドが破損するなど大変危険です。

重要!

- チェック方法で「レンゾクモード」を選択している場合、電源 ON 後、作図時に一度だけヘッドギャップ調整を行います。メディアが変わった場合でもギャップチェック動作を行わないため、必ずヘッドギャップ調整を行ってください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼を押して「ギャップ
チェック」を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
ギ ャ ッ プ チェック <ENT>

3

▲▼を押して「チェック
カシ」を選び、**ENTER** キー
を押す

メンテナンス
チェック カシ <ent>

4

右のメッセージを表示したら、
正面カバーを開ける

ショウメン カバ ー ラ
アケテクタ サイ

5

メディアをセットしたら、
ENTER キーを押す

ギ ャ ッ プ チェック
メデ ィアラセットシテクタ サイ:ent

- 自動的にヘッドギャップ調整を行います。
- ヘッドギャップはP.3-15で設定した値になります。



** ギ ャ ッ プ チェックチュウ **
シバ ラク オマチクタ サイ

6

右のメッセージを表示したら、
正面カバーを閉める

ショウメン カバ ー ラ
シメテクタ サイ



- ギャップチェック実施後はテーブルの上画面 (P.3-15) はヘッドギャップの変更画面に切り替わります。

ゲ ンテン セッテイ
ヘッド ギ ャ ッ プ = 1.2mm

3

便利な使い方

ノズル抜けが直らないとき

ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルで作図する

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)して作図することができます。(ファームウェア Ver.1.90 以降に対応)

1

<ローカル> 表示のとき、
(FUNCTION) キーを押す

<ローカル>

2

(▲) (▼) を押して [メンテナンス]
] を選び、(ENTER) キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

(▲) (▼) を押して [ノズルリカ
バリ] を選び、(ENTER) キーを押
す

メンテナンス
ノズルリカバリ

<ent>

4

(▶) を押して [サクズ] を選ぶ

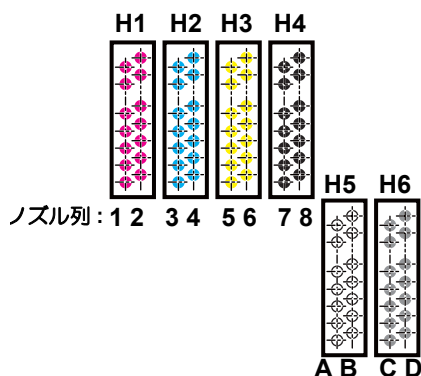
ノズルリカバリ
クリア<

>サクズ

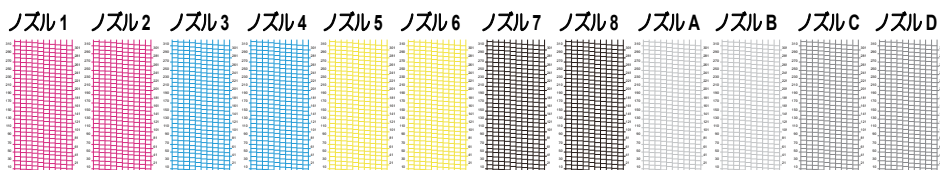
- ◀ : ノズル列を選択し、(ENTER) を
押すことで、設定値をクリアし
ます
- ▲ ▼ : 作図をしないで、ノズル列選択
手順 (手順 5) に移ります

サクズ チュウ
シバリクオマチクタサイ

ヘッドを上から見た図



ノズルパターン



5

▲▼を押してノズルリカバリをするノズル列選び、
ENTER キーを押す

ノズルリカバリ
センタク : ノズル 1 (K)

インク色 :
M, C, Y, K, m, c, W, S

ノズル列 : ノズル 1 ~ ノズル D

6

リカバリが必要なノズル番号を
登録し、ENTER キーを押す

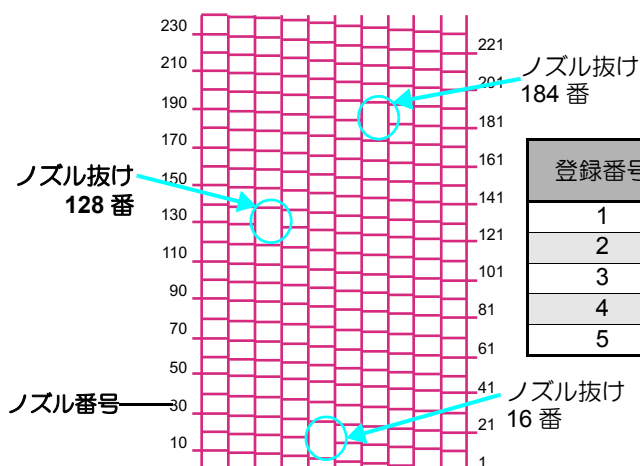
ノズルリカバリ
ノズル 1 (K) No. 1 : OFF

リカバリノズル番号 :
OFF、1~318

登録番号 : 1~5

- ◀▶: 登録番号 (1~5) を選択します
- ▲▼: リカバリするノズル番号
(OFF、1~318) を登録します

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリ ノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

7

終了するとき、END キーを数回押す

重要!

- 1 ノズル列あたり 5 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、作図時間は変わりません。
- 以下の作図モードでは、ノズルリカバリ機能は無効です。
 - 4 色インクセット時: 600x600 2 パス 標準速 / 600x600 4 パス 倍速
1200x1200 4 パス 標準速 / 1200x1200 8 パス 倍速
 - 6 色インクセット時: 600x600 4 パス 標準速 / 600x600 8 パス 倍速
1200x1200 8 パス 標準速 / 1200x1200 16 パス 倍速



- 白インクやクリアインクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。
- テスト作図、メディア補正パターン印刷時は、ノズルリカバリ機能は無効になります。

3

便利な使い方

設定値をクリアする

ファームウェア Ver.1.90 以降に対応。

1

<ローカル> 表示のとき、
(FUNCTION) キーを押す

<ローカル>

2

(▲) (▼) を押して [メンテナンス]
ス] を選び、(ENTER) キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

(▲) (▼) を押して [ノズルリカ
バリ] を選び、(ENTER) キーを押
す

メンテナンス
ノズルリカバリ

<ent>

4

(◀) を押して [クリア] を選ぶ

ノズルリカバリ
クリア

>サクス

5

(▲) (▼) を押して、設定値ク
リアするノズル列を選び、
(ENTER) キーを押す

ノズルリカバリ
クリア : ノズル 1 (K)

- "(DATA CLEAR) キーを押すと、すべてのノズル列に設定した内容を削除します。

6

終了するとき、(END) キーを数回押す

作図条件をまとめて登録する

本機では、タイプ（1～4）ごとに作図条件を登録できます。
お使いになるメディアに合わせた作図条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したときなど、タイプを変更するだけで最適の作図条件を設定できます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT>

3

▲ ▼ を押してタイプ1～4
を選び、**ENTER** キーを押す

セッテイ
センタク

: タイプ° 1

4

項目を選び、設定する

- ・ 設定項目については、3-11 ページの「設定一覧表」を参照してください。

3

便利な使い方

作図条件を設定する

使い方に合わせて設定を変えてください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク

: タイフ° 1

4

▲ **▼** を押して設定する項
目を選び、**ENTER** キーを押す

[1]
カサネヌリ

<ent>

・ 設定一覧表を参照して選択してください。

5

▲ **▼** を押して項目を選び、
ENTER キーを押す

[1] カサネヌリ
セッテイ

: 1 カイ

・ 設定一覧表を参照して選択してください。

6

END キーを押して終了する



・ 設定内容は、電源を切ってもクリアされません。

設定一覧表

作図条件の設定は次の通りです。お買い上げ時は、下線の設定になっています。
ここでの設定は、「タイプ」にも登録できます。

項目		設定値	説 明
ヘッドギャップ (P.3-15)		0.9 ~ <u>1.2</u> ~ 2.0mm	ヘッドとメディアのギャップ値を設定します。
メディアホセイ (P.3-12)		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	メディアの送り量を補正するためのパターンを作図し、補正します。
サクズハウシキ (P.3-14)	サクズヒンシツ	<u>ヒョウジュン</u> /キレイ/ハヤイ	作図品質を設定します。
メディアイチ	ON / OFF (ON の場合メディア左右位置)	ヒダリ: 1 ~ 700 ミギ: 0 ~ ヒダリ設定値	メディアの位置を設定します。
UV コウリョウ (P.3-18)		<u>ツヨイ</u> /ヒョウジュン/ヨワイ/ナシ/インサツナシH/インサツナシN/インサツナシL	UV ランプの光量を設定します。
UV スキャンツイカ (P.3-19)		<u>OFF</u> /1 ~ 9	作図開始・終了付近での、UV 照射を設定します。
カサネヌリ		1 ~ 9	インクの重ね塗りをします。
レイキャクジカン (P.3-21)		<u>0.0</u> ~ 2.0s	スキャンごとの冷却時間を設定します。
リフレッシュ		レベル 0, 1, 2, 3	作図中および待機中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
キュウチャク		OFF/ <u>ヨワイ</u> / <u>ヒョウジュン</u>	メディアをテーブルに吸着させるときの強さを設定します。
ユウセンジュンイ (P.3-20)		サクズハウシキ/カサネヌリ: ホスト/パネル レイキャクジカン: ホスト/ <u>パネル</u>	作図方式、重ね塗り、冷却時間について、優先する設定を決定します。
セッテイリセット (P.3-22)		-	設定を初期化します。

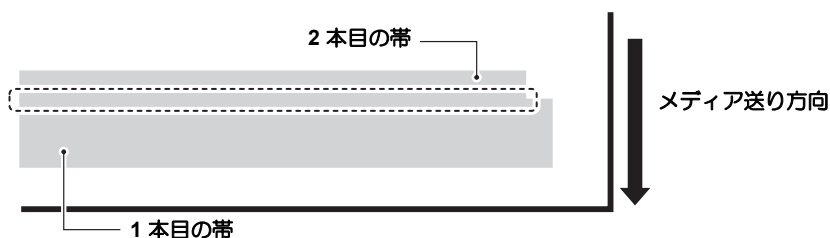
メディア補正を設定する

メディアの種類を交換したときは、メディアの送り量を補正してください。
補正值が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。

重要!

- ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本機の背面にあるロールメディアにたわみが生じます。作図の前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。たわみがあると画質不良の原因になります。
- 巻取装置を使用する場合、作図の前に、メディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

補正パターン



- 補正パターンでは2本の帯を作図します。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

1

メディアをセットする (👉 P.2-11)

2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

3

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT>

4

▲ ▼ を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク

: タイプ° 1

5

ENTER キーを 2 回押して、補正パターンを作図する

[1]
メデ[※] ィア ホセイ <ent>

6

補正パターンを確認し、
▲ **▼** キーで補正值を入力する

[1]メデ[※] ィア ホセイ
ホセイチ = 0

- " + " : 2 本の帯の間隔が広がります。
 - " - " : 2 本の帯の間隔が近づきます。
- 補正值を "10" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

7

END キーを押して終了する

3

便利な使い方

作図方式を設定する

作図に関する設定をします。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲▼を押してタイプ（1
～4）を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイフ° 1

4

▲▼を押して[サクズホ
ウシキ]を選び、**ENTER** キー
を押す

[1]
サクズ° ホウシキ <ent>

5

▲▼を押して設定する項
目を選び、**ENTER** キーを押す

[1]サクズ° ホウシキ
サクズ° ヒンシツ <ent>

・ 設定項目については、次ページの表を参照してください。

6

▲▼を押して項目を選び、
ENTER キーを押す

[1]サクズ° ホウシキ
サクズ° ヒンシツ : ヒョウジ° ユン

・ 項目については、次ページの表を参照してください。

7

END キーを押して終了する

項目		説明
サクズ ヒンシツ	ヒョウジュン	標準的な作図品質
	キレイ	高品質な作図をしたいとき（作図スピードは遅くなります）
	ハヤイ	速く作図したいとき（画質はやや劣ります）

ヘッドギャップ値を登録する

ヘッドとメディアとのギャップ値を入力します。ここで登録した値が、すべてのメディアに反映されます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
～ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

4

▲ **▼** を押して [ヘッド
ギャップ] を選び、
ENTER キーを押す

[1]
ヘッド° ギ ャ ッ プ° <ent>

5

▲ **▼** を押してギャップ値
を入力し、**ENTER** キーを押す

[1] ヘット° ギ ャ ッ プ°
1 . 2mm

• 設定値 : 0.9 ~ 2.0mm

6

END キーを押して終了する

重要!

- ヘッドギャップ値に適正な値が設定されていないと、作図中、メディアに大きなインク滴が落ちるなど、作図品質に影響が出ることがあります。

3

便利な使い方

ヘッドのスキャン幅を設定する

ヘッドのスキャン幅を設定することで、印刷時間を短縮できます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
～ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク

: タイプ° 1

4

▲ **▼** を押して [メディア
イチ] を選び、**ENTER** キーを
押す

[1]

メデ ィア イチ

<ent>

5

▲ **▼** を押して [ON] を選
び、**ENTER** キーを押す

[1] メデ ィア イチ
セッテイ

: ON

6

▲ **▼** を押して左のメディ
ア位置を入力し、**ENTER** キー
を押す

[1] メデ ィア イチ
ヒダリ

700 mm

• 設定値: 1 ～ 700mm

7

▲ **▼** を押して右のメディ
ア位置を入力し、**ENTER** キー
を押す

[1] メデ ィア イチ
ミギ

0 mm

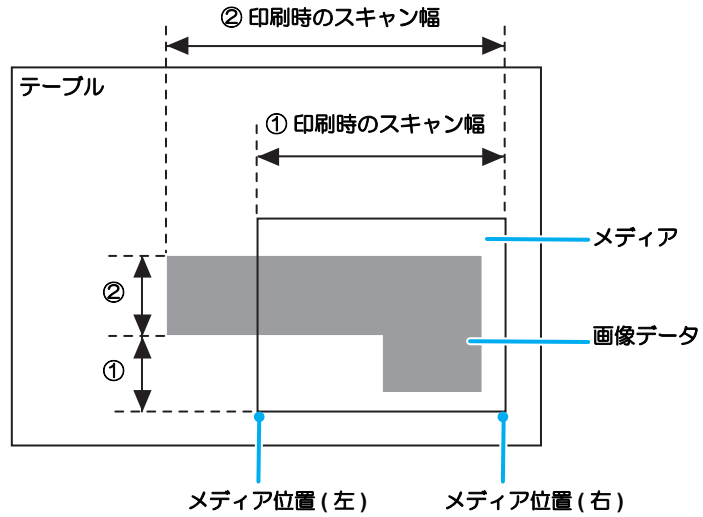
• 設定値: 0 ～ “ヒダリ” 設定値まで

8

END キーを押して終了する



- 設定したメディア位置の範囲より画像データの幅が広い場合、画像データの幅を優先します。
設定範囲外に印刷することになるため、印刷前に出力するデータ幅を確認し、メディア位置の設定をしてください。



UV 光量を変更する

1

<ローカル> 表示のとき、
[FUNCTION] キーを押す

<ローカル, 1>

2

[ENTER] キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

[▲][▼]を押してタイプ (1
～4) を選び、[ENTER] キーを
押す

セッテイ
センタク : タイフ° 1

4

[▲][▼]を押して [UV コウ
リョウ] を選び、[ENTER] キー
を押す

[1]
UV コウリョウ <ent>

5

[▲][▼]を押して光量を選び、
[ENTER] キーを押す

[1] UV コウリョウ
セッテイ : ツヨイ

・ 選択項目については、下記の表を参照してください。

6

[END] キーを押して終了する

項目	説明
ツヨイ	強い光量で UV ランプが点灯します。(☞ P.3-25)
ヒョウジュン	標準的な光量で UV ランプが点灯します。(☞ P.3-25)
ヨワイ	弱い光量で UV ランプが点灯します。(☞ P.3-25)
ナシ	作図時、UV ランプは点灯しません。
インサツナシ H	作図は行わずに、UV ランプだけ点灯させます。作図時に UV ランプを点灯させなかったときなどに、後から硬化させたいときに使用します。
インサツナシ N	
インサツナシ L	

印刷開始・終了時の UV 照射を設定する

印刷が終了した付近では、UV 照射不足により UV インクが未硬化になる場合があります。また、印刷開始付近では盤面温度が不均一になるため、UV インクの定着が安定しない場合があります。この場合、印刷開始・終了付近で状況に合わせて、UV を照射させながらスキャンを行う設定をします。(ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
～ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイフ° 1

4

▲ **▼** を押して [UV スキャ
ン ツイカ] を選び、
ENTER キーを押す

[1]
UV スキャン ツイカ <ent>

5

▲ **▼** を押して、印刷終了
付近でのスキャン回数を選択
し、**ENTER** キーを押す

・ 設定値 : OFF、1～9 回

[1] UV スキャン ツイカ
インサツゴ : OFF

6

▲ **▼** を押して、印刷開始
付近でのスキャン回数を選択
し、**ENTER** キーを押す

・ 設定値 : OFF、1～9 回

[1] UV スキャン ツイカ
インサツ マエ : OFF

7

END キーを押して終了する

3

便利な使い方

優先順位の設定をする

次の項目について、本機での設定を優先するか、コンピュータでの設定を優先するかを選択します。

項目：作図方式 / 重ね塗り / 冷却時間

1

< ローカル > 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

< ローカル , 1 >

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ < ENT >

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
～ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイフ ° 1

4

▲ **▼** を押して [ユウセン
ジュンイ] を選び、
ENTER キーを押す

[1]
ユウセン ジュンイ < ent >

5

▲ **▼** を押して [ホスト] ま
たは [パネル] を選び、
ENTER キーを押す

[1] ユウセン ジュンイ
サクス ホウシキ : パネル

- ・ ホスト：コンピュータの設定を優先
- ・ パネル：本機の設定を優先

6

同様に、他の項目も設定する

- ・ 項目：サクスホウシキ、カサネヌリ、レイキャクジカン

7

END キーを押して終了する

スキャンごとの冷却時間を設定する

UV ランプの熱で変形してしまうメディアに印刷する場合、スキャンごとにメディアを冷ます設定をします。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
～ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

4

▲ **▼** を押して [レイキャ
クジカン] を選び、
ENTER キーを押す

[1]
レイキャク ジ カン <ent>

5

▲ **▼** を押して冷却時間を
設定し、**ENTER** キーを押す

[1]レイキャク ジ カン
セッテイ : 0.0s

• 設定値 : 0.0 ～ 2.0s

6

END キーを押して終了する

重要!

• フラッシング BOX 付近に、可燃物を置かないでください。

3

便利な使い方

設定を初期状態に戻す

作図条件の設定を初期状態に戻します。

- | | | |
|---|--|-----------------------------------|
| 1 | <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す | <ローカル, 1> |
| 2 | ENTER キーを押す | FUNCTION
セッテイ <ENT> |
| 3 | ENTER キーを押す | セッテイ
センタク : タイフ° 1 |
| 4 | ▲▼ を押して [セッテイ
リセット] を選び、
ENTER キーを押す | [1]
セッテイ リセット <ent> |
| 5 | ENTER キーを押す
・ 設定を初期化します。 | [1] セッテイ リセット
ショキカ シマスカ? : ent |
| 6 | END キーを押して終了する | |

重要! ・ ここでは、設定項目で変更した内容のみ初期化できます。

UV ランプを消灯する

UV ランプは 30 分以上作図がないと自動的に消灯しますが、長い間隔をあけて作図をする場合、UV ランプの寿命を長く保つために任意で UV ランプを消しておくことができます。再び作図を開始すると、UV 照射器具は自動的に動作し、UV ランプが点灯します。

重要!

- UV ランプ消灯までの時間を設定することができます。(参照 P.3-24)
- 長時間作図をしない場合 (30 分以上)、このメニューで UV ランプを消灯してください。
- ランプ消灯をしてから再点灯し、作図可能になるまで、10 分間ほどかかります。

1

<ローカル> 表示のとき、
UV キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲ ▼ を押して [ランプショ
ウトウ] を選び、**ENTER** キーを
押す

UVランプ
ランプ ショウトウ <ent>

3

ENTER キーを押す

- UV ランプの消灯を開始します。

UVランプ ショウトウ
ショウトウ カイシ <ent>

4

ランプが消灯後、右の表示に
なったら、**END** キーを押して
終了する

UVランプ
ランプ ショウトウ <ent>

3

便利な使い方

UV ランプの消灯時間を設定する

UV ランプが消灯するまでの時間を設定します。

1

<ローカル> 表示のとき、
UV キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲ **▼** を押して [ショウトウ
ジカン] を選び、**ENTER** キーを
押す

UVランプ
ショウトウ ジ カン <ent>

3

▲ **▼** を押して消灯までの
時間を設定し、**ENTER** キーを
押す

ショウトウ ジ カン
TIME: 00h 30m

4

END キーを押して終了する

UV 光量を変更する

[ツヨイ]、[ヒョウジュン]、[ヨワイ]のそれぞれの光量の強さ (P.3-18) は、100% ～ 50% の 16 段階で変更できます。

1

< ローカル > 表示のとき、
[UV] キーを押す

< ローカル . 1 >

2

[▲][▼]を押して[コウリョウ
ウセッテイ]を選び、
[ENTER] キーを押す

UVランプ
コウリョウ セッテイ <ent>

3

[▲][▼]を押して光量[ツヨイ]
のレベルを設定し、
[ENTER] キーを押す

UVコウリョウ セッテイ
ツヨイ : Lv. 16

• 設定値 : Lv.1 ～ Lv.16

4

[▲][▼]を押して光量[ヒョウ
ジュン]のレベルを設定し、
[ENTER] キーを押す

UVコウリョウ セッテイ
ヒョウジュン : Lv. 8

• 設定値 : Lv.1 ～ Lv.16

5

[▲][▼]を押して光量[ヨワイ]
のレベルを設定し、
[ENTER] キーを押す

UVコウリョウ セッテイ
ヨワイ : Lv. 1

• 設定値 : Lv.1 ～ Lv.16

6

[END] キーを押して終了する

3

便利な使い方

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

	項 目	設定値*1	内 容
マ シ ン 設 定	ミストファン	ヨワイ / <u>ヒョウ ジュン</u> / ツヨイ / OFF	後方ミストファンの強さを設定します。
	ジコクセッテイ		現在の日付と時刻を設定します。
	マシンメイショウ	<u>01</u> ~ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台 接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシ ンNo.) を設定します。
	プリントモード	<u>ヒョウジュン</u> / コ ウガシツ	印刷品質を設定します。
	ジョウホウ	<u>シリアル No.</u> / バージョン / エラーリレキ / メンテナンスリレ キ	本装置の装置情報を確認します。

*1. お買い上げ時は、下線の設定になっています。

ミストファンの強さを設定をする

1

ローカルモードで、
FUNCTION キーを押すFUNCTION
セッテイ <ENT>

2

▲ **▼** を押して、
[マシンセッテイ] を選び
ENTER キーを押すFUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押して、
[ミストファン] を選び
ENTER キーを押すマシン セッテイ
ミスト ファン <ent>

4

▲ **▼** を押して、設定を変更し、
ENTER キーを押すミスト ファン
セッテイ : ヒョウジ ユン

• 設定値：ヨワイ、ヒョウジュン、ツヨイ、OFF

5

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

ジコクの設定をする

1

ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

▲ ▼ を押して、
[マシンセッテイ] を選び
ENTER キーを押す

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

▲ ▼ を押して、
[ジコクセッテイ] を選び
ENTER キーを押す

マシン セッテイ
ジ コク セッテイ <ent>

4

現在の時刻を表示する

- ・ 時刻を変更する場合、**ENTER** キーを押します。

ジ コク セッテイ
2009.10.05 15:30:00

5

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、
時刻を入力する

年月日 / 時分の選択 : **◀ ▶** で選ぶ
年月日 / 時分の入力 : **▲ ▼** で入力

ジ コク セッテイ
2009.10.05 15:30:00

6

ENTER キーを押す

- ・ 入力した時刻が表示されます。

ジ コク セッテイ
2009.10.05 15:30:00

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- ・ 過去の時刻設定は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- ・ 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 4 で次の操作をすると、前回設定した時刻に戻すことができます。

(1) 手順 4 で **FUNCTION** キーを押す

(2) **ENTER** キーを押す

変更内容に戻せるのは、一つ前の変更までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

マシンメイショウの設定をする

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。

1

ローカルモードで、
[FUNCTION] キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

[▲] [▼] を押して、
[マシンセッテイ] を選び
[ENTER] キーを押す

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

[▲] [▼] を押して、
[マシンメイショウ] を選び
[ENTER] キーを押す

マシン セッテイ
マシン メイショウ <ent>

4

[▲] [▼] を押して、
マシン名称 (01~99) を選び
[ENTER] キーを押す

マシン メイショウ
UJF-706 - 01

5

終了するとき、[END] キーを数回押す

3

便利な使い方

印刷品質を変更する

1

ローカルモードで、
[FUNCTION] キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

[▲][▼]を押して、
[マシンセッテイ]を選び
[ENTER] キーを押す

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

[▲][▼]を押して、
[プリント モード]を選び
[ENTER] キーを押す

マシン セッテイ
プリント モード <ent>

4

[▲][▼]を押して、
印刷品質を選び
[ENTER] キーを押す

プリント モード
ヒンダツ : ヒョウジュン

・ 項目については、以下の表を参照してください。

5

終了するとき、[END] キーを数回押す

項目		説明
プリント モード	ヒョウジュン	UJF-706 の標準的なスピード・画質で作図します。
	コウガシツ	高画質にするため、スピードを遅くして作図します。

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項 目	内 容
シリアルNo.	シリアル No. を表示します。
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
エラー履歴	現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 ◀▶を押して、発生順に発生日時（年月日時分）とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。（ファームウェア Ver.1.80 以降に対応）
メンテナンス履歴	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。 主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動（定期、スリープ）での洗浄機能について表示します。（ファームウェア Ver.1.80 以降に対応）

1

ローカルモードで、
[FUNCTION] キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

- ・ 本装置の設定リストを作図したい場合は、メディアをセットしてください。（P.2-11）

2

▲▼を押して、
[マシンセッテイ]を選び、
[ENTER] キーを押す

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

▲▼を押して、
[ジョウホウ]を選び、
[ENTER] キーを押す

マシン セッテイ
ジョウホウ <ent>

4

▲▼を押して、
表示する項目を選び、
[ENTER] キーを押す

ジョウホウ
シリアルNo. <ent>

- ・ 情報を表示します。

5



終了するとき、[END] キーを数回押す

3

便利な使い方

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

<p>シリアルNo.</p> <p>シリアルNo. ディーラーNo. を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> S/N = ***** D/N = ***** </div>	<p>バージョン</p> <p>F/W などの バージョン 情報を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">UJF-706</td> <td style="width: 50%;">V1.00</td> </tr> <tr> <td>MRL-III</td> <td>V1.50</td> </tr> </table> </div>	UJF-706	V1.00	MRL-III	V1.50
UJF-706	V1.00				
MRL-III	V1.50				
<p>エラー履歴 (ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)</p> <p>発生年月日を 表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> エラー リレキ 00001>11.10.01 12:15 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>エラー内容を 表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ERROR 41 モーターアラーム Y </div>	<p>メンテナンス履歴 (ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)</p> <p>メンテナンス 内容を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> メンテナンス リレキ 00001>11.10.01 12:15 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> キャリッジ アウト </div>				

その他の便利な機能

表示する言語を切り替える

ディスプレイに表示する言語を選択します。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼を押して
[DISPLAY] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
DISPLAY <ENT>

3

▲▼を押して言語を選
び、**ENTER** キーを押す

DISPLAY
Japanese <ent>

- ・ お買い上げ時は [English] に設定されています。

4

END キーを押して終了する



- ・ 設定内容は、電源を切ってもクリアされません。

データクリア

本機に不要な作図データがある場合は消去してください。

1

<ローカル> 表示のとき、
DATA CLEAR キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押す

デ ー タ ク リ ア
<ENT>

- ・ データが消去されます。

3

便利な使い方

本機の情報を表示する

1

<ローカル> 表示のとき、
ENTER キーを押す

<ローカル, 1>

2

ENTER キーを押すごとに、
 順次情報が表示される

- 右のような情報が表示されます。

インク残量

[SPC-0371] インク サ`ンリョウ
 9999 9999 9999

バージョン/コマンド情報

UJF-706 V1.00
 MRL-III V*.**

照射時間

<ローカル, 1>
 ショウシャ シ`カン 0

圧力情報

<ローカル, 1>
 フアツ 2.30kpa

サブタンク情報

<ローカル, 1> サブ`タンク
 MMMM LLLL FFFF

3

ENTER キーを押して
 <ローカル> に戻る

<ローカル, 1>

第4章

お手入れのしかた



この章では ...

インクの交換やクリーニング方法など、本機のお手入れについて説明します。

日常のお手入れ	4-2	白インク(ホワイト)の	
長期間使用しない場合は	4-2	定期メンテナンス	4-23
お手入れ上のご注意	4-2	かすれや抜けが改善しない場合は	4-26
テーブル、外装のお手入れ	4-3	インクの充填を行う	4-26
インクカートリッジについて	4-4	サブタンクメンテナンス	4-27
新しいインクカートリッジに		ワイパのクリーニング	4-29
交換する	4-4	不凍液を補充する	4-32
カートリッジ異常が発生したら	4-5	不凍液混合水を補充する	4-33
洗浄液カートリッジについて	4-6	UV ランプフィルタの清掃	4-34
フラッシング BOX のクリーニング	4-7	UV 電源フィルタの清掃	4-36
作図中のインク滴の垂れを防ぐ	4-10	オプションバキュームユニット	
廃インクが溜まったら	4-13	フィルタの清掃	4-38
廃インクタンクのインクを処分する	4-13	ミストファンフィルタの交換	4-40
ワイパタンクのインクを処分する	4-15	UV ランプを交換する	4-42
ノズル面の清掃頻度を設定する	4-17	UV ランプの照射時間を確認する	4-42
電源を入れたときに		UV ランプの交換について	4-42
自動でクリーニングを行う	4-19	UV ランプの照射時間を	
電源オフ中のノズル抜けを防止する	4-20	リセットする	4-43
スリープ中のリフレッシュ間隔を		UV ランプの照度を確認する	4-44
設定する	4-20	UV 照度を確認する	4-45
スリープ中のクリーニング間隔を		イオナイザの清掃	4-50
設定する	4-22	特色インクのノズル詰まりを防止する	4-52

日常のお手入れ

本機を末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は



- 本機の側面にある主電源スイッチを切ってください。(☞ P.2-4)
- セットしてあるメディアを取り除いてください。

お手入れ上のご注意

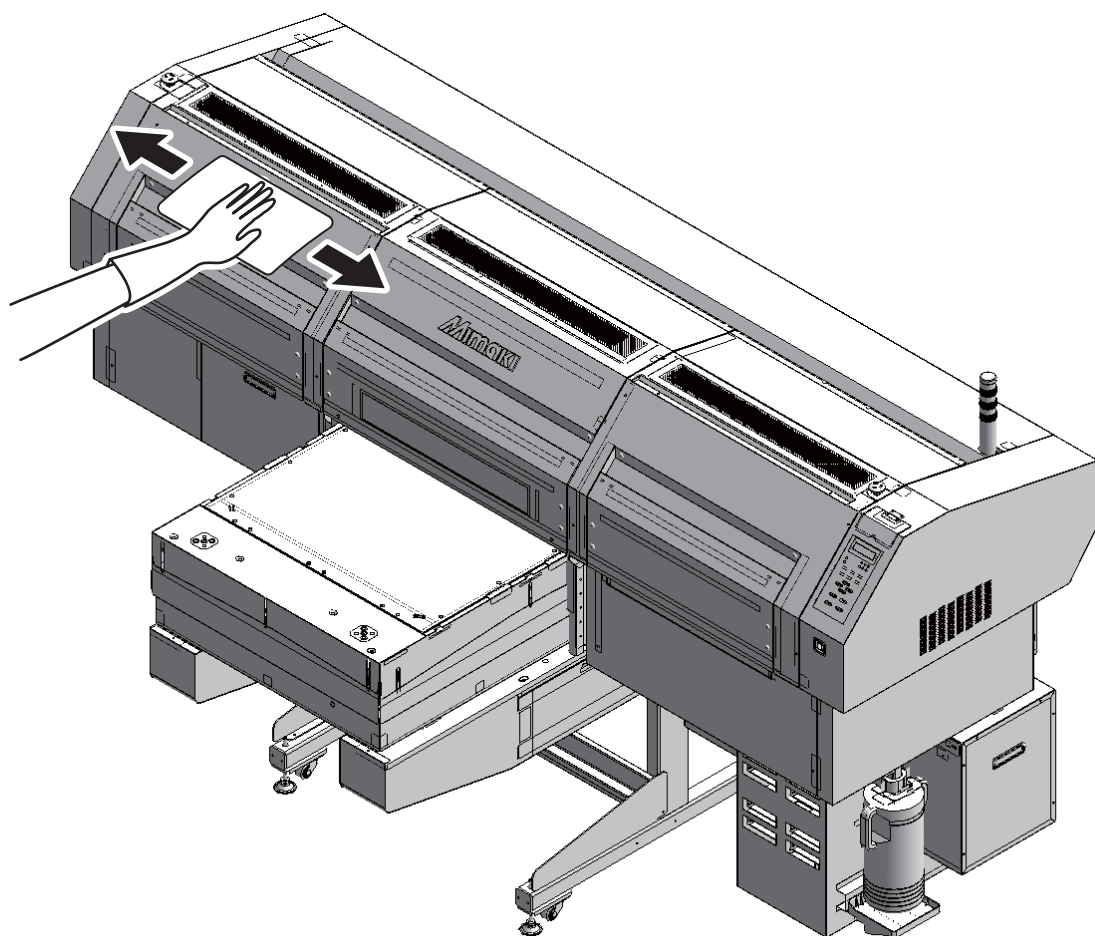


- 本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。
- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。これらは思わぬ事故が発生する原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺へは、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。
- 本機は紫外線硬化インク（UV インク）を使用します。
お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。



テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。



4

お手入れのしかた

インクカートリッジについて

新しいインクカートリッジに交換する

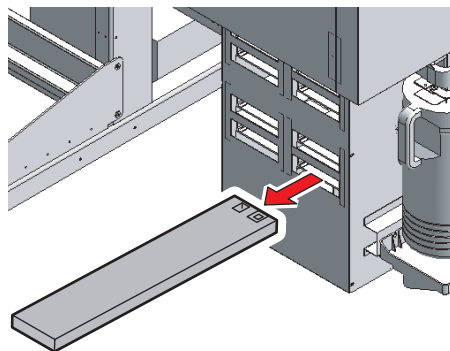
次のようなときに、インクカートリッジを交換してください。

ディスプレイ表示	概 要
<div>＜ローカル 1＞ ニアエント* M _ _ _ _ _</div>	インクカートリッジ内のインク残量が少なくなっています。 <ul style="list-style-type: none">• 続けて作図できますが、作図中にインクがなくなる場合があります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。• 左の表示は、マゼンタインクが少なくなっていることを示しています。
<div>＜ローカル 1＞ インクエント* M _ _ _ _ _</div>	インクカートリッジ内のインクがなくなりました <ul style="list-style-type: none">• 作図できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。• 左の表示は、マゼンタインクが無くなっていることを示しています。

インクカートリッジの交換は、＜ローカル＞表示にするか、電源を OFF (P.2-8) にしてから行ってください。

1

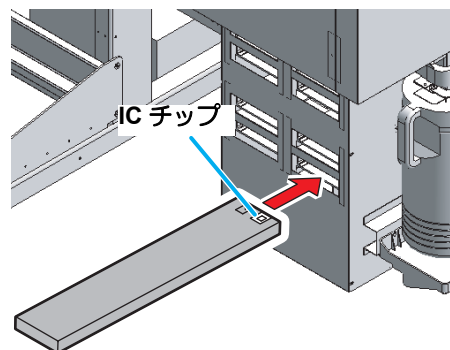
交換するインクカートリッジ
を引き抜く



2

新しいインクをセットする

- 図のように、IC チップがあるほうを上にしてセットします。



カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ディスプレイにメッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



- カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの原因になります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

1

カートリッジ異常の内容を確認する

<ローカル.1> インク カラー
MMCC YYKK WWSS

- 詳細は、以下のページをご覧ください。
🔍 P.5-4 「メッセージを表示するトラブル」

2

ENTER キーを押す

[SPC-0371] インク ザンリョウ
9999 9999 9999

3

ENTER キーを押す

- インクカートリッジに異常がなければ<ローカル>に戻ります。
- 複数のカートリッジ異常が発生している場合、再度**ENTER**キーを押すと次の内容が表示されます。
- すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、<ローカル>表示に戻ります。

<ローカル.1> カートリッジ ナシ
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> インクカラー
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> ニアエンド*
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> ヒジ ユンセイ
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> インクエンド*
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> インクICエラー
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> キゲ ンギ レ
MMCC YYKK WWSS

<ローカル.1> インク シュレイ
MMCC YYKK WWSS

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

洗浄液カートリッジについて

洗浄液カートリッジに異常がある場合、以下のメッセージを表示します。
「! センジョウカートリッジナシ」「! センジョウカートリッジイジョウ」のメッセージを表示している状態でクリーニング “ ハード ” を実行した場合、「エラー 30 オペレーションエラー」を表示し、クリーニングは実行できません。

ディスプレイ表示	概 要
<div><ローカル, 1> ! センジ^o ヨウ カートリッジ^o ナシ</div>	<ul style="list-style-type: none">• 洗浄液カートリッジが未挿入です。 洗浄液カートリッジを挿入してください。
<div><ローカル, 1> ! センジ^o ヨウ カートリッジ^o イジ^o ヨウ</div>	<ul style="list-style-type: none">• 洗浄液でないカートリッジが挿入されました。• インク IC に異常があります。 正しい洗浄液カートリッジを挿入してください。
<div><ローカル, 1> ! センジ^o ヨウ エキ エント^o</div>	<ul style="list-style-type: none">• カートリッジ内の洗浄液がなくなりました。 新しい洗浄液カートリッジを挿入してください。
<div><リモート, 1> ! WSH</div>	<ul style="list-style-type: none">• 上記のいずれかの問題が発生しています。 ローカルに戻り、エラー内容を確認してください。

フラッシング BOX のクリーニング

フラッシング BOX の清掃の際はフラッシングフィルタの確認をし、必要に応じてフラッシングフィルタを交換してください。(1 週間に 1 回程度)

クリーニングに必要なもの	・手袋	・紙タオル	・ゴーグル
--------------	-----	-------	-------



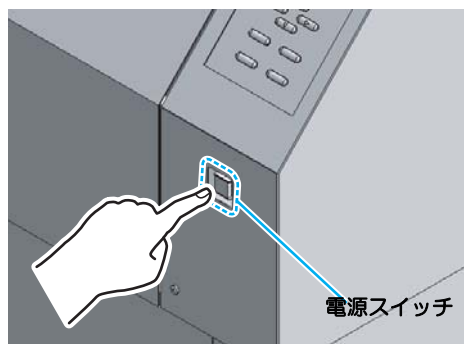
- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

重要!

- フラッシングフィルタ :SPC-0655 (廃インク吸収材)、ベンコット : A101437 は 1 週間に 1 回を目安に交換してください。フラッシングフィルタが吸収可能な量を超えると、インクが溢れることがあります。

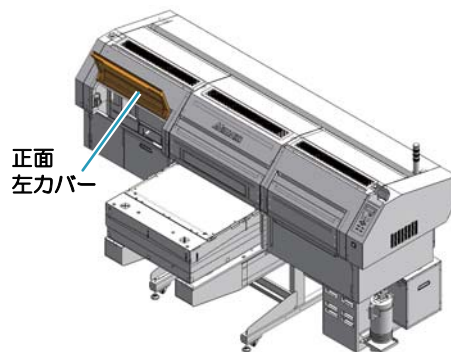
1

電源スイッチを押して、電源を切る



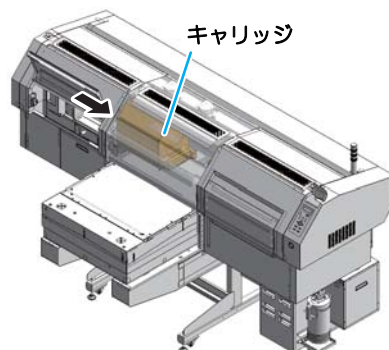
2

正面左カバーを開ける



3

キャリッジを手動で右側へ移動する



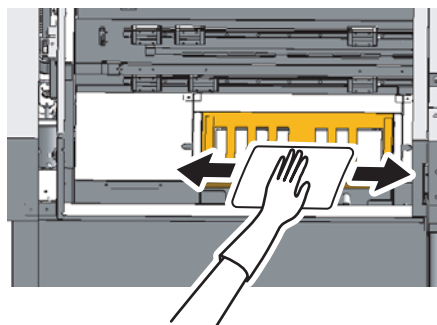
4

お手入れのしかた

4

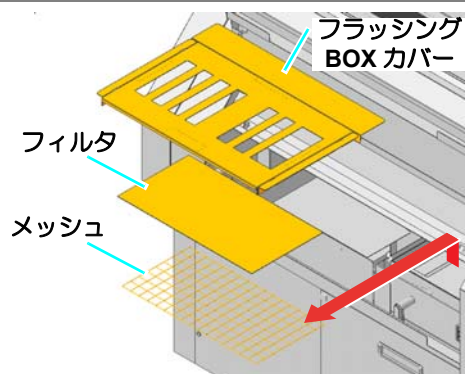
フラッシング BOX 表面のインクを拭き取ります

- フラッシングによりフラッシング BOX に付着したインクを、布を使って拭き取ります。



5

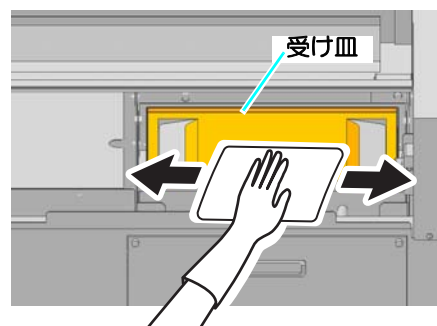
フラッシング BOX カバー、フィルタ、メッシュを取り外す



6

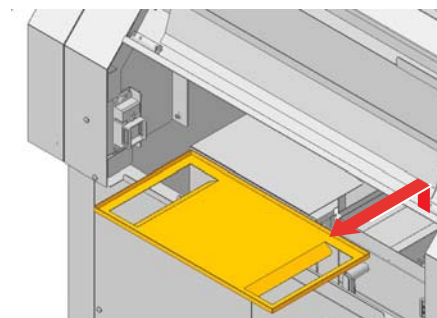
受け皿に付着したインクを拭き取る

- フラッシングにより受け皿に付着したインクを 布で拭き取ります。



7

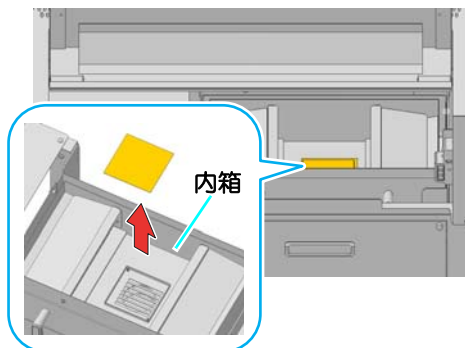
受け皿を取り外す



8

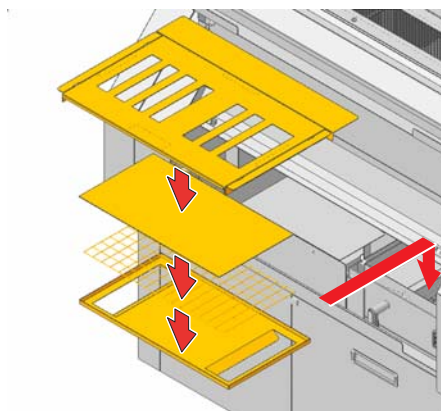
フラッシングBOX 内のベン コットを交換する

- 内箱の中にインクが付着している場合、布で拭き取ります。



9

受け皿、メッシュ、新しい フィルタ、フラッシングBOX をセットする



4

お手入れのしかた

作図中のインク滴の垂れを防ぐ

キャリッジ下面には、作図中のミストによりインク滴が発生することがあります。インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、かすれや抜けの原因となりますので、頻繁にキャリッジ下面を清掃してください。

クリーニングに必要なもの	・UJ 清掃棒 (SPC-0386)	・手袋	・ゴーグル
	・紙タオル		

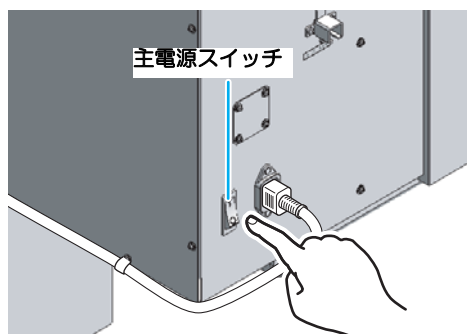
1

UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- ・ 本機前面の電源スイッチを押します。

2

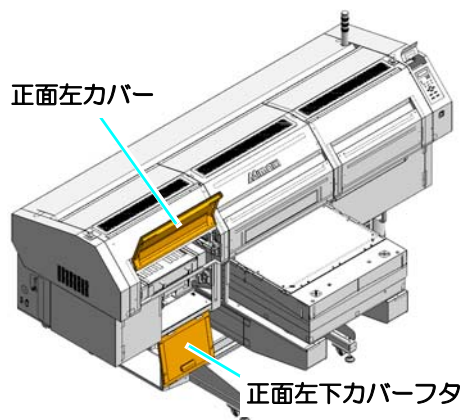
本機側面の主電源スイッチを切る



- ・ ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

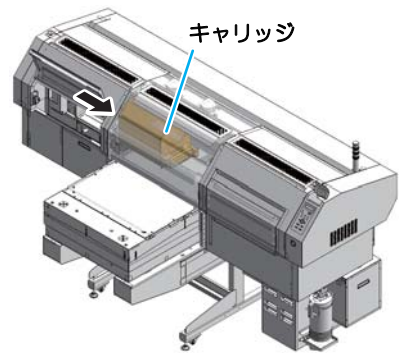
3

正面左カバーと正面左下カバーフタを開ける



4

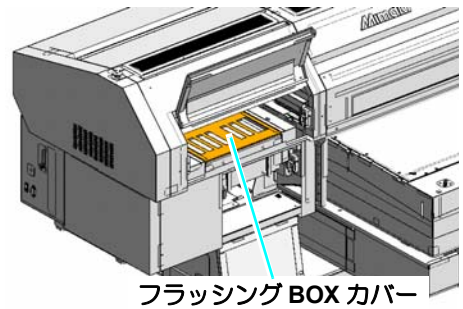
キャリッジを手動で右側へ移動する



5

フラッシング BOX カバーを取り外す

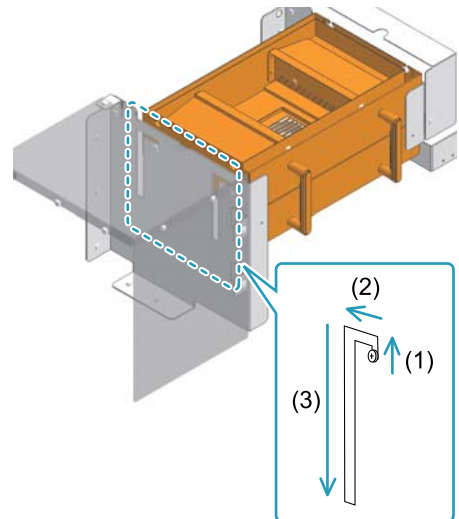
- ・ 上に持ち上げて取り外します。



6

フラッシング BOX を下に下ろす

- (1) 軽く持ち上げます。
- (2) 奥に押し込みます。
- (3) 下に下ろします。



7

キャリッジを、手動でフラッシング位置へ移動させる

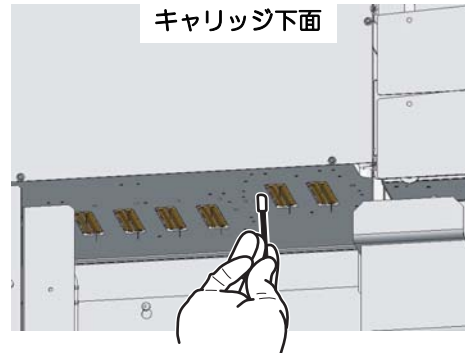
4

お手入れのしかた

8

清掃棒に洗浄液をしみこませ、
ヘッドの側面を清掃する

- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- キャリッジ下面にインクが付着していた場合、きれいに拭き取ってください。



9

手順 3、4、5 で外したカバーとフラッシング BOX を元の位置
に戻す

10

電源を ON にする

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクとワイパタンクに溜まります。定期的に（毎日）廃インクタンクをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクタンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。

廃インクタンクのインクを処分する

廃インクがタンクに一杯になると、ディスプレイにエラーを表示してお知らせします。エラーを表示した場合、廃インクタンクを確認し、下記手順に従い廃インクタンクのインクを処分してください。

！ハイインク タンク

1

電源を入れる

- 初期動作後、＜ローカル＞が表示されます。

2

＜ローカル＞表示のとき、
FUNCTION キーを押す

＜ローカル、1＞

3

▲ ▼を押して【メンテナ
ンス】を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

＜ENT＞

4

▲ ▼を押して【ステー
ションメンテナンス】を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent>

5

▲ ▼を押して【ハイイン
クタンクコウカン】を選び、
ENTER キーを押す

ステーション メンテナンス
ハイインク タンク コウカン <ent>

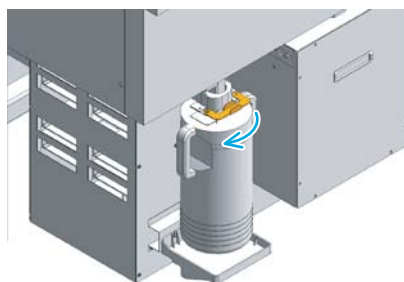
4

お
手
入
れ
の
し
か
た

6

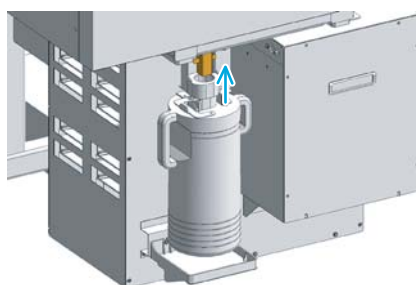
廃インクタンク固定金具を解除する

- 固定金具を矢印方向に開く



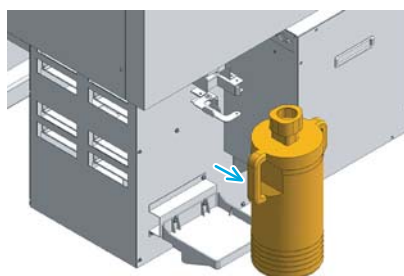
7

廃インクタンク内に入っているダクトを持ち上げる



8

廃インクタンクを引き抜く



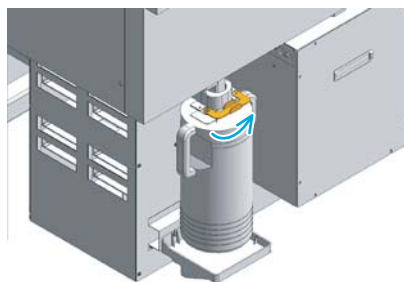
9

廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

10

空にした廃インクタンクを本機にセットする



11

ENTER キーを押す

ハイインク タンク コウカン
シュウリョウ : ent

12

END キーを押して終了する

重要!

- ・ディスプレイのエラーが右の表示の場合、クリーニング・サブタンクメンテナンスなどが実行できなくなります。すみやかに廃インクタンクのインクを処分してください。

<ローカル.1>
!ハイインク タンク フル

ワイパタンクのインクを処分する

ワイパタンクが一杯になると、ディスプレイにエラーを表示してお知らせします。
エラーを表示した場合、下記手順に従いすみやかにワイパタンクのインクを処分してください。

ワイパ タンク フル

1

電源を入れる

- ・初期動作後、<ローカル>が表示されます。

2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル.1>

3

▲▼を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4

▲▼を押して[ステーションメンテナンス]を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent>

4

お手入れのしかた

5

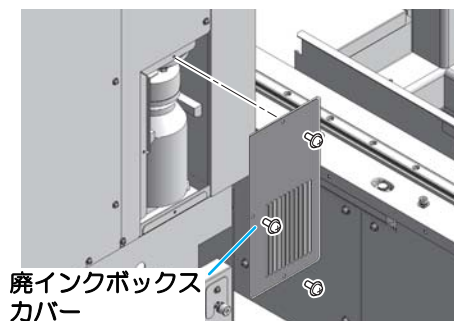
▲▼を押して「ワイパタンクコウカン」を選び、
ENTER キーを押す

ステーション メンテナンス
ワイパ°タンク コウカン <ent>

6

廃インクボックスカバーを開ける（本機背面）

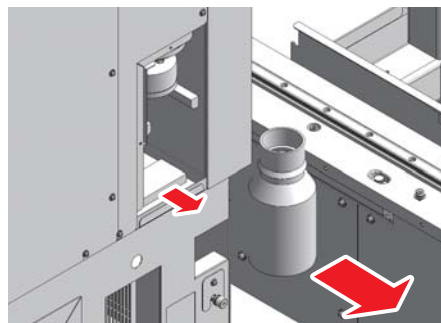
- (1) 廃インクボックスカバーのネジを外す
- (2) カバーを開ける



7

ワイパタンクを外し、
廃インクを廃棄する

- ・タンクのふたを持ってタンクを回し、タンクを取り出します。
中のインクを処分してください。
- ・廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



8

ワイパタンクを戻す

- ・ふたを持ってタンクを回し、ふたを閉めます。
- ・廃インクボックスカバーを取り付けます。

9

ENTER キーを押す

ワイパ°タンク コウカン
シュウリョウ : ent

10

END キーを押して終了する

ノズル面の清掃頻度を設定する

設定した回数の作図が終了すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。

1

<ローカル> 表示のとき、
(FUNCTION) キーを押す

<ローカル, 1>

2

(▲) (▼) を押して [メンテナ
ンス] を選び、(ENTER) キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

(▲) (▼) を押して [テイキメ
ンテナンス] を選び、
(ENTER) キーを押す

メンテナンス
テイキ メンテナンス

<ent>

4

(▲) (▼) を押して [インサツ
シュウリョウ] を選び、
(ENTER) キーを押す

メンテナンス
インサツ シュウリョウ

<ent>

5

(▲) (▼) を押してメンテナン
ス間隔を選び、(ENTER) キーを
押す

インサツ シュウリョウ
カンカク : スキャン カイスウ

・ 設定値 : スキャンカイスウ、インサツカイスウ

6

(▲) (▼) を押して回数を設定
し、(ENTER) キーを押す

インサツ シュウリョウ
スキャン カイスウ : 200

・ 設定値
スキャンカイスウ : 200 ~ 1000 (100 回単位)
インサツカイスウ : 1 ~ 4





4

お
手
入
れ
の
し
か
た



7

ノズルごとにメンテナンスする / しないを選び、
ENTER キーを押す

インサツ シュウリョウ
 センタク : 12345678abcd

- (1)   を押してヘッドを選ぶ
 (2)   を押して、メンテナンスする / しない (" * " マークが付く) を選ぶ

8

  を押してメンテナンス方法を設定し、**ENTER** キーを押す

インサツ シュウリョウ
 センタク : ワイピ ング

- ・ 設定値 : ワイピング、クリーニング

9

END キーを押して終了する

項目		説明
カンカク	スキャンカイスウ	設定したスキャン回数 (200 ~ 10000 回) をこえた印刷終了時にノズル面の清掃を行います。
	インサツカイスウ	設定した印刷回数 (1 ~ 4 回) ごとにノズル面の清掃を行います。

電源を入れたときに自動でクリーニングを行う

電源を入れたときに自動的にクリーニングを行う設定をします。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲ **▼** を押して [ティキメ
ンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ティキ メンテナンス

<ent>

4

▲ **▼** を押して [パワーオ
ン] を選び、**ENTER** キーを押
す

メンテナンス
パ° ワーオン

<ent>

5

ノズルごとにクリーニングす
る / しないを選び、
ENTER キーを押す

パ° ワーオン
センタク : KCMYcm--WS--

(1) **◀** **▶** を押してヘッドを選ぶ

(2) **▲** **▼** を押して、クリーニングする / しない ("-" マークが付く) を選ぶ

・ クリーニングをしないときは、全てのヘッドで "-" を選択してください。

6

END キーを押して終了する

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

電源オフ中のノズル抜けを防止する

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動してノズル抜けを防止するメンテナンス動作を行います。（ファームウェア Ver.1.70 以降に対応）
設定できるメンテナンス動作は、次の項目です。

項 目	内 容
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します
クリーニング	クリーニングを実行するまでの間隔と、実行するノズル列を設定します

- 重要！**
- ・ ノズル抜け防止のため、設定以外のタイミングで装置が起動する場合があります。
 - ・ SPC-0516(F-200) インク使用時は、以下の設定を推奨します。
リフレッシュ : 1h
クリーニング : 4h

スリープ中のリフレッシュ間隔を設定する

ノズル抜け防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定をします。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼を押して [メンテナ
ンス] を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して [スリープ
メンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
スリープ メンテナンス

<ent>




4

▲▼を押して [リフレッ
シュ] を選び、**ENTER** キーを
押す

スリープ メンテナンス
リフレッシュ

<ent>

5

  を押してリフレッシュ
間隔を設定し、
 キーを押す

スリープ カンカク	リフレッシュ	:	2h
--------------	--------	---	----

• 設定値 :OFF、1~168h

6

終了するとき、 キーを数回押す

4

お手入れのしかた

スリープ中のクリーニング間隔を設定する

ノズル抜け防止のため、クリーニングを実行する間隔と実行するノズル列を設定をします。

1

<ローカル>表示のとき、
FUNCTION キーを押す

＜ローカル. 1＞

2






 を押して [メンテナンス] を選び、 キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

< ENT >

3



 を押して [スリープ
メンテナンス] を選び、

 キーを押す

メンテナンス

スリープ^o メンテナンス

<ent>

4

▲▼を押して「クリーニング」を選び、ENTERキーを押す

スリープ[®] メンテナンス
クリーニング[®]

<ent>

5


▲ ▼ を押してクリーニング
間隔を設定し、ENTER キー
を押す

スリープ° クリーニング°
カンカク

: 8h

- 設定値 :OFF、1~168h



6

ノズルごとにクリーニングする/しないを選び、
 キーを押す

スリープ° クリーニング°
センタク : MMCC

: MMCCYYKKWWSS

(1) を押してノズルを選ぶ

(2)  を押して、クリーニングする/しない（“-”マークが付く）を選ぶ

・クリーニングをしないときは、全てのノズルで“-”を選択してください。

7

END キーを押して終了する

白インク (ホワイト) の定期メンテナンス

白インク (ホワイト) は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。

- 本機を 2 週間以上使用しない場合、本機の内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。
- インクが沈殿すると、作図時にノズル詰まりを発生し、正常な作図ができなくなります。
- 作図時のノズル詰まりの防止と白インクの状態を良好に保つため、下記の定期メンテナンスを行ってください。



- 一日一回は、次ページ手順 7 に従ってカートリッジ内のインクをかくはんするようにしてください。
- 一週間に一度、始業前に必ず以下のメンテナンスをしてください。
- インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。
- SPC-0516(F-200) インク使用時は、カラーインクも同様に一日一回カートリッジ内のインクをかくはんするようにしてください。インクが沈殿し、作図品質が低下する場合があります。

1

< ローカル > 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

< ローカル , 1 >

2

▲ ▼ を押して [メンテナ
ンス] を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

< ENT >

3

▲ ▼ を押して [ホワイト
メンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ホワイト メンテナンス

< ent >

4

ヘッドごとにホワイトメンテ
ナンスする / しないを選び、
ENTER キーを押す

ホワイト メンテナンス
カラー : _____ WW* *

(1) **◀ ▶** を押してヘッドを選ぶ

(2) **▲ ▼** を押して、ホワイトメンテナンスする / しない (" * " マークが付く)
を選ぶ

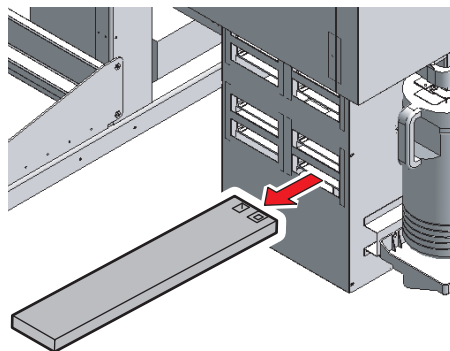
4

お
手
入
れ
の
し
か
た

5

白インクカートリッジをインクステーションから抜く

ホワイト メンテナンス
カートリッジ ヲ ハズ ス



6

ENTER キーを押す

ハイシュツチュウ
シバ ラク オマチクタ サイ

- ・ 白インクの排出作業を行います。

7

白インクカートリッジを 20 回以上ゆっくりと左右に振る

- ・ 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



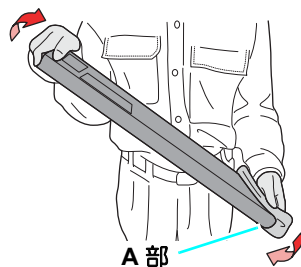
- ・ 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- ・ インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。



A 部 (針の差し口)



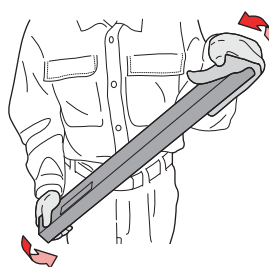
B 部 (底面の隙間)



A 部



繰り返す



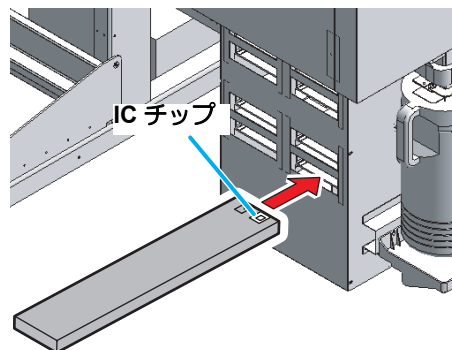
紙タオルでしっかりと押さえて
ゆっくり振る

8

次の画面が表示されたら、白
インクカートリッジを
インクステーションに戻す

- 図のように、IC チップがあるほうを上にしてセットします。

ホワイトメンテナンス
カートリッジ ラ セット



9

ENTER キーを押す

- インク充填を開始します。

シ ュウデンチュウ

* - - - - -

10

白インク充填終了後、右の表示
になったら、**END** キーを押し
て終了する

メンテナンス
ホワイト メンテナンス <ent>

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

かすれや抜けが改善しない場合は

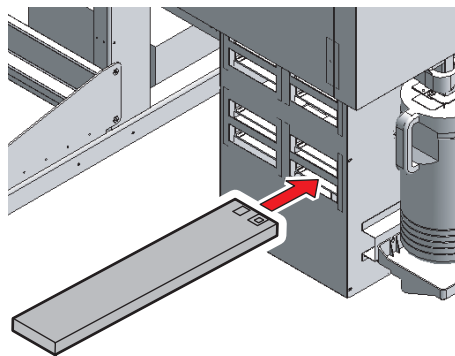
ヘッドクリーニングを繰り返してもかすれや抜けが改善されない場合は、インクの充填またはサブタンクメンテナンスを行ってください。

インクの充填を行う

1

インクステーションにインクカートリッジを差し込む

- ・インクカートリッジは確実にセットしてください。



2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

3

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選択し、**ENTER** キー
を押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

4





▲ **▼** を押して [インク
ジュウテン] を選択し、
ENTER キーを押す

メンテナンス
インク ジュウテン

<ent>

5

ヘッドごとに、インクの充填
を選び、**ENTER** キーを押す

- (1)   でカーソルを移動する
- (2)   でインクの充填を選ぶ
 - 全てのヘッドに対してインクの充填を選択してください。
 - 充填する：セットされているインクカートリッジを表示
 - 充填しない：“*”を表示

インク ジ ュウテン
カラー : MM  CYYKKWWSS

インク ジ ュウテン
カラー : MM  CYYKKWWSS

6

ENTER キーを押す

- インク充填を開始します。

インク ジ ュウテン
ジ ュウテン カイシ : ent

7

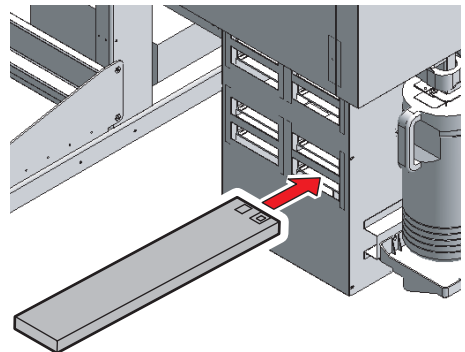
END キーを数回押して終了する

サブタンクメンテナンス

1

インクステーションにインク
カートリッジを差し込む

- インクカートリッジは確実にセットしてください。



2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

4

お手入れのしかた

3

▲▼を押して[メンテナンス]を選択し、ENTER キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4

▲▼を押して[サブタンクメンテナンス]を選択し、ENTER キーを押す

メンテナンス
サブ タンク メンテナンス <ent>

5

サブタンクメンテナンスする/しないを設定して、ENTER キーを押す

サブ タンク メンテナンス
カラー : **C**Y*****

(1) ◀▶でヘッドを選ぶ

(2) ▲▼でサブタンクメンテナンスする/しないを選ぶ

- ・エラー 148 が発生した場合には、該当するヘッドが選択されていますので、そのまま ENTER キーを押してください。

6

ENTER キーを押す

サブ タンク メンテナンス
ジ ャ ッ ク : ent

- ・サブタンクメンテナンスを開始します。
- ・サブタンクの状態によっては、ブザー音とともにスライダーが左右に連続して動きます。

ワイパのクリーニング

ワイパは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。
本機を使用しているとインクやホコリ等でワイパが汚れてきます。
ヘッドの状態を良好に保つために、ワイパは頻繁に清掃してください。
また、右のメッセージを表示した場合、すみやかにワイパのクリーニングを実施してください。

!ワイパ[®] セイソウ シテクタ[®] サイ



- ・清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

クリーニングに必要なもの	・ワイパスポンジセット (SPC-0578)	・プレワイプゴム (SPA-0172)	
	・UJ 清掃棒 (SPC-0386)	・手袋	・ゴーグル

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1>

2

▲▼を押して [メンテ
ナンス] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して [ステー
ションメンテナンス] を選
び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテナンス

<ent>

4

▲▼を押して [ワイパ
セイソウ] を選び、
ENTER キーを押す

ステーション メンテナンス
ワイパ[®] セイソウ

<ent>

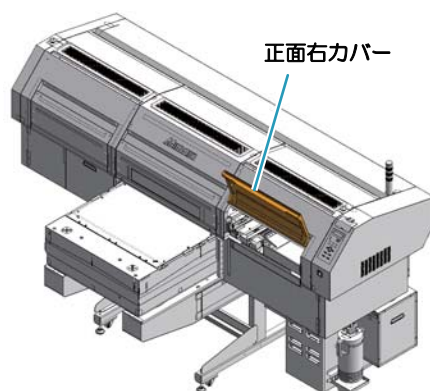
- ・キャリッジが左側のフラッシングトレイ付近へ移動します。
- ・ワイパが手前に移動します。

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

5

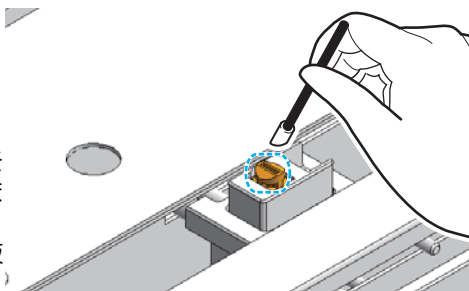
正面右カバーを開ける



6

清掃棒でワイパの汚れを拭き取る

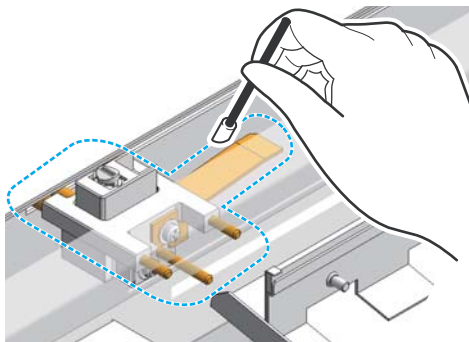
- 図の部分を拭いてください。
- 汚れがひどい場合、**(FUNCTION)** キーを押すと洗浄液がノズルから出てきます。再度**(FUNCTION)** キーを押すと、洗浄液は止まります。



7

清掃棒でワイパ軸とセンサ用ドグの汚れを拭き取る

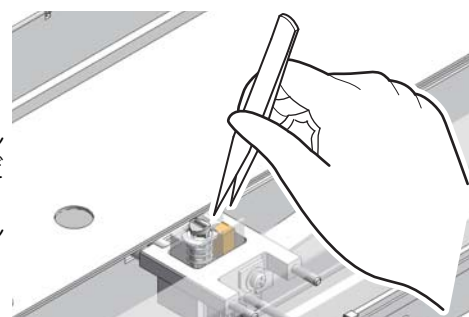
- 図の部分を拭いてください。



8

スポンジが汚れている場合は、スポンジを交換する

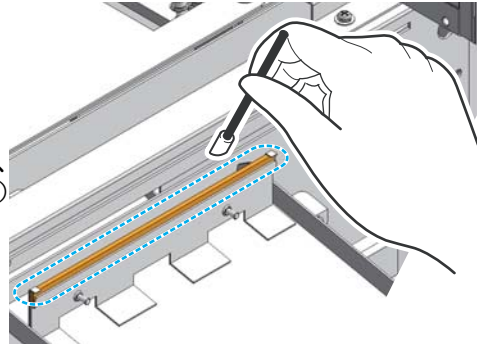
- ピンセット等でスポンジを取り外して、新しいスポンジをセットしてください。
- スポンジは半年に1回を目安に交換してください。



9

清掃棒でワイパーゴムの汚れを拭き取る

- 図の部分の拭いてください。
- ワイパーゴムの汚れがひどい場合は、ゴムを交換してください。(SPA-0168)



10

**清掃が終了したら、
ENTER キーを押す**

- 初期動作を実行します。

ワイハ° セイソウ
シュウリョウ : ent

11

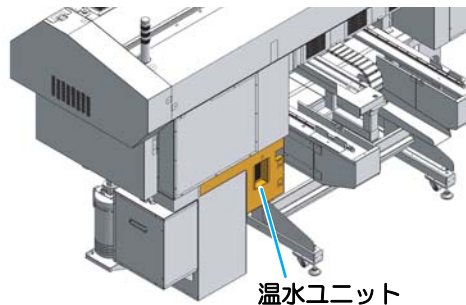
****END** キーを押して終了する**

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

不凍液を補充する

インクを適温に保つために稼働する、温水ユニット内の温水タンクに、不凍液と水を入れます。温水ユニットは、1ヶ月に一回、必ず確認してください。



補充に関する注意



- 水と不凍液の混合液は、水 2 に対して不凍液 1 の割合にしてください。
- 不凍液を入れず、水だけを温水タンクに入れた場合は、凍結などによりヘッドが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを温水タンクに入れた場合、温水の温度が上がらず、エラーになることがあります。
- 温水ユニットに必要な水量を確認するために 1ヶ月に一回、温水ユニットの確認をしてください。
- 温水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



不凍液の取り扱い上のご注意



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属のゴーグルおよび手袋を着用してください。



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。他のものを使用すると、温水ユニットが故障する恐れがあります。（交換用不凍液：SPC-0394 [1000cc X 2 本]）
- 不凍液には直接触れないようにしてください。誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。



- 予備の温水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃温水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- 温水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。この場合は、次ページの手順と同様に、水を交換してください。

ミス プ ソク

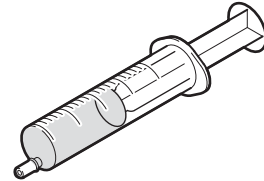
不凍液混合水を補充する

水不足のエラーが発生したら、不凍液混合水を補充してください。
満水にするには、約 200cc の補充が必要です。

1

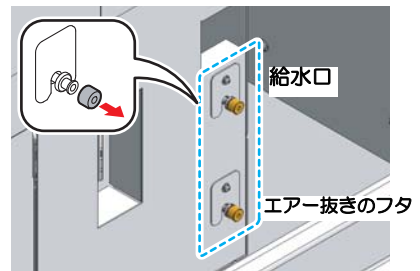
不凍液と水の混合水を作る

- (1) トレー等に、不凍液 1、水 2 の割合で混合水を作ります。
- (2) 混合水を付属のシリンジに移します。



2

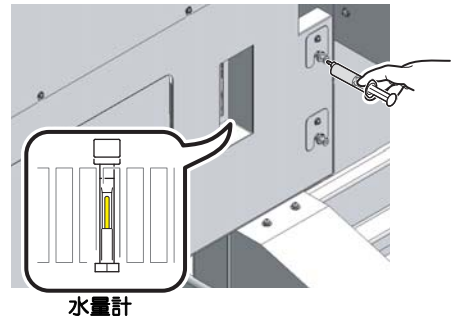
給水口とエア抜きのフタを外す



3

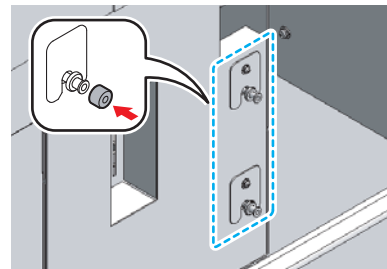
混合水を補充する

- 混合水を給水口から注入します。
- 水量は、水量計を見ながら、満水まで入れてください。
水量計に赤色が表示されたら満水です。



4

給水口とエア抜きのフタを閉める



4

お手入れのしかた

UV ランプフィルタの清掃

本機を末永くご利用いただくために、一日の作業終了後に UV ランプフィルタを清掃してください。



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



- フィルタの清掃中にネジなどを落とした場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。
- ディスプレイに右のメッセージが表示された場合、すみやかに UV ランプフィルタを清掃してください。

メンテナンス ワーニング
UVランプ フィルター セイノウ

作業に必要なもの	・手袋	・ゴーグル	・ステンレスチューブブラシ
----------	-----	-------	---------------

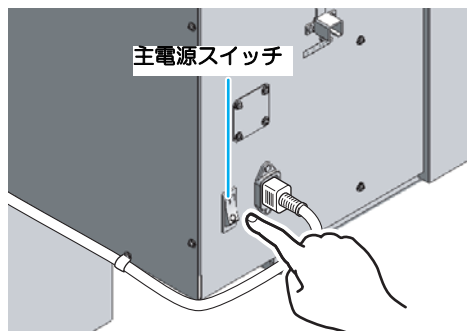
1

UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- 本機前面の電源スイッチを押します。

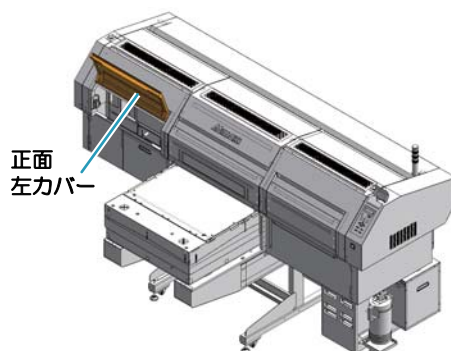
2

本機側面の主電源スイッチを切る



3

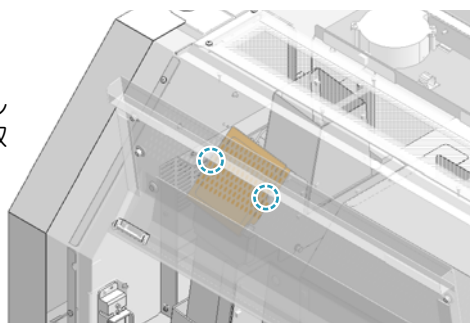
正面左カバーを開ける



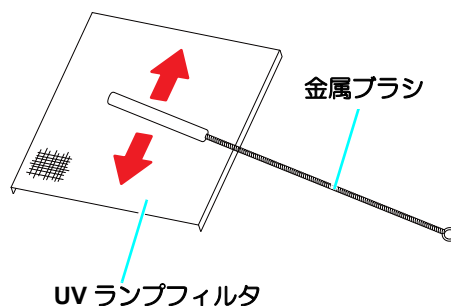
4

UV ランプフィルタを取り外す

- つまみネジを外し、フィルタとフィルタ押さえを上方向に移動させながら取り外す。



5

付属の金属ブラシで、UV ランプフィルタに溜まったミストをかき落とす

6

UV ランプフィルタを取り付け、正面左カバーを閉める

- 手順 3、4 の逆の手順で取り付けます。

4

お手入れのしかた

UV 電源フィルタの清掃

本機を末永くご利用いただくために、一日の作業開始前に UV 電源フィルタを清掃してください。

作業に必要なもの

・ウェス

・掃除機

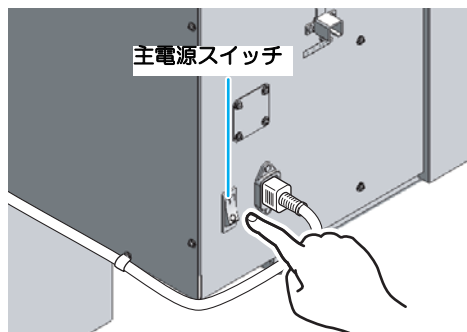
1

UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- ・本機前面の電源スイッチを押します。

2

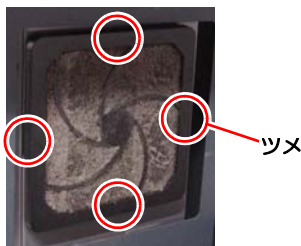
本機側面の主電源スイッチを切る



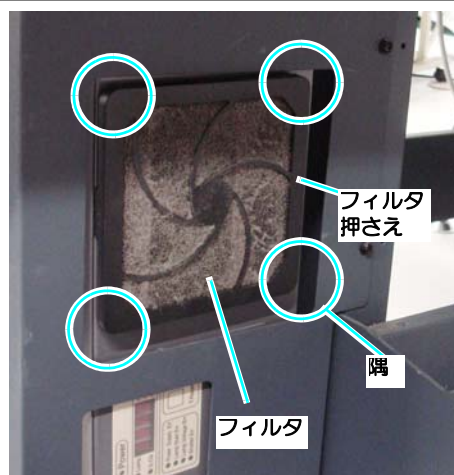
3

UV 電源正面のフィルタを外す

- (1) フィルタ押さえの四隅に指を入れ、フィルタ押さえを手前に引く
- (2) フィルタ押さえの 4 辺にあるツメをすべて外す



- (3) フィルタを取り外す



重要!

- ・フィルタ押さえの 4 辺にあるツメは、強めに固定されています。ツメが割れないように十分注意してください。

4

掃除機でフィルタに付着した
ホコリやチリを吸い取る

- UV 電源側の金網も、 ウェスなどで拭き取る

**重要!**

- 目詰まりのないようにすること。



ホコリで目詰まりしている



目詰まりのない状態



フィルタを水洗いしないでください

- 水分や水滴が装置内部に入らないように注意してください。
万が一、フィルタに水分が付いた場合は、よく乾かしてから使用してください。

5

フィルタを元の位置にセットする

4

お手入れのしかた

オプションバキュームユニットフィルタの清掃

オプションバキュームユニット (OPT-J0270) をお使いの場合、バキュームユニットのフィルタ清掃をしてください。(1 週間に 1 回程度または吸着力が弱くなった場合)

作業に必要なもの

・ウェス

・掃除機

1

本体とバキュームユニットの電源スイッチを **OFF** にする

2

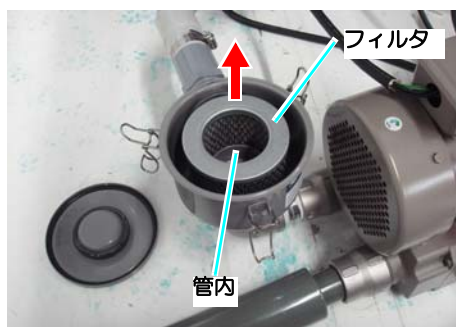
フタを外す

・フックを外して、フタを取ります



3

フィルタを取り出す



重要!

・フィルタを取り出す際は、ホコリやチリが管内に入らないに注意すること。

4

掃除機でフィルタに付着したホコリやチリを吸い取る



5

ウェスなどでフタに付着したホコリを拭き取る

- ・フタに大きなホコリが付くと、吸着力が弱くなる原因になります。



6

フィルタを元の位置にセットする

- (1) フィルタを押さえながら、フタが開かないようにして閉じる（フタが浮いているとフックをかけられません）
- (2) フックをかける

重要!

- ・ゆがみ、締め忘れがあると吸着力が著しく低下する場合があります。



フィルタを水洗いしないでください

- ・水分や水滴が装置内部に入らないように注意してください。
万が一、フィルタに水分が付いた場合は、よく乾かしてから使用してください。

4

お手入れのしかた

ミストファンフィルタの交換

ミストファンフィルタは、定期的に交換してください。（1ヶ月に1回程度）



- 交換をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
- 指定以外の部品を外さないでください。

交換に必要なもの

• 手袋

• ゴーグル

• フィルタ **

**．フィルタ（上方ミストファンフィルタ：SPC-0650、後方ミストファンフィルタ：SPC-0651、吸着ファンフィルタ：SPC-0652）のご購入は販売店または弊社営業所にお申し付けください。

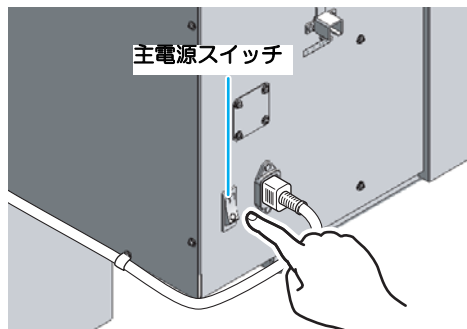
1

UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- 本機前面の電源スイッチを押します。

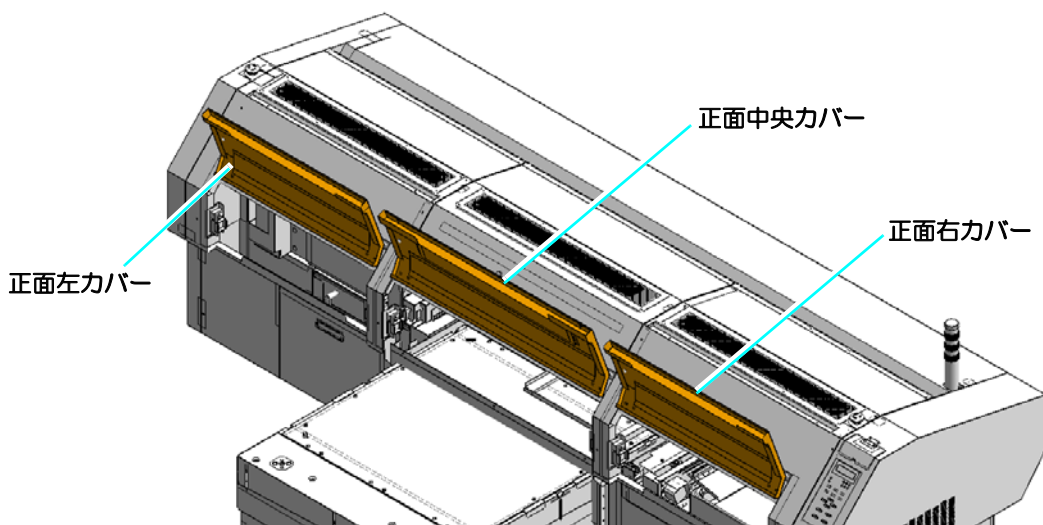
2

本機側面の主電源スイッチを切る



3

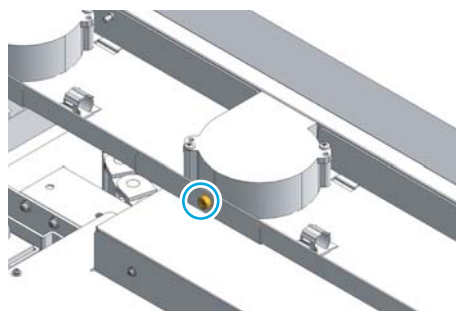
正面左カバー、正面右カバー、正面中央カバーを開ける



4

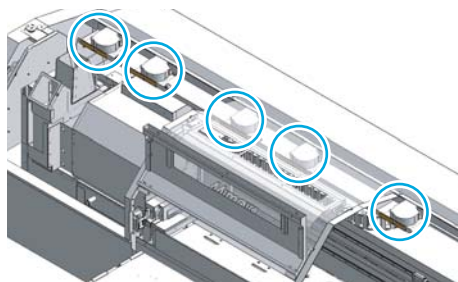
フィルタ押さえを取り外す

- つまみネジを外し、フィルタとフィルタ押さえを上方向に移動させながら取り外す。

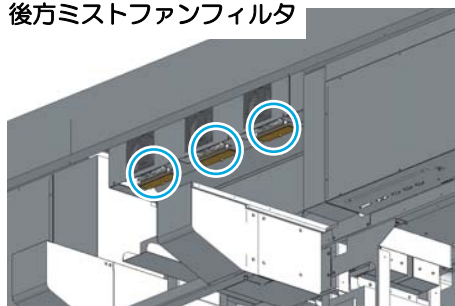


- フィルタは下記の○印を付けている箇所にあります。(9箇所)

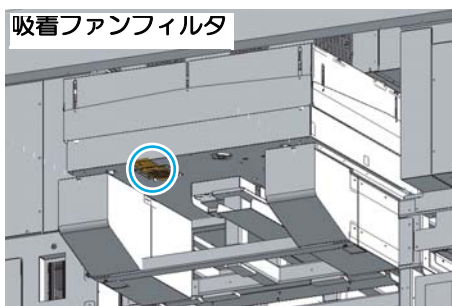
上方ミストファンフィルタ



後方ミストファンフィルタ



吸着ファンフィルタ



5

フィルタを交換する

- 新しいフィルタを用意し、交換します。

6

フィルタ押さえを元の状態に戻す

7

フロントカバー、左右の正面カバーを閉める

4

お手入れのしかた

UV ランプを交換する

UV ランプは消耗品です。

本装置は、UV ランプの照射使用時間をカウントし、交換時期をお知らせします。

UV ランプの照射時間を確認する

1

ローカルモードで、
ENTER キーを数回押す

<ローカル, 1>
ショウシャ ジ カン

0

- **END** キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

UV ランプの交換について


一定の照射時間を超えると、右のメッセージを表示します。
メッセージを表示したら、販売店または弊社営業所に交換
を依頼してください。

! UVランプ°
UVランプ° コウカン : ent

UV ランプの照射時間をリセットする




UV ランプを交換後、本装置で記憶している照射時間をリセットします。

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す


<ローカル, 1>

2

  を押して [タイマー
 ショキカ] を選び、
 キーを押す

UVランプ°
 タイマー ショキカ <ent>


3

 キーを押す

- [タイマーショキカ] を実行すると、UV
 光量履歴も初期化します。

UV タイマー ショキカ
 ショキカ シマスカ? :ent


4

 キーを押して、UV 光
 量を確認します

- 詳細は、以下のページをご覧ください。
 P.4-44 「UV ランプの照度を確認する」

! UVランプ°
 コウリョウ カクニン :ent

5

 キーを押して終了する

UVランプ°
 タイマー ショキカ <ent>

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

UV ランプの照度を確認する

UV ランプは消耗品です。照射時間が増すにつれ光量が低下し、インクが硬化しづらくなります。

累積照射時間が一定値を超えると、オペレーションパネルに照度の確認を促すメッセージが表示されます。

本書に沿って UV ランプの照度を確認し、UV ランプカセット交換の目安としてください。

! UVランプ
UVコウリョウ カクニン

照度確認の際の注意



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
- 肌を UV ランプの光から守るために、長袖を着用してください。

照度確認に必要な器具

OPT-J0288 照度測定キット (照度計あり) または UJF-605C 用ハンディタイプの照度計をお持ちの場合は OPT-J0289 照度測定キット (照度計無し) が必要です。

UV 照度を確認する

1

電源を ON にする (☞ P.2-4)

2

<ローカル> 表示のとき、
 (UV) キーを押す

<ローカル, 1>

3

(▲) (▼) を押して [コウリョ
 ウソクテイ] を選び、
 (ENTER) キーを押す

UVランプ
 コウリョウ ソクテイ <ent>

4

(ENTER) キーを押す

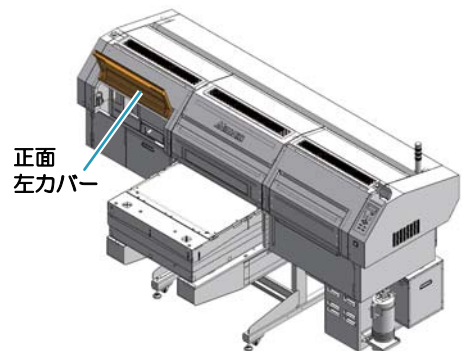
- キャリッジが、待機位置（左側）から
 右側へ自動的に移動します。

UVコウリョウ ソクテイ
 ヘッド イド ウ :ent

5

正面左カバーを開ける

ヒダ リカバ ー ラ
 アケテ クタ サイ



4

お
手
入
れ
の
し
か
た

6

照度計ブラケットを外し、裏面の角穴部にセンサ部分を挿入する



7

正面左カバーを閉める

ヒタ[®] リカバ[®] ー ラ
シメテ クタ[®] サイ

8

FUNCTION を押して UV 光量の強さを選び、**ENTER** キーを押す

- ・【FUNCTION】キーを押す度に、UV 光量の強さが切り替わります。(強い、標準、弱い)

UVコウリョウ ソクテイ: ツヨイ
ソクテイ カイシ : ent



UVコウリョウ ソクテイ: ヒョウジ[®] ユン
ソクテイ カイシ : ent



UVコウリョウ ソクテイ: ヨワイ
ソクテイ カイシ : ent

9

測定を開始する

** ソクテイ チュウ **
シバ ラク オマチクタ サイ



- ・照度確認中の照度計ブラケットは、UV ランプの熱で熱くなっていますので、触らないでください。火傷をする恐れがあります。

10

測定結果を表示する

UVコウリョウ ソクテイ
ツヨイ : **** mW

11

ENTER キーを押して、測定した UV 光量を記録する

** コウリョウ キロク **
ツヨイ : **** mW

12

▶ を押して測定を終了する

- ・**◀** を押すと手順 9 に戻り再度測定を行います。
- ・再度測定を行う場合、時間をおいてから行ってください。UV ランプの熱により、正しい測定値が得られません。

UVコウリョウ ソクテイ
ソクテイ < > シュウリョウ

4

お手入れのしかた

13

右のメッセージを表示したら、
正面左カバーを開ける

ヒタ[®] リカバ[®] ー ヲ
アケテクダ[®] サイ

14

照度計ブラケットが冷えるまで
待つ

UVコウリョウ ソクテイ
レイキヤク マチ 01:30

- ・ 冷却完了までの時間を表示します。
- ・ カウントダウン終了後、次の画面に変わります。



- ・ 照度確認直後の照度計ブラケットは、UV ランプの熱で熱くなっており、触ると火傷をする恐れがあります。時間をおいて、照度計ブラケットが充分冷えてから取り外してください。

15

ブラケットからセンサー部をは
ずして元に戻し、**ENTER** キー
を押す

UVコウリョウ ソクテイ
センサー ヲ ハス[®] ス :ent

- (1) ブラケットの裏面からセンサを外し、ケーブルクランプに挟んで固定します。
- (2) 照度計ブラケットを元に戻します。
- (3) **ENTER** を押します。

16

正面左カバーを閉める

ヒタ[®] リカバ[®] ー ヲ
シメテクダ[®] サイ

測定値の目安

出荷時のランプ照度と、累積照射時間が 1000 時間を経過した後の理論値照度は、マシン内側のラベルに記載されています。

- 累積照射時間 1000 時間で、照度は約 30% 低下します。
- 1000 時間経過後でも、急激に照度が落ちることはありません。
- 累積照射時間が 1000 時間以内にもかかわらず、著しく照度が低下している場合は、UV ランプユニットの故障が考えられます。お近くの販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 照度が低下している場合でも、UV 光量の設定を変更すれば、十分にインクが硬化する場合があります。「UV 光量を変更する」(P.3-18) を参照してください。

イオナイザの清掃

システムの性能維持及び、除電電極の寿命に悪影響を与えない為に、定期的にクリーニングをしてください。

全てのコロナ放電式除電装置には、時間の経過に伴って堆積物が発生します。これらの堆積物は除電電極周囲の電界と温度、水蒸気等が影響しており、メンテナンスの周期は使用される環境によって異なります。



- 除電電極は針状でその先端は、良好な除電性能を維持するために鋭利に尖らせた形状をしています。そのため、容易に肌などに突き刺さりますので、取り扱いには十分お気をつけください。
- 清掃作業時は、ゴーグルとビニール手袋を着用してください。



作業に必要なもの

• 手袋

• ゴーグル

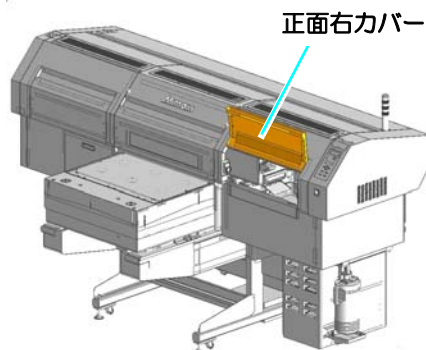
• クリーナー

1

主電源を OFF にする

2

正面右カバーを開ける



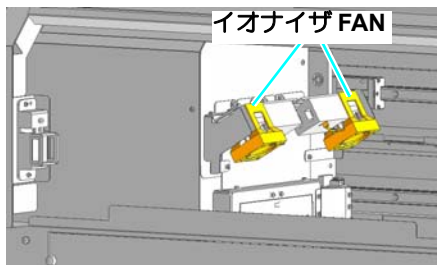
3

キャリッジを、手動でワイパー側へ移動させる

4

イオナイザ FAN を取り外す

- コネクタをイオナイザから抜き、イオナイザ FAN を取り外してください。



5

クリーナーで、電極針とその回りを清掃する

- 両端を持って、内部のガラスを割ります。
- 清掃時、電極針の先端を曲げたり、折ったりしないように注意してください。



- クリーナーは 20 個単位で購入できます。(電極針クリーナー：SPC-0611)
- 電極針は、劣化してくると除電性能が低下します。先端の磨耗や折れ、曲がり等が発生したら、新品に交換をお勧めします。
- 電極針は 4 本単位で購入できます。
(交換用電極針：SPC-0612)

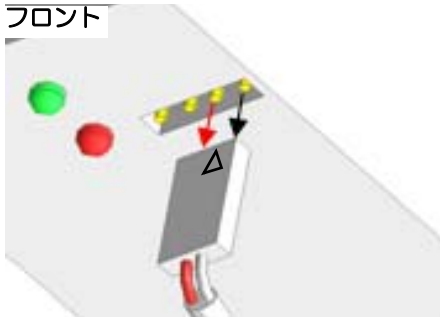
6

イオナイザ FAN を取り付ける

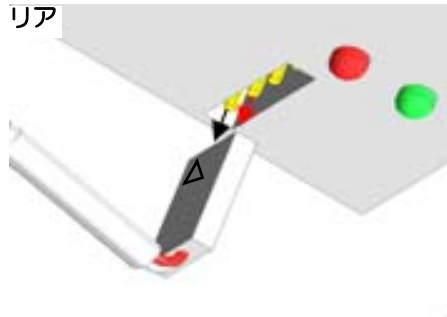
重要!

- 取り付けの際は、コードを挿す位置を間違えないように注意してください。
- コネクタに△マークがある方をイオナイザの外側に向け、挿入してください。

フロント



リア



7

正面右カバーを閉める

4

特色インクのノズル詰まりを防止する

本装置は、ヘッドのノズル詰まりが発生しないように電源オンの状態でリフレッシュを行っていますが、白インクは他の色のインクと特性が異なるため、通常のリフレッシュでもノズル抜けが発生する場合があります。

白インクが充填されているヘッドのリフレッシュ動作を白インクに適したリフレッシュ動作に変更することで、ノズル抜けを防ぎます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル>

2

▲▼を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して [トクショク
クリフレッシュ] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
トクショク リフレッシュ

<ent>

4

ヘッドごとに特色リフレッシュ設定にする / しないを選び、**ENTER** キーを押す

トクショク リフレッシュ
カラー : -----WW--

- (1) **◀▶**を押してヘッドを選ぶ
- (2) **▲▼**を押して、特色リフレッシュ設定にする / しないを選ぶ

5

END キーを押して終了する

第5章

困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラーの解消方法などを説明します。

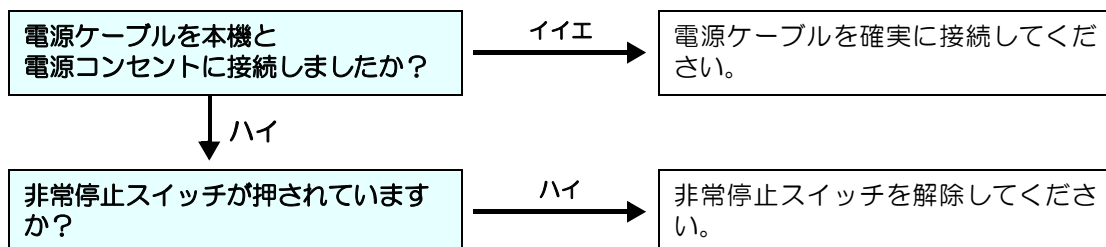
故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図ができない	5-2
ディスプレイにメッセージが表示される	5-2
作図結果に問題があるときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-7

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

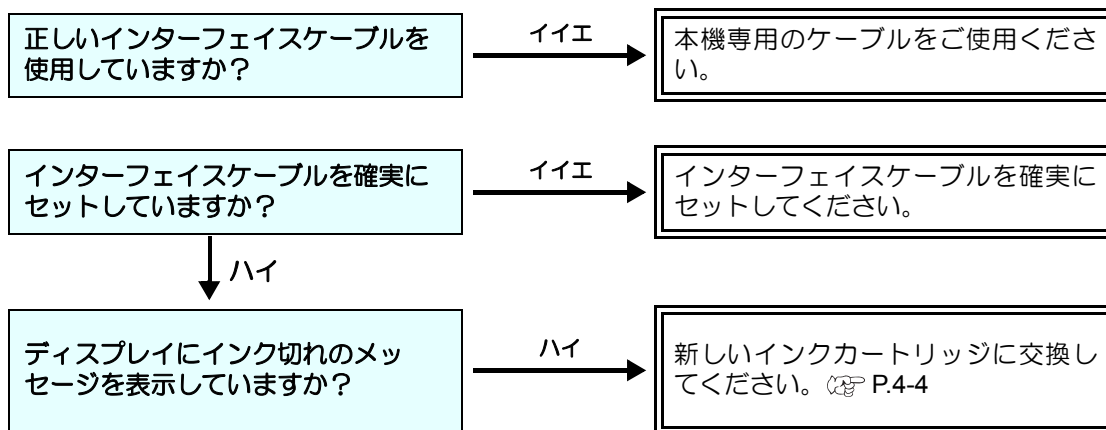
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。正しく接続されているか、もう一度確認してください。



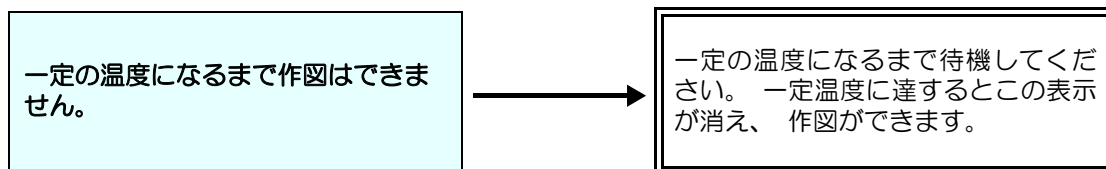
作図ができない

作図ができない場合は、データが正しく本機に送られていない可能性があります。



ディスプレイにメッセージが表示される

ディスプレイに「オンスイジューンビ」と表示された場合は、温水ユニット内の水が一定の温度に達していません。また「UV ジュンビチュウ」と表示された場合は、UV ランプの準備が完了していないため、UV ランプが使用できず、作図することはできません。



作図結果に問題があるときは

作図結果に問題があるときは、症状により下記のように対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現 象	対処方法
スジ / かすれが発生する	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-15 (2) ヘッドが通過する部分にゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
作図中のメディア上に大きなインク滴が落ちる	(1) ヘッドクリーニングを実行してください。☞ P.2-15 (2) メディア表面のホコリを取り除いてください。 (3) プラテン表面に付着しているホコリをクリーニングしてください。 (4) キャリッジ下面のクリーニングをしてください。 ☞ P.4-10
作図中にメディアが浮き上がり、作図が中断する	(1) 新しいメディアをセットし直して、作図を開始してください。
インクが固まらなくなった	(1) ヘッドギャップが広すぎないか確認してください。 ☞ P.3-15 (2) UV ランプの光量を確認してください。☞ P.4-44 (3) 光量の設定を確認してください。☞ P.3-18

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-15 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 3 つの項目を確認してください。

- P.2-15 を参照し、クリーニング (ハード) を行ってください。
- P.4-26 を参照し、サブタンクメンテナンスを行ってください。
- P.4-4 を参照し、インクの交換をしてください。








メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、表示灯の赤色が点灯してブザーが鳴り、ディスプレイにメッセージを表示します。

下の表に従って対処してください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	対処方法
＜ローカル、1＞ インク ミジ ユウデン MMCCYYKKWWSS	・インクを充填してください。
＜ローカル、1＞ インク ニアエント* MMCCYYKKWWSS	・早めに、表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(P.4-4)
＜ローカル、1＞ インクエント* MMCCYYKKWWSS	・表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(P.4-4)
＜ローカル、1＞ カートリッジ ナシ MMCCYYKKWWSS	・表示しているヘッドのインクカートリッジを取り付けてください。(P.4-4)
＜ローカル、1＞ インクIC イジ ヨウ MMCCYYKKWWSS	・表示しているヘッドのインクカートリッジを再挿入してください。それでも表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
＜ローカル、1＞ インク シュルイ MMCCYYKKWWSS	・装填したインクカートリッジの種類が合っているかを確認してください。
＜ローカル、1＞ インクカラー MMCCYYKKWWSS	・表示している色と、装填したインクカートリッジの色が合っているかを確認してください。
＜ローカル、1＞ カートリッジ イジ ヨウ MMCCYYKKWWSS	・表示しているインクカートリッジを確認後、再挿入してください。(ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)
＜ローカル、1＞ インクキゲ* ン MMCCYYKKWWSS	・表示しているインクカートリッジを、早めに交換してください。(ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)
＜ローカル、1＞ インクキゲ* ン(IM) MMCCYYKKWWSS	・インクカートリッジの有効期限が切れています。(期限切れから1ヶ月経過) 表示しているインクカートリッジを、早めに交換してください。(ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)
＜ローカル、1＞ インク キゲ* ンギ* レ MMCCYYKKWWSS	・インクカートリッジの有効期限が切れています。 表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(P.4-4)
＜ローカル、1＞ ヒジ ユンセイ インク MMCCYYKKWWSS	・ミマキ純正のインクカートリッジをお使いください。
！インク ギ ヤクリュウ MMCCYYKKWWSS	・防止処理が終わり、"ERROR 149" が表示されるまでお待ちください。

メッセージ	対処方法
カートリッジ ソウパ ツ	・カートリッジの挿入状態を確認してください。
!メデ ィア タカイ テーブル ロ サグ テクタ サイ	・障害物を検出しました。テーブル上の障害物を取り除くか、  キーを押してテーブルを降下してください。
<ローカル、1> ミサクス デ ータ アリ	・受信済みデータをすべて作図 ( P.2-19) するか、データクリア ( P.3-33) をしてから、設定変更をしてください。
バ ッテリ コウカン	・販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ミス プ ソク	・温水タンクの水量を確認し、必要に応じて補充してください。 ( P.4-33)
ヘッド センタク ナシ	・ヘッドが未選択です。 クリーニングまたは充填をするヘッドを選択してください。
!ショウメンカバ ー OPEN	・正面カバーを閉じてください。
HD DATA SEQ	・販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
!サクス エラー ケンシュツ <ENT>ラ オンテクタ サイ	・作図中にエラーが発生しました。  キーを押すとローカルモードに戻ります。再度印刷を行ってください。
サクス ハンイカ イ XY	・作図範囲内にデータを配置してください。
サクス ハンイカ イ X	
サクス ハンイカ イ Y	
!ワイパ セイソウ シテクタ サイ	・ワイパの清掃を実施してください。( P.4-29)
ワイパ タンク フル	・ワイパタンクがいっぱいになりました。ワイパタンク内のインクを処分してください。( P.4-15)
<ローカル、1> !センジ ョウ カートリッジ ナシ	・洗浄液カートリッジを取り付けてください。
<ローカル、1> !センジ ョウ エキ エント	・洗浄液カートリッジを交換してください。
<ローカル、1> !センジ ョウ カートリッジ イジ ョウ	・洗浄液カートリッジを再挿入してください。

メッセージ	対処方法
!ハイインク タンク	<ul style="list-style-type: none"> • 廃インクタンクがいっぱいになりそうです。廃インクタンク内のインクを処分してください。(☞ P.4-13)
!ハイインク タンク フル	<ul style="list-style-type: none"> • 廃インクタンクがいっぱいになりました。廃インクタンク内のインクを処分してください。(☞ P.4-13)
メンテナンス ワーニング UVランプ フィルター セイソウ	<ul style="list-style-type: none"> • UV ランプフィルタを清掃してください。(☞ P.4-34)
メンテナンス ワーニング カートリッジ ヲ フル	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジを振って、インクのかくはんを行ってください。(☞ P.4-24) (SPC-0516 インクカートリッジ使用時)
メンテナンス ワーニング W インク ケイロ ハイシュツ	<ul style="list-style-type: none"> • ホワイトメンテナンスを実行してください。(☞ P.4-23) (SPC-0516 インクカートリッジ使用時)




エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って対処してください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

メッセージ	対処方法
ERROR 03 POWER OFF	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 03 +35V RECVER	
ERROR 03 SCAN メイン キバ`ン ヒューズ`	
ERROR 03 PCB MAIN-F1	
ERROR 03 PCB MAIN-F2	
ERROR 03 PCB MAIN-F3	
ERROR 03 PCB MAIN-F4	
ERROR 03 PCB SLRLY-F1	
ERROR 03 PCB SLRLY-F2	
ERROR 03 PCB SLRLY2-F1	
ERROR 03 PCB SLRLY2-F2	
ERROR 03 PCB STATION-F1	
ERROR 03 PCB STATION-F2	
ERROR 03 PCB STATION-F3	

メッセージ	対処方法
ERROR 03 PCB FEED IF-F1	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 03 PCB FEED IF-F2	
ERROR 03 PCB FEED IF-F3	
ERROR 03 PCB FEED IF-F4	
ERROR 03 PCB SLDJ F1	
ERROR 03 PCB SLDJ F2	
ERROR 03 PCB SLDJ F3	
ERROR 03 PCB FPC L	
ERROR 03 PCB FPC H	
ERROR 04 EEPROM READ	
ERROR 04 EEPROM WR	
ERROR 04 PARAM ROM	
ERROR 04 PARAM EPRM	
ERROR 04 PARAM FROM	
ERROR 05 FWC INIT	

メッセージ	対処方法
ERROR 05 STC INIT	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 05 HPC1 INIT	
ERROR 05 HPC2 INIT	
ERROR 05 HDC INIT	
ERROR 07 HD CONNECT[FFF]	
ERROR 07 HD THERMIS[FFF]	
ERROR 07 HEAD TIMING	
ERROR 07 P-HEAD INIT[FFF]	
ERROR 08 L-SCALE BLACK	
ERROR 09 HDC POSCNT	
ERROR 09 HDC FIFO OVER	
ERROR 09 HDC FIFO UNDER	<ul style="list-style-type: none"> インターフェイスクーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスクーブルをお使いください。
ERROR 09 HDC SPEED	
ERROR 10 コマンド* エラー	
ERROR 11 パ ^ラ メータ エラー	<ul style="list-style-type: none"> RIP の設定を確認してください。
ERROR 12 メンテコマンド*	
ERROR 16 MRLコマンド*	

メッセージ	対処方法
ERROR 25 USB INIT ERR	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 25 USB TIME OUT	
ERROR 30 オペレーション エラー	<ul style="list-style-type: none"> 正しいオペレーションをしてください。
ERROR 34 ミサクス データ アリ	<ul style="list-style-type: none"> 受信済みデータをすべて作図（ P.2-19）するか、データクリア（ P.3-33）をしてから、設定変更をしてください。
ERROR 36 ハット ギャップ	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を取り除いて、ギャップチェックを実施してください。（ P.3-5）
ERROR 40 モーターアラーム X	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 41 モーターアラーム Y	
ERROR 42 X オーバーカレント	
ERROR 43 Y オーバーカレント	
ERROR 50 X ゲンデン ケンシュツ	
ERROR 51 Y ゲンデン ケンシュツ	
ERROR 53 WIPER ORG	
ERROR 53 WP UNIT ORG	
ERROR 54 メディア ジェム	
ERROR 71 オンスイ タンク サーミスタ	
ERROR 71 オンスイ ヒーター サーミスタ	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 71 オンスイ ヒーターオンド	

メッセージ	対処方法
ERROR 72 オンスイ ケイロ イジ ヨウ	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 73 オンスイ ヘッド* オント*	
ERROR 73 SCAN ヘッド* オント*	
ERROR 73 HEAD TEMP [FFF]	
ERROR 74 UV デ ンゲ ン OFF	<ul style="list-style-type: none"> UV 電源のスイッチが ON になっているか確認してください。
ERROR 74 UV デ ンゲ ン イジ ヨウ	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 75 UV ランプ* イジ ヨウ	
ERROR 75 UV シャッター イジ ヨウ	
ERROR 90 FROM CLEAR	
ERROR 92 FROM WRITE	
ERROR 96 CHECK:SDRAM	
ERROR 148 インク ケイロ:MMCCYYKKWWSS	
ERROR 148 FLOAT :MMCCYYKKWWSS	
ERROR 148 TNK RMN:MMCCYYKKWWSS	<ul style="list-style-type: none"> サブタンクメンテナンスを実行し、エラーを解除してください。
ERROR 149 INK UPSTREAM GRD	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 150 ファツセンサー イジ ヨウ	

メッセージ	対処方法
ERROR 151 ファツ イジ オーバ ー	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 150 セイアツセンサー イジ ヨウ	
ERROR 151 ファツ セイギ ヨ	
ERROR 151 セイアツ セイギ ヨ	
ERROR 151 ファツ イジ フソク	
ERROR 151 セイアツ イジ フソク	
ERROR 151 セイアツ イジ オーバ ー	
ERROR 200 HEAD ROM WR	
ERROR 202 MAIN CN6,9 CHK	
ERROR 202 MAIN CN5 CHK	
ERROR 202 PCB FEED IF	
ERROR 202 PCB STC	
ERROR 202 PCB CARTRIG	
ERROR 202 PCB PUMP	
ERROR 202 PCB KEY	
ERROR 202 PCB SLRY1	

メッセージ	対処方法
ERROR 202 PCB SLRY2	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 202 FLT CONNECT[FFF]	
ERROR 202 PCB EXIO1	
ERROR 202 PCB EXIO2	
ERROR 202 PCB SLIDER	
ERROR 202 PCB EXPAPER	
ERROR 203 PARAM NONE	
ERROR 203 PARAM DATA	
ERROR 203 PARAM DATA ADDR	
ERROR 206 LCD THERM.	
ERROR 206 PCB MAIN ET	
ERROR 206 PCB MAIN SC	
ERROR 206 DS-IC BUSY	
ERROR 206 IOC1/ADC	
ERROR 206 IOC2/ADC	
ERROR 206 HDC/ADC	

メッセージ	対処方法
ERROR 251 (C) OPCODE	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 251 (C) SLOT	
ERROR 251 (C) CPU ADDR	
ERROR 251 (C) DMA ADDR	
ERROR 251 (C) ZERO DIV	
ERROR 255 FW/SIO bit	
ERROR 255 FW/SIO wbsy	
ERROR 255 FW/STP-MTR	
ERROR 255 FW/XY param	
ERROR 255 FW/Y RANGE	
ERROR 255 FW/ctrltsk	
ERROR 255 FW/PUMP W	
ERROR 255 FW/PSERVO IT	
ERROR 255 FW/FROM prm	
ERROR 255 FW/SIO vch	
ERROR 255 FW/KEY RDI	

メッセージ	対処方法
ERROR 255 FW/SIO read	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 255 FW/CRTRG NO	
ERROR 255 FW/WIPER RN	
ERROR 255 FW/driv infm	
ERROR 255 FW/SIO rsrc	
ERROR 255 FW/FROM WRC	
ERROR 255 FW/SaveArea	
ERROR 255 FW/EEP SIZE	
ERROR 255 FW/HROM SIZ	
ERROR 255 FW/STACK OV	
ERROR 255 FW/WATER Intv	

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載します。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
警告ラベルについて	6-4
お問い合わせシート	6-6
機能フローチャート	6-8

本体仕様

項 目		UJF-706
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	6 ヘッド (12 ノズル列)
作図分解能		600 dpi、1200 dpi
作図モード	4 色	600 x 600 dpi
	1200 x 1200 dpi	2 pass 単方向 / 4 pass / 8 pass 単方向 / 高速印字
	8 色	600 x 600 dpi
	1200 x 1200 dpi	4 pass 単方向 / 8 pass / 16 pass 単方向 / 高速印字
使用可能インク		専用 UV 硬化インク (弊社純正インク) Bk、C、M、Y、Lc、Lm、6 色 +W 白 合計 7 色、クリア
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり インクエンド検出機能あり
インク容量		440 cc (各色 1 本)
使用可能メディア	サイズ	710 x 605 mm 以内
	厚さ	0.2 ~ 150mm
最大作図範囲		幅 700 x 長さ 600 mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ±0.3% の大きい方
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ±0.1% の大きい方
直角度		± 0.5 mm/500mm
ヘッドギャップ調整		自動ヘッドギャップ調整可能。エリアセンサにより、メディア表面をセンサし、テーブル上下動作をする。
メディア吸着		吸着ファンによる吸着固定 **
UV 装置		UV 照射装置内蔵 UV 電源
廃インクタンク		ボトル式 (400 cc)
インターフェイス		USB2.0 準拠 (ケーブルはオプション)
コマンド		MRL-III
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		CE マーキング (低電圧指令、EMC 指令)、CB レポート、 米国安全規格 (UL60950-1)、VCCI classA、FCC classA、 RoHS 指令適合
インク安全性		MSDS
電源仕様		単相 AC200 ~ 240 V x2
消費電力		4.0 kVA 以下 (本体 :1kVA、UV 装置 :3kVA)
設置環境	使用可能温度	15 ~ 30 °C
	相対湿度	35 ~ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	18 ~ 25 °C
	温度勾配	± 10 °C /h 以下
	粉塵	一般事務所相当
重量	プリンタ本体	約 500 kg
	UV 電源	14kg
外形寸法		2500 (W) x 1750 (D) x 1550 (H) mm

** 強力吸着をするブロワはオプションです。

インク仕様

詳細は、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

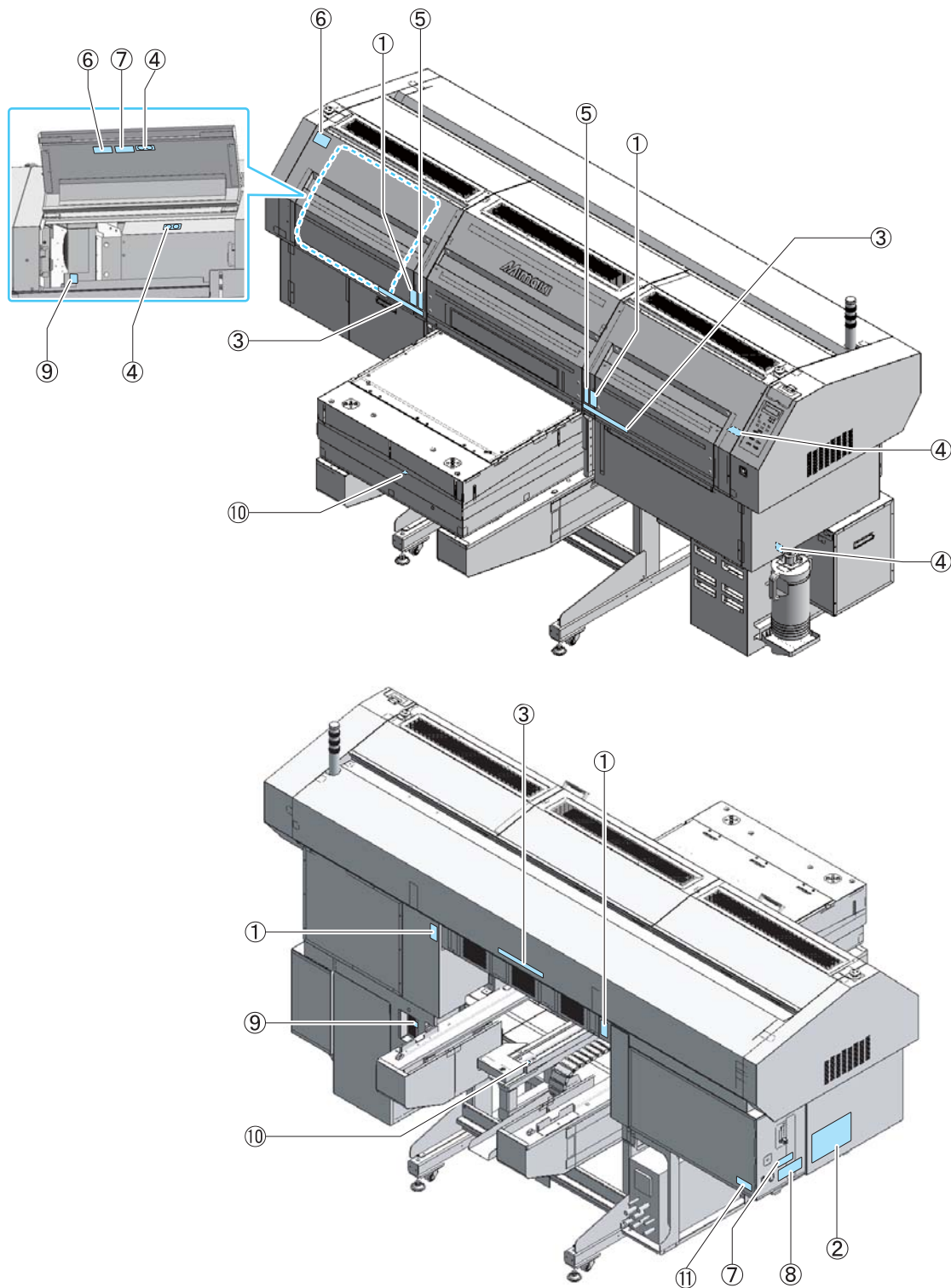
項 目		品 番 ・ 仕 様
形態		専用 UV インクカートリッジ
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト、クリア
インク容量		440CC
有効期間		製造日より 1 年間
保存温度	保存時	15℃～ 35℃
	輸送時	0℃～ 60℃ 2 週間以内



- ・ インクは、-4℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一、凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- ・ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。故障の原因になります。

警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



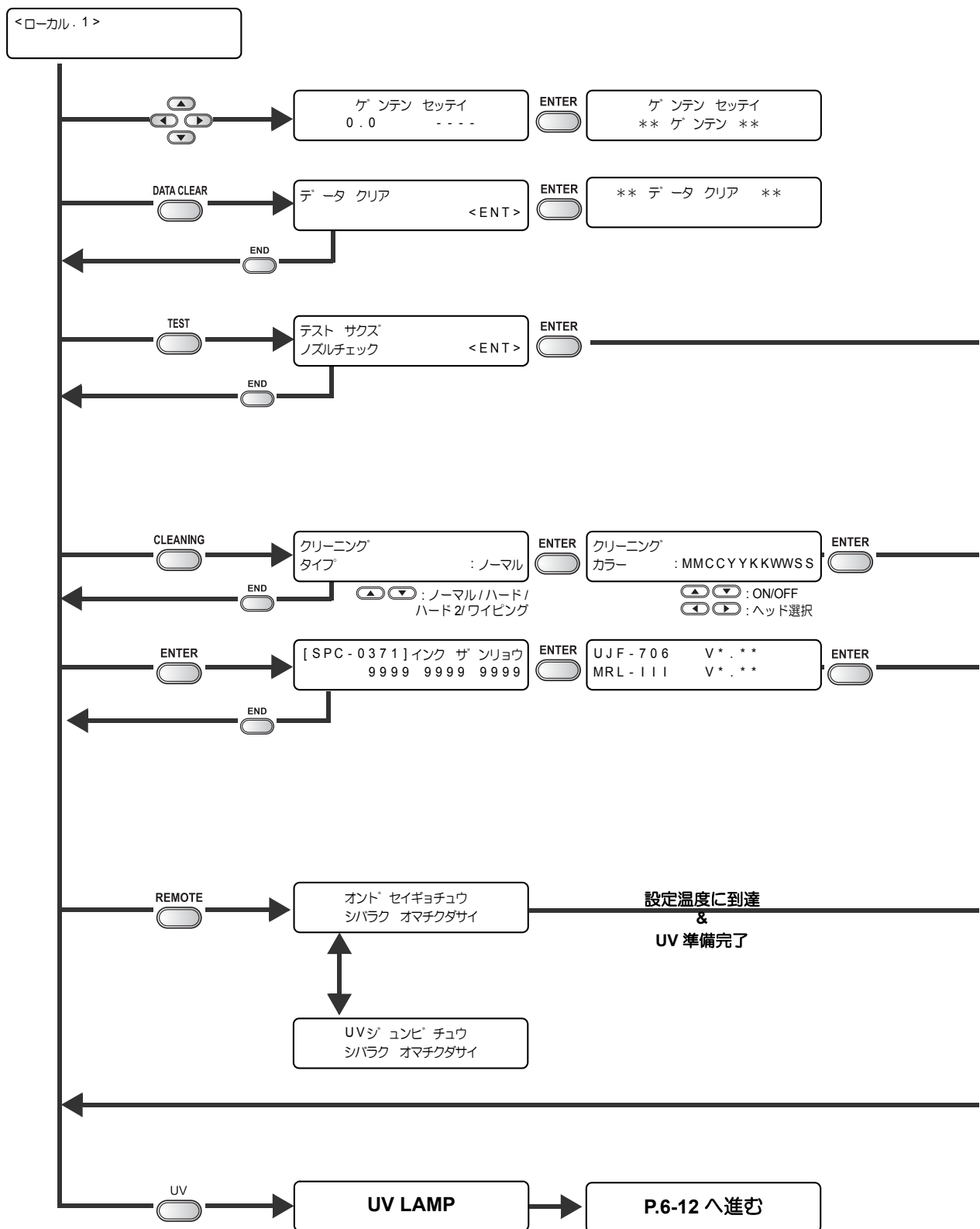
注文番号	ラベル	注文番号	ラベル
(1) M905980		(6) M907071	
		(7) M907072	
		(8) M905624	
(2) M907151		(9) M903239	
		(10) M904389	
(3) M906115		(11) M906031	
(4) M903330			
(5) M907073			

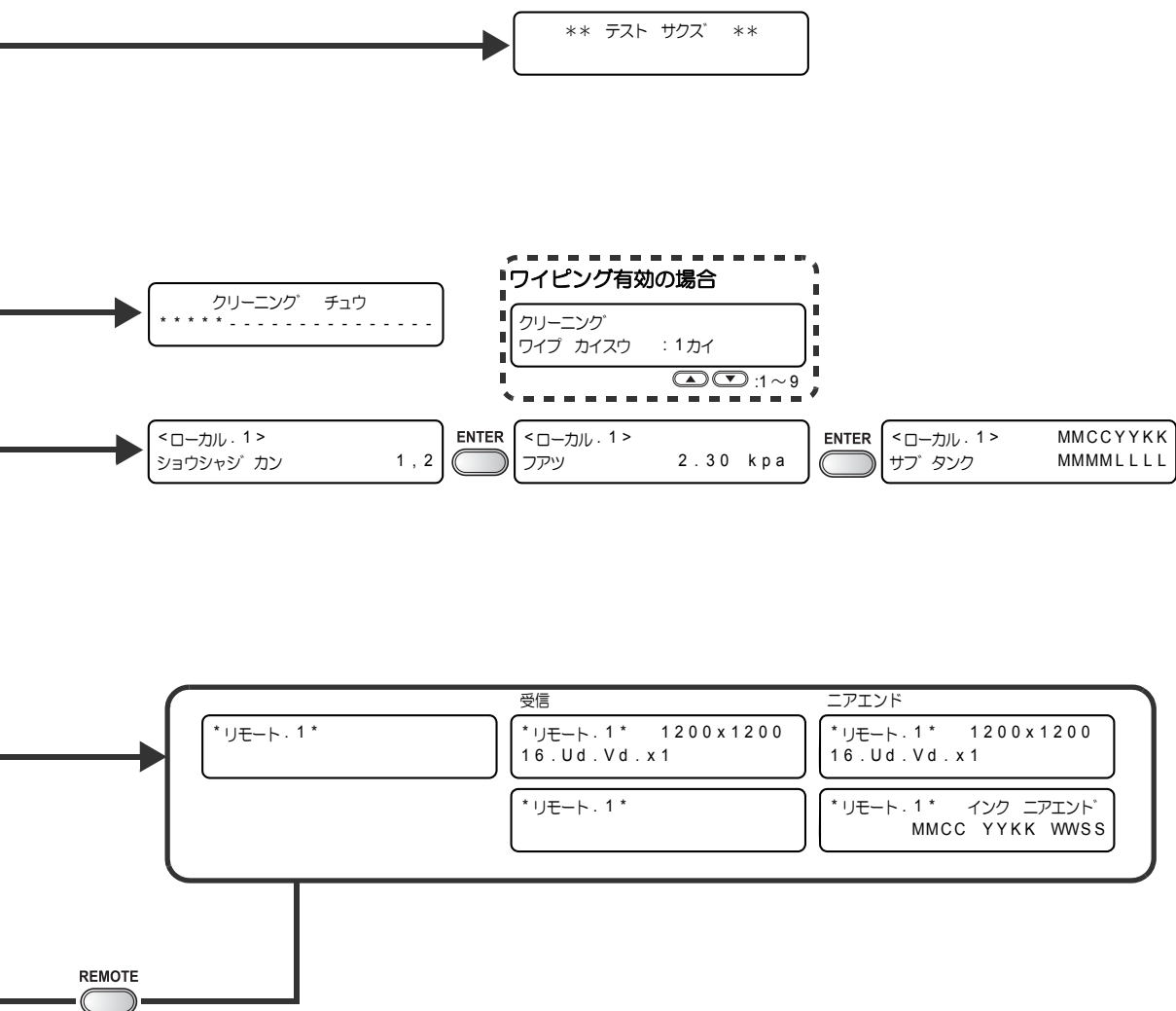
お問い合わせシート

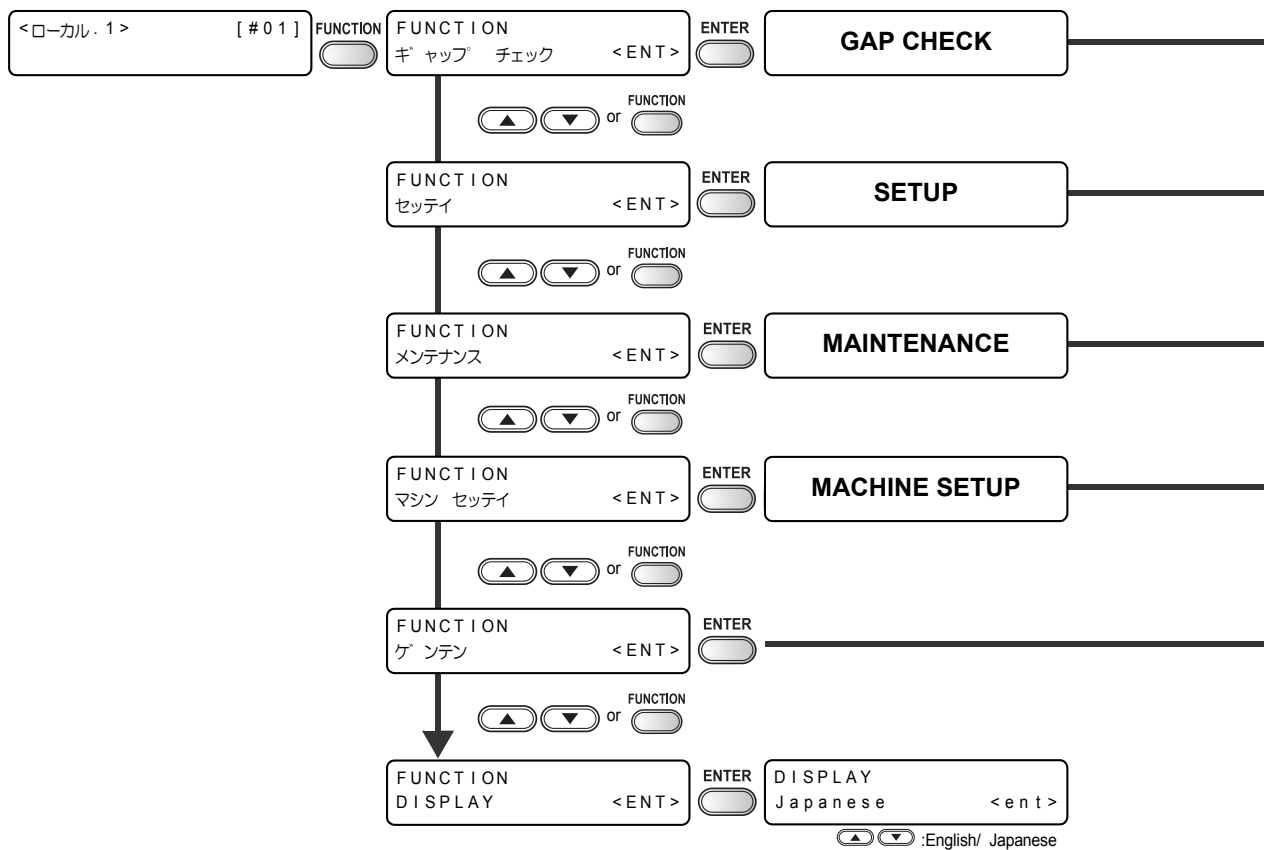
プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシン情報	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

機能フローチャート





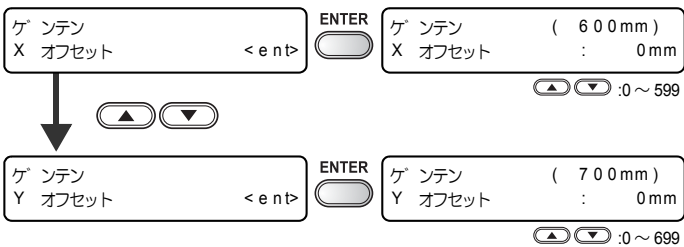


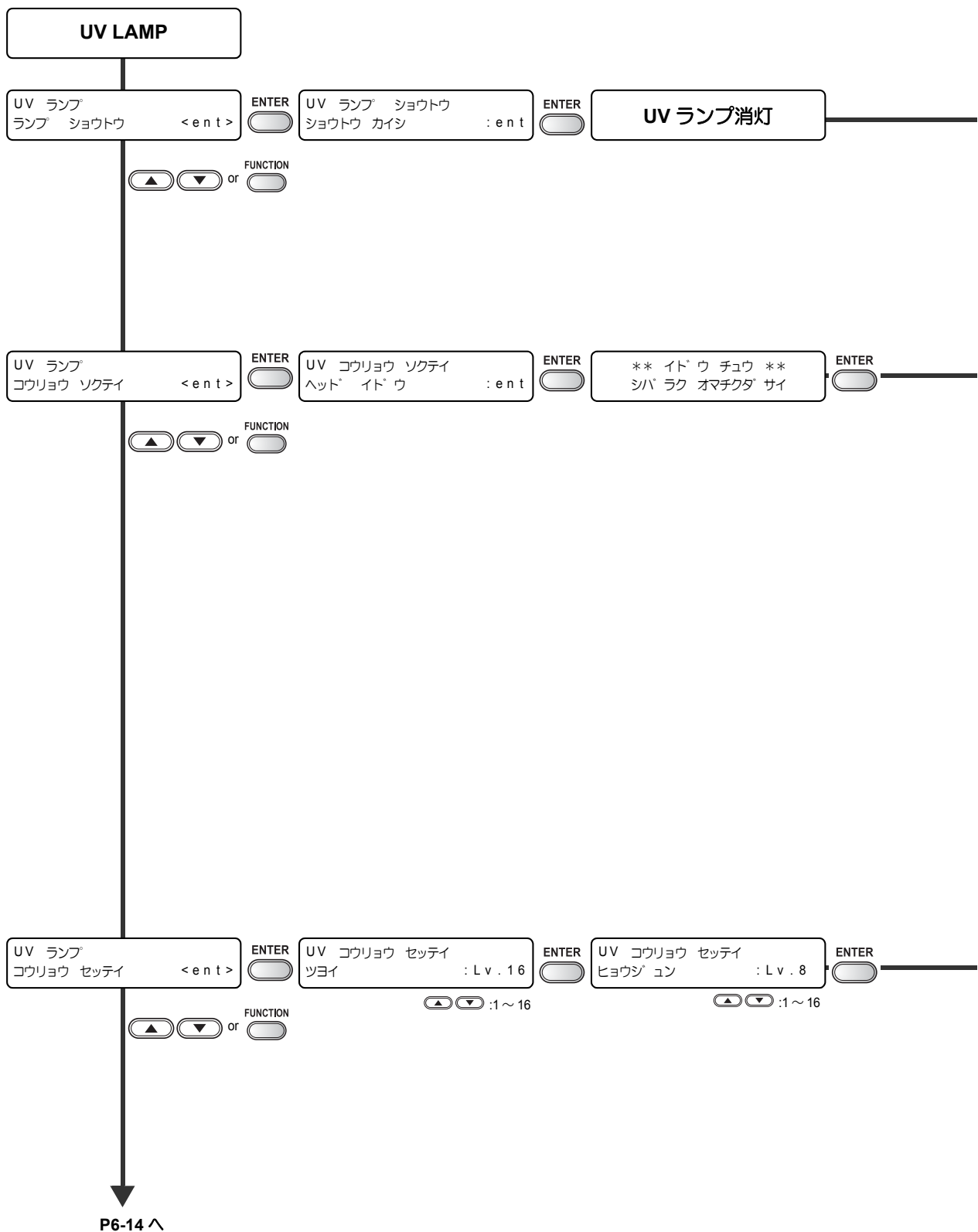
→ P.6-16 へ進む

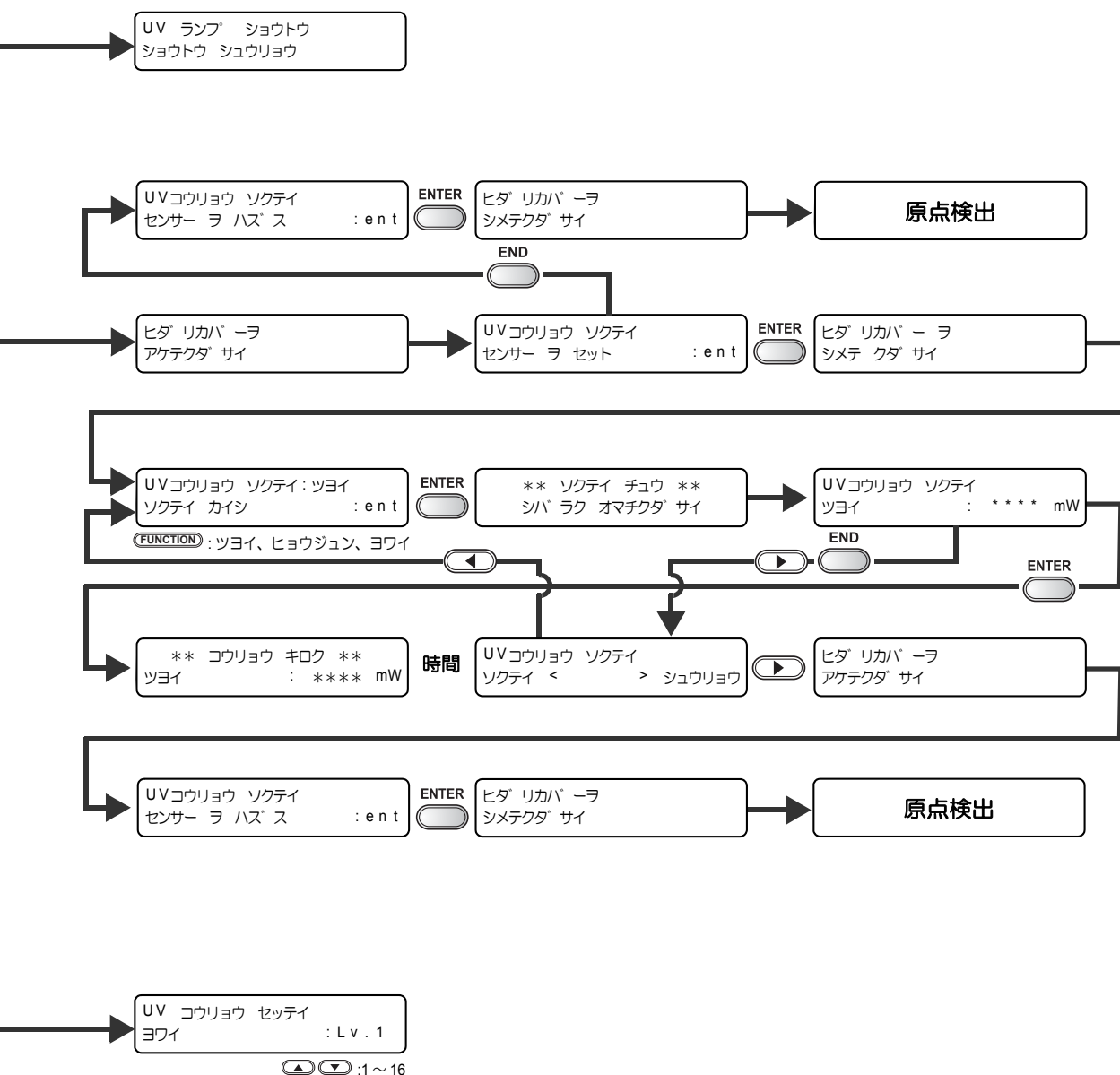
→ P.6-18 へ進む

→ P.6-22 へ進む

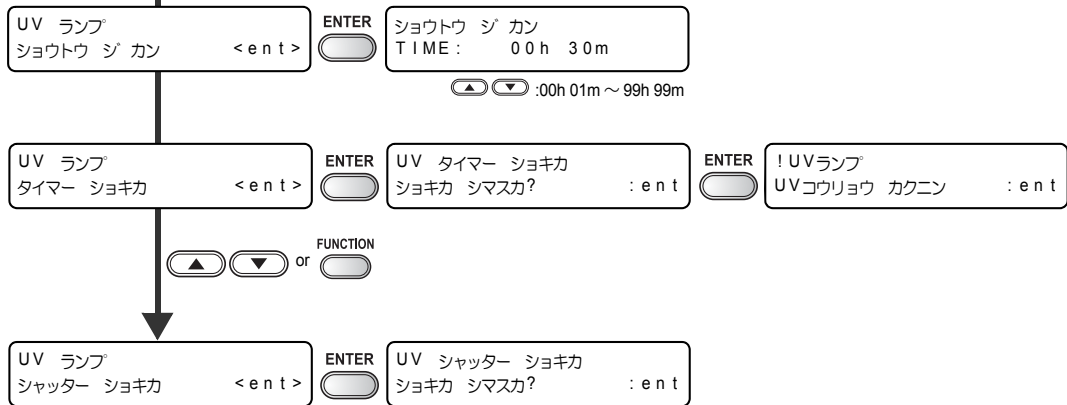
→ P.6-26 へ進む

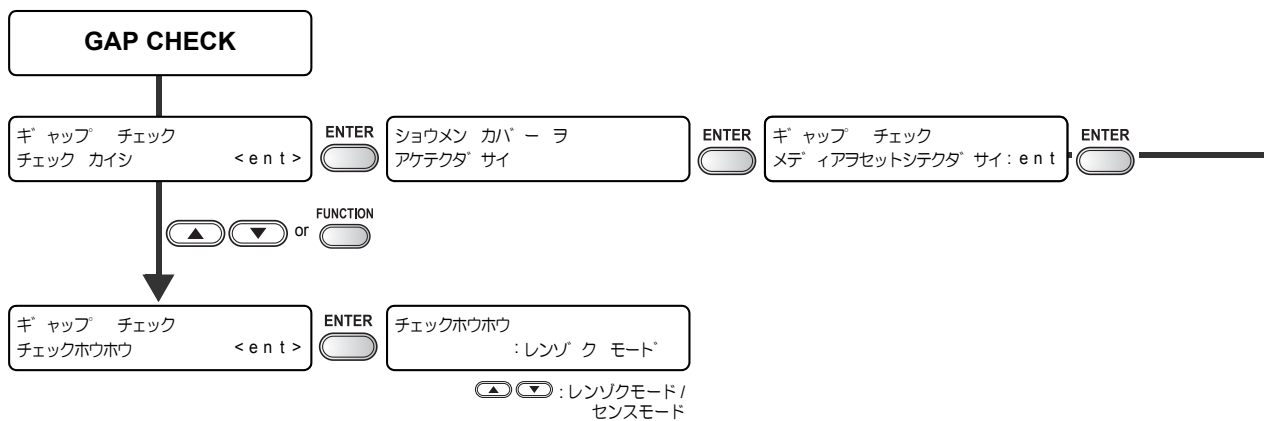


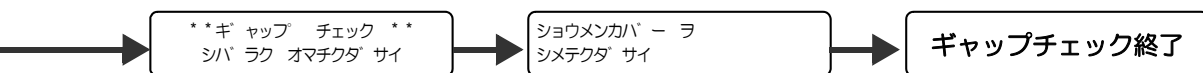


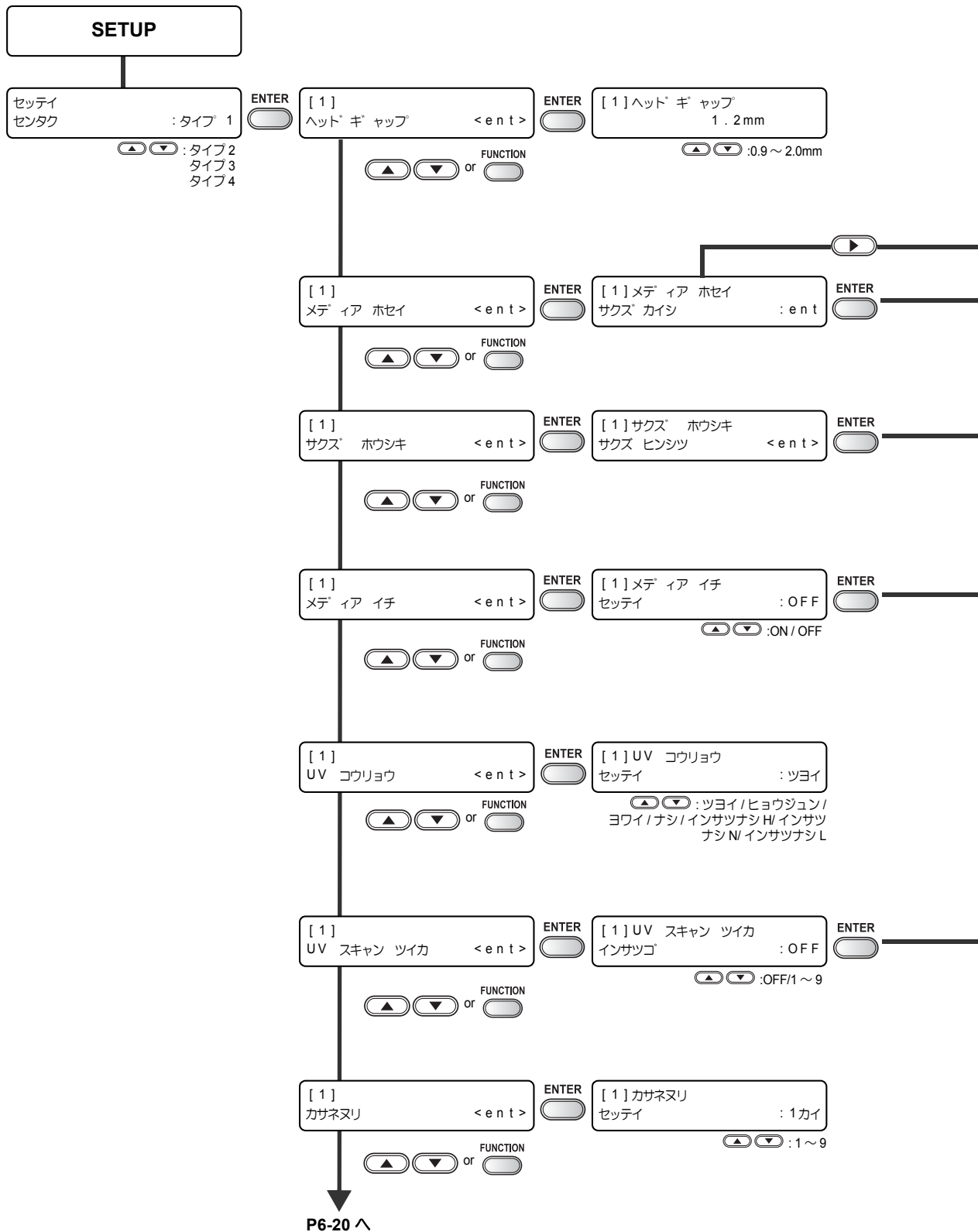


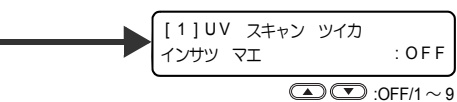
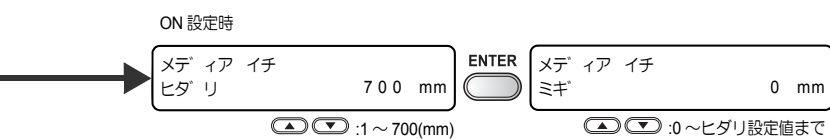
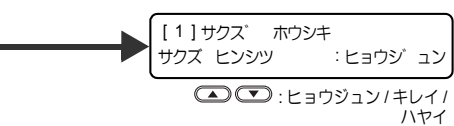
P6-12 から



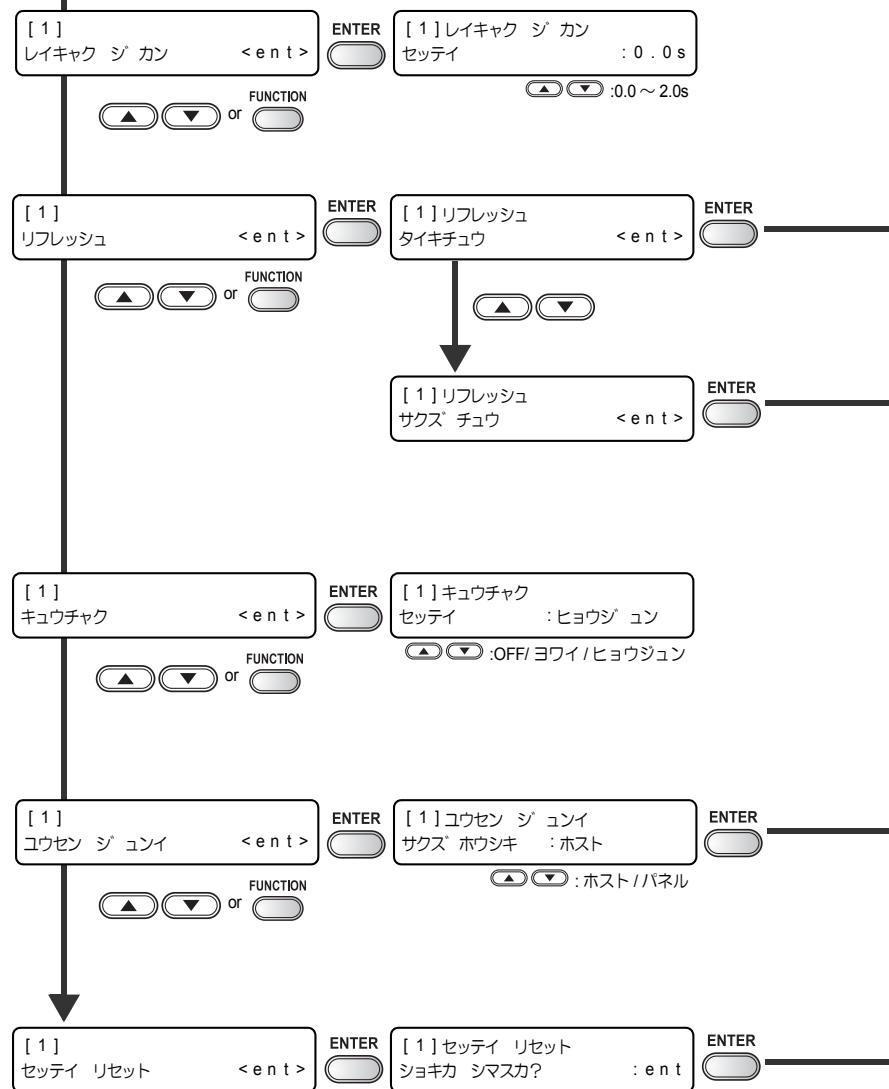


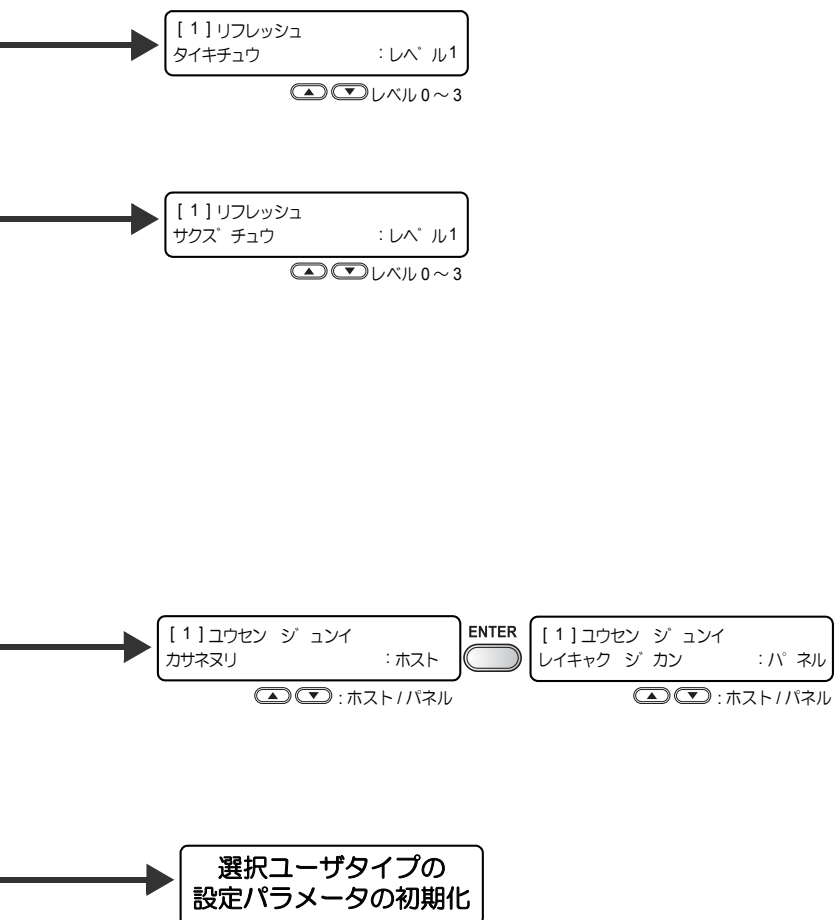


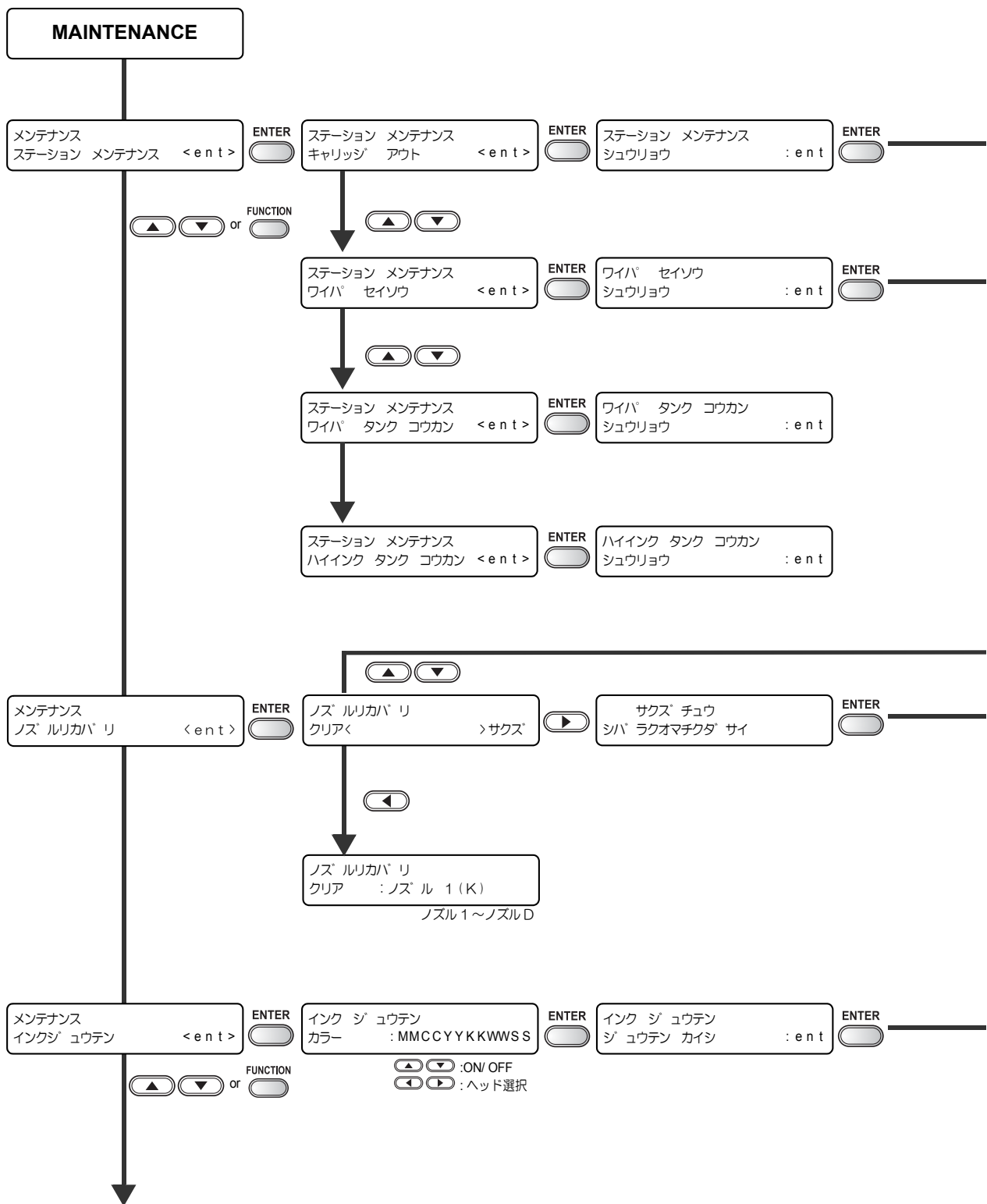




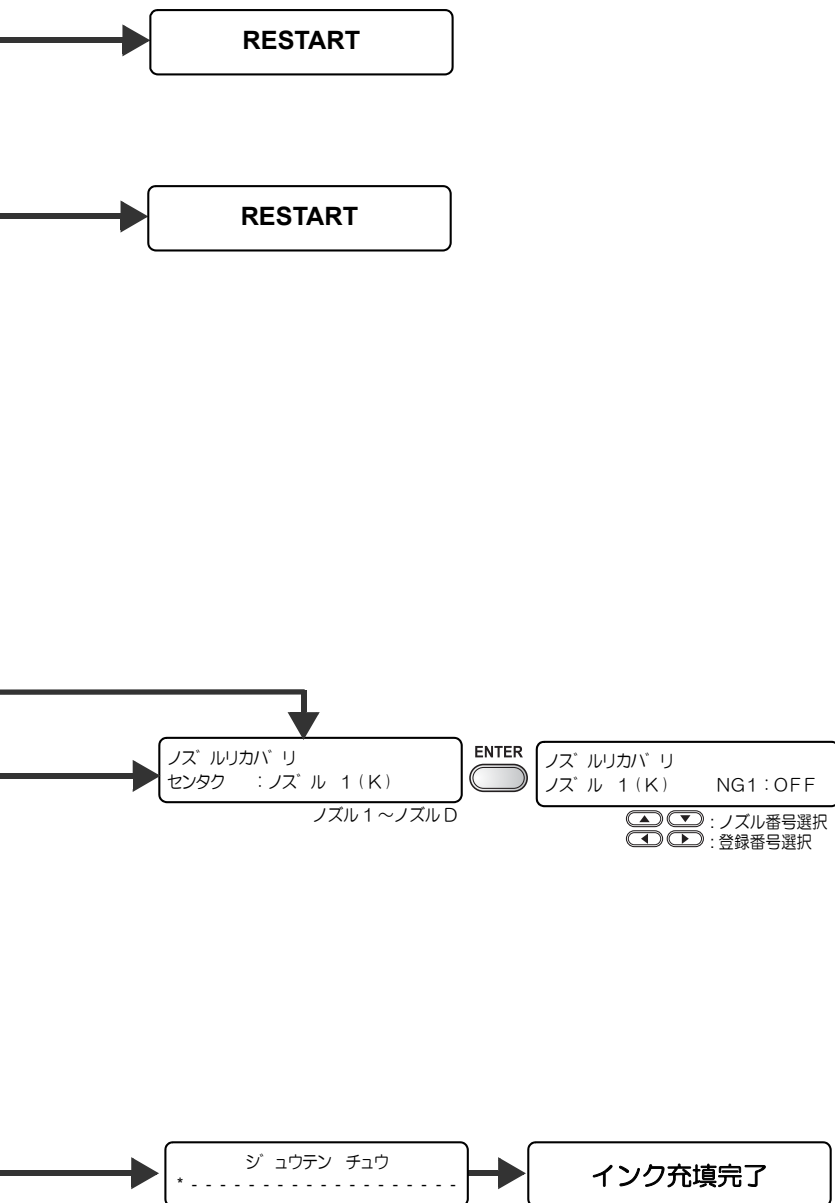
P6-18 から



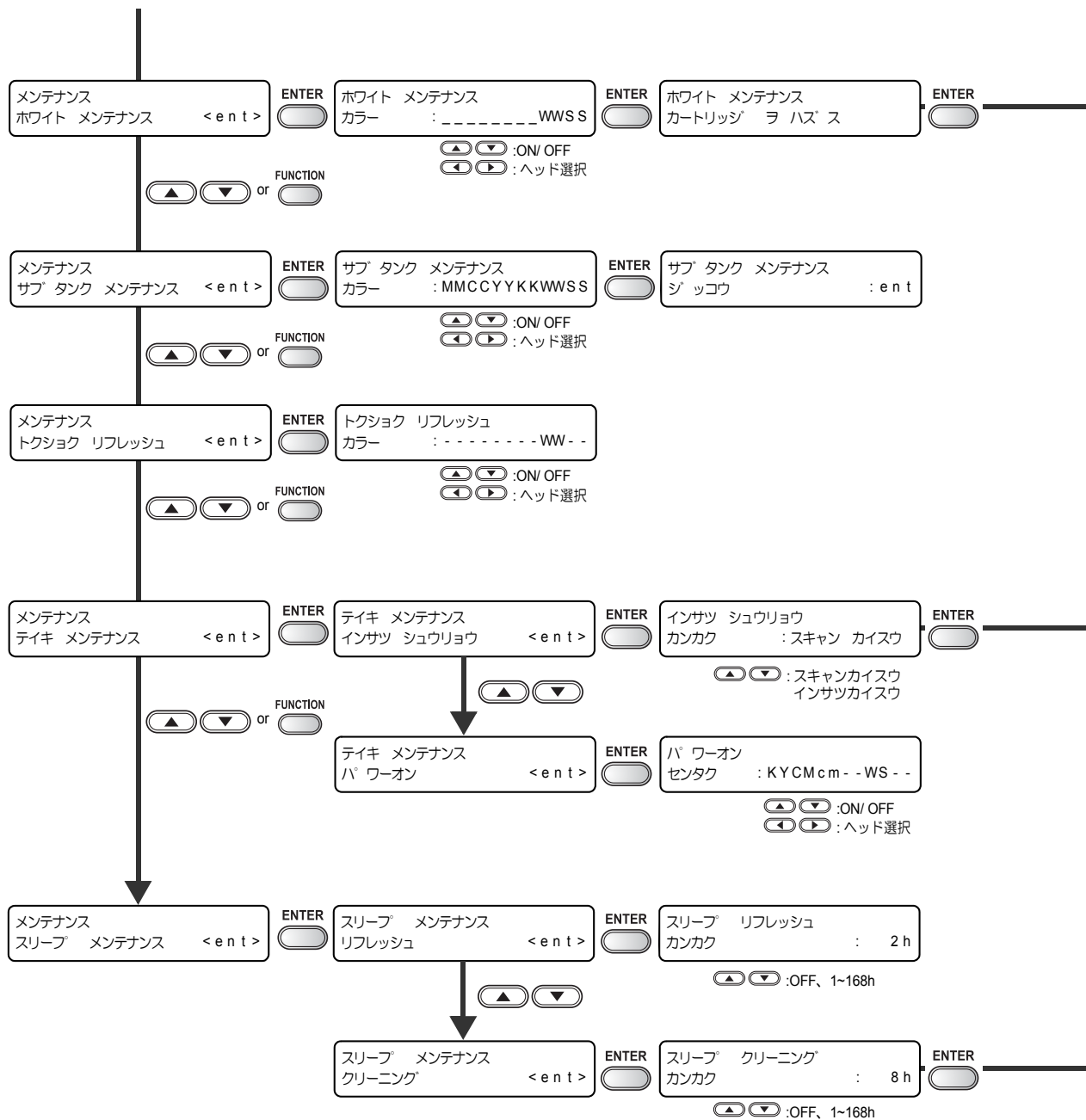


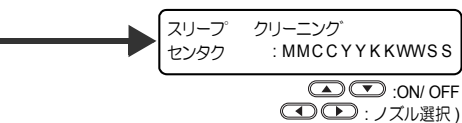
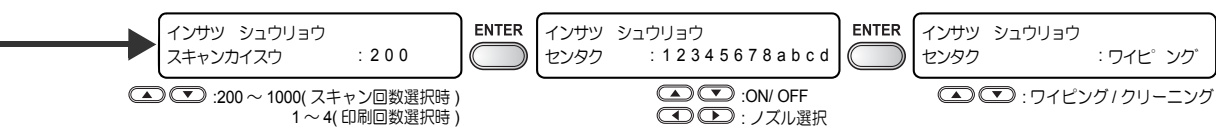
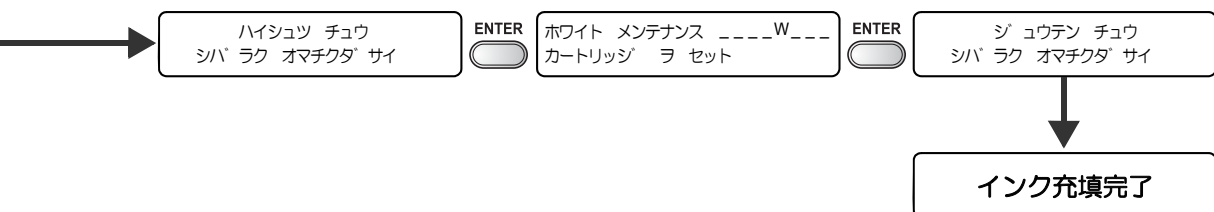


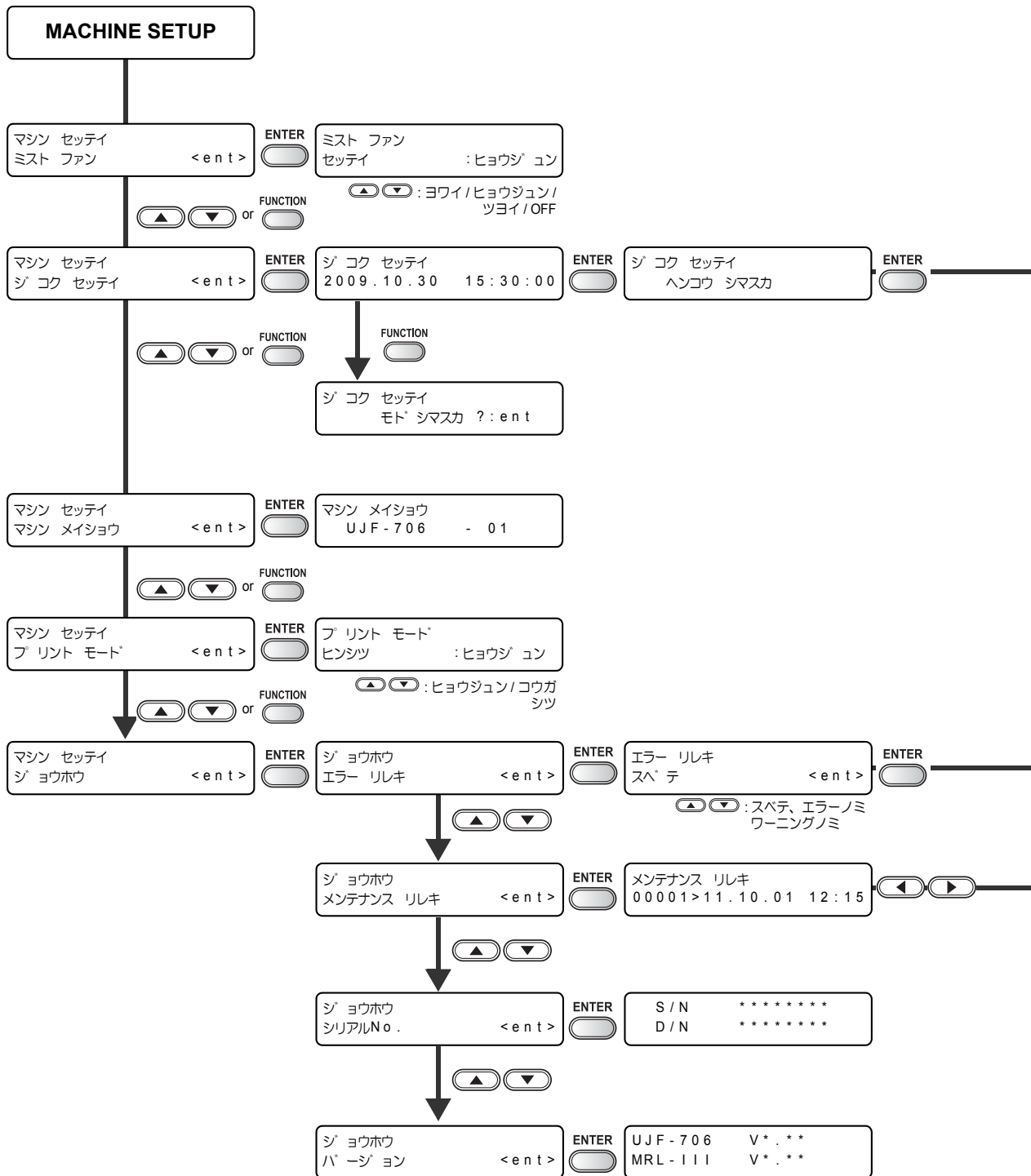
P6-24 へ



P6-22 から







時刻設定完了

エラー リレキ
00001>11.10.01 12:15

ERROR 41
モーターアラーム Y

キャリッジ アウト

索引

U

USB2.0	1-9
UV 光量	3-18
UV ジュンビチュウ	2-19
UV 照射器具	1-7
UV ランプフィルタ	4-34
UV ランプを交換する	4-42
UV コウリョウ	
インサツナシ H	3-18
インサツナシ L	3-18
インサツナシ N	3-18
ツヨイ	3-18
ナシ	3-18
ヒョウジュン	3-18
ヨワイ	3-18
UV 照射器具	1-10
UV スキャンツイカ	3-11
UV 電源フィルタ	4-36
UV ランプの照度を確認する	4-44

あ

新しいインクカートリッジに交換する	4-4
安全にお使いいただくために	viii

い

イオナイザ	4-50
インク	1-11
インクカートリッジ	1-11, 4-4, 4-6
インク仕様	6-3
インク滴	4-10
インクの充填	4-26
インクを処分する	4-13

え

エラー抜き	4-33
エラーメッセージ	5-7
エラーリレキ	3-26

お

お手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
お問い合わせシート	6-6

オプションバキュームユニット	
フィルタ	4-38
オンスイ ジュンビチュウ	2-19
温水ユニット	4-32

か

カートリッジ異常	4-5
各部の名称とはたらきについて	1-4
UV 電源	1-8
キャリッジ	1-7
ジョグキーのはたらき	1-6
操作パネル	1-6
装置前面	1-4
装置背面	1-5
フラッシング BOX	1-7
ワイパ	1-7
カサネヌリ	3-11
かすれ	4-26

き

機能フローチャート	6-8
ギャップチェック	3-4, 3-5
キャリッジ	1-7
キュウチャク	3-11

く

クリーニング	4-20
--------------	------

け

ケーブルを接続する	1-9
警告ラベル	6-4
言語	3-33
原点を変更する	3-2

こ

ご注意	vi
コピー機能	2-21

さ

作図	2-19
作図が中断したとき	2-21
サクスヒンシツ	3-14
キレイ	3-14
ハヤイ	3-14
ヒョウジュン	3-14
作図方式	3-14
作図を中止する	2-20
サブタンクメンテナンス	2-22, 2-23, 4-27

し

ジコク	3-28
受信障害	vi
主電源スイッチ	2-4, 2-6, 2-9
情報を表示させる	3-31
初期状態に戻す	3-22
白インク	4-23
白インクの定期メンテナンス	4-23

す

水量計	4-33
ステーションメンテナンス	4-13, 4-15

せ

設置	1-2
設置場所	1-2
セッテイリセット	3-22
洗浄カートリッジ	1-11
センスモード	3-4

そ

操作パネル	1-6
-------------	-----

た

タイプ	3-9
-----------	-----

ち

チェックカイシ	3-5
チェックハウハウ	3-4
長期間使用しない場合	4-2

て

データクリア	3-33
テーブル、外装のお手入れ	4-3
テーブルの高さを変更する	2-12
テキワイピング	4-17, 4-19, 4-20, 4-22
テスト作図	2-13
電源ケーブル	1-9
電源スイッチ	2-4, 2-8, 2-9
電源を入れる	2-4, 2-6
電源を切る	2-8
電波障害自主規制	vi

と

特色インクのノズル詰まりを防止する	4-52
-------------------------	------

ぬ

抜け	2-14, 2-15, 4-26
----------	------------------

の

ノーマル	2-15
ノズル面の清掃頻度を設定	4-17, 4-20
ノズルリカバリ	3-6

は

ハード	2-15
廃インク	4-13

ひ

非常停止スイッチ	1-8
表示灯の働き	1-10

ふ

不凍液	4-32
不凍液混合水を補充する	4-33
フラッシングBOX	4-7
フラッシングBOXのクリーニング	4-7
プリントモード	3-30, 4-18
ヒョウジュン	3-30, 4-18

へ

ヘッドギャップ	3-4, 3-15
ヘッドクリーニング	2-15

ほ

ホワイトメンテナンス	4-23
本機の移動	1-3
本体仕様	6-2

ま

マシン設定	3-26
マシンメイショウ	3-29

み

ミストファンフィルタ	4-40
------------------	------

め

メディア	1-16
メディア取り扱い上の注意	1-16
メディア補正	3-12
メディアをセットする	2-11
メンテナンスリレキ	3-26

ゆ

優先順位	3-20
------------	------

り

リフレッシュ	3-11, 4-20
--------------	------------

リモート	1-17
------------	------

れ

レイキャクジカン	3-11
レンゾクモード	3-4

ろ

ローカル	1-17
------------	------

わ

ワーニングメッセージ	5-4
ワイパタンク	4-15
ワイパのクリーニング	4-29
ワイピング	2-15

UJF-706 取扱説明書

2013 年 02 月

発行者	株式会社ミマキエンジニアリング
発行所	株式会社ミマキエンジニアリング 〒 389-0512 長野県東御市滋野乙 2182-3

